



GIRLS  
GET EQUAL

アジア太平洋・ガールズレポート 2021

THE 2021

# ASIA-PACIFIC **GIRLS** REPORT

声、選択、パワー



PlaninAsiaPacific



PlanAsiaPacific



planasiapacific



Cover photo: © Plan International

For more information, please contact:

**Plan International Asia Pacific Hub**  
14th Floor, 253 Asoke Building  
Sukhumvit 21, Klongtoey Nua  
Wattana, Bangkok 10110, Thailand

Tel: +66 2 204 2640-4  
Fax: +66 2 204 2629

First published by Plan International in 2021  
Text, illustrations, design © Plan International 2021

# アジア太平洋・ガールズレポート 2021

声、選択、パワー







# 目次

7	略称一覧
8	ご挨拶
9	謝辞
11	要旨
<b>13</b>	<b>はじめに</b>
<b>15</b>	<b>アジア・ガールズリーダーシップ・インデックス</b>
<b>20</b>	<b>太平洋・ガールズリーダーシップ・インデックス</b>
<b>25</b>	<b>アジア太平洋地域におけるジェンダー平等推進に向けた女の子の市民参加と積極的行動</b>
<b>41</b>	<b>結論</b>
<b>45</b>	<b>行動宣言</b>
45	女の子がリーダーシップを発揮できる環境づくりを通して、ジェンダー不平等の根本的原因に対処
46	政策、対話、柔軟な資金調達を通じた、女の子のリーダーシップと参加をサポート
46	家庭や教育機関、コミュニティにおけるジェンダー不平等に対処
47	女の子の活動家が利用しやすい、包摂的な人権擁護の仕組みの構築と強化
47	女の子の有益な参加のために、安全で開かれたシビック・スペース とデジタル・スペースを提供する
47	多様性に富んだあらゆる女の子の権利を擁護し、政策やプログラムの策定と実施、モニタリングに有意義に参加できるようサポートする
<b>49</b>	<b>ANNEX A: THE ASIA AND PACIFIC GIRLS' LEADERSHIP INDEXES</b>
50	The Asia Girls' Leadership Index
56	The Pacific Girls' Leadership Index
<b>63</b>	<b>ANNEX B: SUCCESS STORIES</b>
63	Promoting the prevention of child, early and forced marriage in Indonesia through digital activism
66	Countering gender-based violence through education and digital campaigns
70	Empowering girls and young women in Tonga to stand up and take action for change
73	Taking it to the streets: fighting street and sexual harassment through a ground-breaking, interactive city safety map
<b>78</b>	<b>ANNEX C: RESEARCH METHODOLOGY</b>
81	References



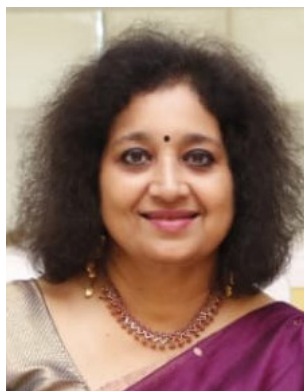




# 略称一覧

ASEAN	東南アジア連合諸国
CEFMU	強制された早すぎる結婚
CSO	市民社会組織
GLI	ガールズリーダーシップ・インデックス
ISF	持続可能な将来のための機関
LGBTQIA+	レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クイア、インターセックス、アセクシャル、その他多様な性
MNCH	母子保健
NEET	学校にも行かず、就職しようともせず、職業訓練も受けないユース
NGO	非政府組織
PICTs	太平洋島嶼国
SAARC	南アジア地域協力連合会
SDG	持続可能な開発目標
SRHR	性と生殖に関する健康と権利
UTS	シドニー工科大学
YAS	ユース・アクティビスト・シリーズ
YCG	女の子のためのユース連合

# ご挨拶



「アジア太平洋ガールズレポート2021」は、アジア太平洋地域の女の子に関するプラン・インターナショナルの年次調査報告書である。この報告書は、(2015年に国連で採択された)「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に貢献するものでもある。

地域全域を通じて、女の子やユース女性は今なおリーダーシップ能力を培い、声をあげ、選択し、力を発揮することを阻む差別意識や構造的な障壁に直面している。

近年は、女の子やユース女性による地域開発への貢献を妨げている社会規範に変化をもたらすため、活動家団体や政府機関、市民活動のリーダーたちが彼女たちを支援している。

同世代の仲間が主導するアドボカシー活動を通じて、こうしたユース女性活動家は、自分たちの声がジェンダー平等の実現のみならず、国全体の発展にも影響を与えられることを行動で示している。

このレポートは、女の子が障壁を打ち破り、改革や開発に大いに貢献する能力があることを示すとともに、ユース女性活動家による目覚ましい市民活動の現状と、地域を通じて女の子やユース女性が直面する固有の課題を明らかにしている。

アジア太平洋地域の女の子や女性の多くは似通った体験を有する一方、各グループ特有の課題にも直面している。思春期の女の子のゴール達成と、彼女たち個人あるいは集団としての選択を後押しするプログラムやサービスを策定するには、この層を人口統計学的に個別に扱うべきである。

女の子やユース女性活動家はジェンダー平等の推進と差別の撲滅にめざましい成果をあげているが、こうした取り組みは支援がなければ継続できない。私たちは彼女たちが声をあげ、すべての人に平等な権利の実現に向けてメッセージを発信し、集団あるいは個人の力を高めることのできる、安全で包摂的かつオープンな場所を提供する必要がある。

この調査は女の子やユース女性の具体的なニーズを特定し、地域に今も残る課題に対処すると同時に、彼女たちがリーダーシップを発揮し、独自の声をあげる機会を測定する重要な一歩である。

私たちは、女の子の開発と継続的な市民参加への投資を通じて、彼女たちの声と選択、パワーを積極的にサポートすることができる。

あらゆる女の子は自分の声を聞いてもらう権利がある。そして、その声を聞くことはあらゆる人々の利益につながるものである。

*B RDengle*

Bhagyashri Dengle  
地域ディレクター、プラン・インターナショナル・アジア太平洋ハブ



# 謝辞

This report would not have been possible without the hard work and generous contributions from many individuals. Plan International would like to express appreciation to Chamaiporn Siangyen for leading and managing this research initiative, Caterina Grasso for providing research coordination, Reylynne Dela Paz for providing valuable technical inputs during the development of this report, Krista Zimmerman for providing overall guidance and Quynh Tran Thu for providing technical direction in the production of this report.

We are grateful for the time, energy and valuable suggestions from many staff of Plan International Country Offices in the Asia-Pacific region, Plan International Australia and Plan International Asia-Pacific Regional Hub: Aditya Septiansyah, Alice Eric, Amina Moni, Angellah Anisi, Anne Sawa, Claire Knox, Emmanuella Kauhue, Gail Pigolo, Hieu Van Trong, Josefa Lalabalavu, Joy Toose, Judith Oliver, Katherine Phillips, Laura Lopes, Mattias Bryneson, Nazla Mariza, Neta Maia, Pasanna Mutha-Merrenge, Trang Pham Kieu, Nhung Pham Trang, Raša Sekulović, Dr. Samiha Yunus, Shashike Gamage, Sudthida Keophaithool, Tariq UI Hassan Khan, Tim Budge and Anh Tran Huu Phuong.

The research project on girls' civic engagement and activism for gender equality in Asia-Pacific was led by the Institute for Sustainable Futures (ISF), an interdisciplinary research and consulting organisation at the University of Technology Sydney (UTS). The research team comprises Dr. Keren Winterford and Tamara Megaw from UTS-ISF in Australia, Sandra Dewi Arifiani, an independent consultant based in Indonesia and Iris Low and Leaine Robinson from CoLAB Consulting in Fiji.

The Asia Girls' Leadership Index and Pacific Girls' Leadership Index were prepared by Miller Jones Consulting. Special thanks are due to Dr. Alex Riba (Stats4SD), Erica Stillo (independent researcher) and Jennifer Miller (Miller Jones Consulting) for their extensive contribution to this research. Copyediting was provided by Alice Fogliata Cresswell and Gareth Harrison-Poole.

We wish to extend our gratitude to the sector-based experts who contributed time and valuable insights. We would also like to offer warm thanks to the female youth advocates who shared their time, experiences and ideas during the interviews conducted for this research. We hope this study will support their ongoing efforts for gender equality and social inclusion in the Asia-Pacific region.

「Girls Get Equal」を掲げた国際  
NGOプラン・インターナショナルの  
「5年グローバル戦略  
(2017-2022年)」は、1億人の女の  
子の生活を変革し、彼女たちが以  
下の4つの目標の達成を目指す、  
野心的なコミットメントである。

## LEARN (学ぶ) :

弱い立場の子どもたちが人生や仕事で成功するために必要なスキルを身につけられるように、学ぶこと。

## Lead (先頭に立つ) :

脆弱で排除された子どもたちが、自分たちにとって重要な問題に対して行動を起こす力を持てるようにする。

## Decide (決断する) :

子どもたち、特に女の子が自分自身の人生と身体をコントロールできるようにする。

## THRIVE (差別や暴力のない環境で成長できるようにする) :

子どもたち、特に女子が、暴力や恐怖から解放され、安心して成長できるようにする。

私たちの戦略は、これらの4つの目標に向けた進捗状況を記録した年次報告書を作成することを約束している。





# 要旨

2015年に国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されて以降、世界各国は、女の子とユース女性のための公平で包摂的な開発に取り組んでいる。

プランのアジア太平洋地域では、女の子やユース女性がジェンダー平等に向けたユースの積極的行動に参加している。このような取り組みは、ジェンダーに関わる長年の差別的態度や概念に変化をもたらすと同時に、女の子が自分たちの声をより効果的に活用し、リーダーシップ能力を高めるうえで成果をあげている。

本レポートは、ジェンダー平等や社会的包摂に取り組んでいるユース女性による、現在進行中の活動と、アジア太平洋地域における女の子のリーダーシップの現状を詳しく述べるとともに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミックがユース主導の活動にどのような影響を与えたかを概説している。

本レポートは、女の子のリーダーシップの中でも、特にアジア太平洋・ガールズリーダーシップ・インデックス(GLIs)にある政治的発言と代表性の分野に焦点を当てた。また、女の子やユース女性活動家による、過去と現在の市民参加への取り組み、将来、市民参加が成功する要因、ユース女性の活動に対する政府の対応にも焦点を当てている。

調査では、女の子やユース女性の支援者たちが、男の子や男性との協働、教育戦略、自我の形成、ネットワーク接続や組織連合といったさまざまなアプローチを用いて運動を構築していることが明らかになっている。

アジア太平洋地域における女の子の積極的行動とリーダーシップに関する調査は、プラン・インターナショナルとUTS-ISFの協力のもとで実施された<sup>1</sup>。本調査は、一次データと二次データの両方を用いて、地域のユースによる積極的行動に質的評価を行っている。

## セクション 1 調査の概要と目的

セクション 2 調査の主な結果: アジア太平洋GLIsの調査結果およびジェンダー平等に向けた女の子の市民参加と積極的行動に関する調査結果の2つの主要部分に分けて記述

セクション 3 調査結果から得られた結論とアジア太平洋GLIsを活用した支援方法

セクション 4 アジア太平洋各国政府と市民社会、地域団体に対する思春期の女の子への投資の呼びかけ

アジア太平洋GLIsは、思春期の女の子やユース女性がリーダーシップ能力を高め、行動で示す機会を測定する複合インデックスである。

アジア・インデックスの上位3カ国は、シンガポール(0.784)、タイ(0.733)、フィリピン(0.715)で、いずれもASEAN加盟国である。

アジア・インデックスの下位3カ国はパキスタン(0.392)、アフガニスタン(0.405)、ブルネイ(0.462)で、前者2カ国は南アジア地域協力連合会(SAARC)の加盟国である。

太平洋インデックスの上位3カ国はオーストラリア(0.854)、ニュージーランド(0.820)、キリバス(0.643)である。オーストラリアとニュージーランドの指数が3位以下の国々よりかなり高くなっているのは、主にこの2カ国がすべての分野で高いスコアを得ていることによる。

<sup>1</sup> この研究では、7人のユース女性活動家にインタビューしたが、それぞれの出身は次の通り: オーストラリア、バングラデシュ、インドネシア、ソロモン諸島、東ティモール、トンガ。同様にセクター別での専門家は、フィジー、インドネシア、フィリピンおよびベトナムである。

太平洋インデックスの下位3カ国はパプアニューギニア(0.436)、マーシャル諸島(0.482)、ソロモン諸島(0.529)である。

市民参加と市民活動の新しい傾向を分析したところ、政策協議のため政府に招待を受けて代表を務めることを含め、招待による参加と自ら主張する場合の両方で、動員されていることが明らかになった。非政府組織(NGO)も、女の子やユース女性活動家を友好的な場に招き、彼女たちのリーダーシップ・スキルや発言力の向上を図っている。女の子やユース女性は、自分たちがメッセージを発信できる機会(公開デモやキャンペーン、プレスリリースなど)を積極的に求めている。また、意識啓発とエンパワーメントのためのオンライン空間も必要としている。

ジェンダー平等に向けた活動を成功させる主な要因は、権利に基づく前向きなアプローチを取り入れることに加え、女の子やユース女性の支援者らと関わる価値を、大人が信じることだ。また、女の子やユース女性は、自信を持ち、連帯を築くために、家族や友人からのサポートだけでなく、女の子とユース女性のくつろげる場を必要としている。若い活動家たちは、同じ志を持つ組織とのパートナーシップや連携を通じて、より効果的な取り組みを行い、ジェンダー平等と社会的包摂のための多様な世代間運動を作り出したいと考えている。

女の子やユース女性によるデジタルを活用した積極的行動の成功は、新しいデジタル技術を迅速に取り込み、ソーシャルメディアなどのインターネット上での交流やコンテンツ作りを容易にこなす彼女たちだからこそ可能だった。活動家はより安全で包摂的なデジタル空間を作り、オンラインで交流する運動や活動家を生み出し、「対面(オフライン)」でつながることも少なくなかった。

女の子はリーダーシップ能力を高め、自分たちの権利を後押しする啓発メッセージを伝えるために、彼女たちならではの声と体験を活用している。差別的な態度や信念を変えることができれば、女の子はこれまで以上に自ら選択し、意思決定のプロセスに参加できるようになる。同時に、リーダーシップを発揮し、自身の力や集団的な力を見つける機会も増えるだろう。

女の子の市民参加によって、ジェンダー平等の促進は大きな進展を遂げたが、政府や市民社会は、女の子やユース女性が声をあげ、選択し、力をつけるために支援する役割を果たすことが求められている。



© Plan International



# はじめに

アジア太平洋地域の地理的広がり和社会・経済的多様性を背景に、世界経済の成長と技術革新の進歩における同地域の役割は増大している。これにより、同地域の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は大幅に前進したものの、アジア太平洋の国々は、ジェンダー平等と女の子や女性のエンパワーメントの実現なしには、持続可能な開発目標(SDGs)を達成することはできない。

多くの政府は、女の子の参加する権利の推進や、尊重、参加を実現させることをせず、女の子にもっとも影響を与える政策やプログラムに彼女たち自身を参加させ、その声を聞くという重要なプロセスを軽視し続けている。

本当の変化に拍車をかけるには、公共の場での積極的行動を働きかけるだけでは不十分である。政府や意思決定者は、(1)女の子やユース女性がリーダーシップの潜在能力を発揮できるような環境、(2)女の子やユース女性が平和的な集会や会合とともに表現の自由を享受できる、開かれた平等なシビック・スペース(訳注:市民が自由に活動できる領域)の確保、(3)女の子や女性に影響を与える政策やプログラムに彼女たちが平等に代表として参加できる権利、などの実現に取り組まなければならない。必要に応じて、政府や意思決定者は、女の子のニーズに具体的に対処し、リーダーシップ能力の向上に役立つ仕組みを開発し実施する必要がある。

本レポートでは、アジア太平洋地域におけるユース女性活動家の市民参加と、地域全体で女の子とユース女性が直面する特有の課題の両方に着目している。また、調査の一環として、各分野の専門家やユース女性活動家にインタビューを行い、地域の現状を評価している。

プラン・インターナショナルは、アジア太平洋ガールズリーダーシップ・インデックス(GLI)を作成・更新し、思春期の女の子やユース女性がリーダーシップ能力を強化・発揮する機会、地域に暮らす女の子特有の声、彼女たちの選択に対する支援、集団および個人のパワーの現状を測定している。

## 声:

ユース女性活動家は上の世代の女性活動家や政策決定者から提供された支援や助言に加え、急速に進展するテクノロジーを活用しながら、政策提言メッセージの周知とジェンダーに基づく差別的慣習の根絶に取り組んでいる。

一方で、女の子やユース女性は同質のグループではないことを認識することも重要である。彼女たちが声をあげ、自ら選択できるようになるためには、彼女たちのニーズや多様な特徴に配慮したアプローチを推し進めなければならない。アジア太平洋地域の女の子やユース女性は似通った体験を共有しているが、各グループはそれぞれ固有の課題も抱えている。

## 選択:

広範な政策立案レベルでは、女の子やユース女性活動家は通常、より大きな活動家のコミュニティに組み込まれている。こうしたユース女性は、他とは明確に異なる体験や強い願望を持っているが、人口統計学的に認識されていないため、彼女たち固有の懸案に対処するプログラムやメカニズムの策定が困難になっている。政府は、女性や活動家グループそれぞれの特徴を認識してはじめて、ユース女性の参加とリーダーシップ発揮のための平等な機会の実現に着手することができる。

## パワー(力):

改革と発展に大きく貢献し、堅固な社会的障壁を克服する能力は、教育、健康、保護、市民参加への適切な投資を通じて強化することができる。前向きな変化を呼び起こす能力があるにもかかわらず、女の子やユース女性が意思決定の場から排除されるケースは少なくない。女の子やユース女性が変化に影響を与えられる意思決定者となるには、この組織的な力の転換が必要である。

アジア太平洋地域の女の子のリーダーシップと積極的行動に関する地域調査を通じて、プラン・インターナショナルは思春期の女の子やユース女性のエンパワーメントとリーダーシップを推進、もしくは制約する主な傾向と課題についてより深い知見を得ることができた。

## 調査の目的



・アジア太平洋地域における思春期の女の子やユース女性のリーダーシップ能力強化・発揮に影響を与える推進要因と制約要因の特定



・アジア太平洋地域の女の子やユース女性によるジェンダー・トランスフォーメーション / ジェンダー主流化 (訳注: ジェンダー不平等とその根本原因となるジェンダー規範、ジェンダー間の不均等な力関係、差別的な意識や法律、制度、社会構造を変革すること。) と社会的包摂に関する啓発活動の最新動向と課題の分析



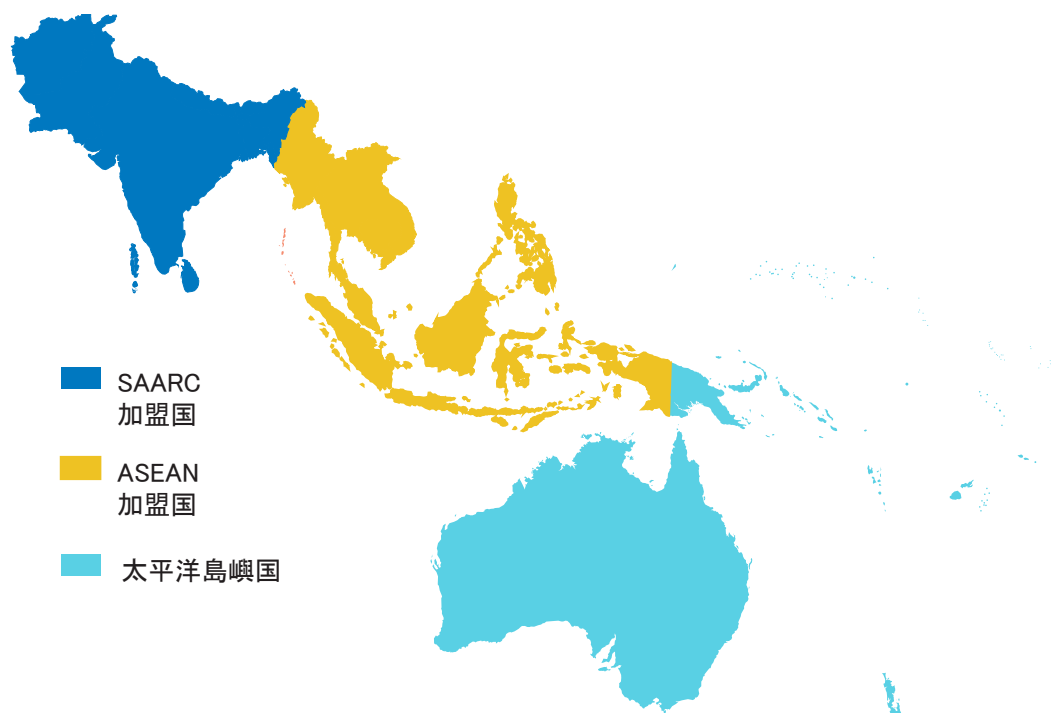
・ユースの活動と参加において、重要性を増すデジタル技術とソーシャルメディアへの評価、および社会変革とジェンダー平等推進に向けたこれらツールの活用法の特定

この調査では、女の子やユース女性がリーダーシップを発揮し、ジェンダー平等を推進するためにコミュニティ内外(国外も含む)で行っている主な活動に焦点を当てた。

分析は、地域のユース女性の変化の担い手となり、ジェンダー平等や社会的包摂を推進するために必要な政府や支援者、主なステークホルダー(利害関係者)からの支援の形態を明らかにしている。

この地域調査は、南アジア地域協力連合会(SAARC)と東南アジア諸国連合(ASEAN)の国々、ASEAN地域フォーラムのメンバーである東ティモールを含むアジア19カ国と、14の太平洋島嶼国・地域を対象に実施された。

現在および将来世代に向けた包摂的で持続可能な開発を実現するには、女の子やユース女性のリーダーシップを強化するとともに、彼女たちが政策決定のプロセスに参加し、自己決定権を行使できる十分な機会を提供する必要がある。



SAARC  
加盟国

ASEAN  
加盟国

太平洋島嶼国

## インデックスとCOVID-19の影響

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)はアジア太平洋地域の女の子やユース女性に甚大な影響を与えた。他国より早い回復が見込まれる国があるものの、社会的・経済的影響は今後数年にわたって続くものと思われる<sup>1,2</sup>。パンデミックの影響は今回のアジア太平洋地域レポートには反映されていないが、調査で示された指標は、パンデミックが長期的に女の子に与える幅広い影響を評価する基準となる。数年後には、COVID-19の影響をより明確に反映したレポートが作成される予定である。

# アジア・ガールズリーダーシップ・インデックス

2019年に初めて作成されたアジアGLIは、2021年版では太平洋地域を加えて更新された。この調査は、地域の女の子やユース女性がこの2年に直面してきた状況に貴重な知見を提供している。アジアGLIは南アジアと東南アジアの19か国(アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナム)における6つの主要分野に焦点を当てている。

インデックスにある6つの主要分野



教育



経済的機会



保護



健康



政治的発言と代表性



法律と政策

これらの分野はさらに23の指標に分類されている。

主要分野と指標は、権利を十分に行使し、リーダーシップを発揮できる健全な生活や能力を推進、あるいは制約する主要要素を示している。これらはまた、女の子やユース女性が家庭や地域で、そしていずれは国全体のリーダーとなるために必要な機会および、女の子がリーダーシップを培い、それを発揮する能力に影響を与える機会を明らかにしている。

インデックスには複数の分野が含まれているが、現在、アジア太平洋地域の女の子やユース女性が参加する「ユースによる積極的行動」が増えていることから、今回の調査は特に**政治的発言と代表性**に焦点を当てている。これらのユース女性活動家は、多様な伝達手段を活用しながら、ジェンダー・トランスフォーマティブな変革と女性のリーダーシップ推進に取り組んでいる。

こうした積極的行動で用いられる戦術には、ソーシャルメディアの利用やコミュニティでのキャンペーン、行政府や議会への直接的な働きかけなどがある。市民参加はそれぞれの国で特定の分野を対象にしているが、積極的行動を通じた取り組みはインデックス上のすべての分野と指標に前向きな影響を与えている。

ランキングは各指標に影響を与えている要素に加え、その国の事情も考慮に入れる必要がある。これらの数字は女の子やユース女性のエンパワーメントをサポートする意識啓発やアドボカシー活動のツールとしても利用できる。

政策決定者や資金提供者、利害関係者はこれらのインデックスを、1) 思春期の女の子やユース女性がリーダーシップを発揮できる地域・全国レベルの機会への投資 2) 現状に即した戦略的なプログラムの策定に関する情報提供 3) これらプログラムにおける変化のモニタリング、などに利用できる。

表1は、インデックスに含まれる分野と指標、SDGsの関連項目、指標から導かれた総合指数の割合を示している。

表1: アジアGLIの分野と指標







分野	細目	指標	SDG関連項目	全体%
 教育	修了率	女性の中学校修了率(%)	4.1.2	4.17%
	高等/専門教育	女性の高等/専門学校校の総就学率(%)	4.3.2	4.17%
	インターネット	女性のインターネットへのアクセス率(%)	17.8.1	4.17%
	就学	女性の平均就学年数	HDI	4.17%
 経済的機会	ニート	雇われず、教育やトレーニングも受けていないユース女性の割合(ユースNEET率)、(%)	8.6.1	4.17%
	雇用	ユース女性の就労率(%)	ILO	4.17%
	ファイナンス	金融機関やモバイルサービスプロバイダーでの女性のアカウント所有率(%)	8.10.2	4.17%
	リーダーシップ	管理職における女性の割合(%)	5.5.2	4.17%
 保護	児童労働	児童労働に従事している5～17歳の女の子の割合(%)	8.7.1	5.56%
	早すぎる結婚	18歳未満で結婚した20～24歳の女性の割合(%)	5.3.1	5.56%
	暴力	親密なパートナーから肉体的/性的暴力を受けたことのある15歳以上の女性の割合(%)	5.2.1	5.56%
 健康	母子の健康	15～19歳の女性1,000人あたりの出産率(%)	3.7.2	4.17%
	性と生殖に関する健康と権利(SRHR)	現代的な方法に基づく家族計画を必要としている15-19歳の女性の割合(%)	3.7.1	4.17%
	栄養	5歳女の発育障害、低身長(%)	2.2.1	4.17%
	メンタルヘルス	15～19歳の女性の自殺率(10万人あたり)	3.4.2	4.17%
 政治的発言と代表性	代表	国会における女性議員の割合(%)	5.5.1	5.56%
	公平性	司法において、女性の証言が男性と同等の証拠として扱われる割合(%)	5.1.1	5.56%
	登録	行政機関で出生登録をした5歳未満の女の子の割合(%)	16.9.1	5.56%
 法律と政策	遺産	息子と娘が親からの資産を平等に受け継ぐ権利が認められている割合(%)	5.1.1	3.33%
	同一賃金	男女の同一労働同一賃金の割合(%)	5.1.1	3.33%
	セクシュアル・ハラスメント	雇用におけるセクシュアル・ハラスメントの法的規制化の割合(%)	5.1.1	3.33%
	早すぎる結婚	早すぎる結婚を禁止または無効とする法律の有無	5.1.1	3.33%
	ドメスティックバイオレンス	DVIに対処する法の制定の割合(%)	5.1.1	3.33%



表2は、教育、経済的機会、保護、健康、政治的発言と代表性、法律と政策の6分野における各国の総合指数とランキングを示している。表3は、各国の分野別ランキングを示している。

表2: アジアGLI 2021 総合ランキング

ランク	国	指標価値 2019	指標価値 2021	+/-		
1	シンガポール	0.781	0.784	0.004	▲	
2	タイ	0.694	0.733	0.039	▲	
3	フィリピン	0.715	0.715	0.000	≡	
4	ベトナム	0.721	0.712	-0.009	▼	
5	スリランカ	0.664	0.665	0.001	▲	
6	モルディブ	0.645	0.659	0.014	▲	
7	マレーシア	0.641	0.646	0.004	▲	
8	ブータン	0.630	0.630	0.000	≡	
9	カンボジア	0.621	0.621	0.000	≡	
10	インドネシア	0.598	0.608	0.010	▲	
11	ラオス	0.609	0.596	-0.013	▼	
12	インド	0.584	0.591	0.007	▲	
13	東ティモール	0.578	0.579	0.002	▲	
14	ミャンマー	0.531	0.537	0.006	▲	
15	ネパール	0.476	0.517	0.042	▲	
16	バングラデシュ	0.461	0.477	0.016	▲	
17	ブルネイ	0.468	0.462	-0.006	▼	
18	アフガニスタン	0.401	0.405	0.004	▲	
19	パキスタン	0.395	0.392	-0.003	▼	

### アジアGLI2021の見方

2021年のアジアGLIでは、2019年と2021年の指標と平均値、および相対的变化(+/-)が示されている。変化は▲、△、▽の3つの記号によって示されている。

▲ 2019年からのプラス変化

▼ 2019年からのマイナス変化

≡ 2019年と変化なし

・プラス・マイナスの記号は平均値の変化を示すもので、国のランキングや指標の変化を示すものではない。

表3: アジアGLI 2021 分野別ランキング

国	教育			経済的機会			保護		
	2019年 順位	2021年 順位	+/-	2019年 順位	2021年 順位	+/-	2019年 順位	2021年 順位	+/-
アフガニスタン	19	19	0.003 ▲	19	19	0.000 ≡	16	16	0.026 ▲
バングラデシュ	16	14	0.033 ▲	17	17	0.000 ≡	17	17	-0.004 ▼
ブータン	10	10	0.007 ▲	15	15	-0.024 ▼	6	6	0.000 ≡
ブルネイ	2	2	0.027 ▲	4	7	-0.056 ▼	-	-	-
カンボジア	15	15	0.027 ▲	5	4	-0.020 ▼	9	8	0.000 ≡
インド	12	11	0.007 ▲	13	13	-0.005 ▼	10	9	0.000 ≡
インドネシア	8	8	0.040 ▲	10	8	0.017 ▲	3	5	-0.019 ▼
ラオス	17	17	0.002 ▲	12	11	0.000 ≡	12	14	-0.089 ▼
マレーシア	3	3	0.019 ▲	3	3	0.007 ▲	-	-	-
モルディブ	4	4	-0.002 ▼	8	6	-0.003 ▼	2	2	0.021 ▲
ミャンマー	14	16	0.006 ▲	11	12	-0.002 ▼	7	7	0.000 ≡
ネパール	13	13	0.019 ▲	16	16	0.000 ≡	15	15	0.000 ≡
パキスタン	18	18	0.011 ▲	18	18	0.000 ≡	8	10	-0.028 ▼
フィリピン	6	7	-0.009 ▼	6	5	0.003 ▲	4	3	0.009 ▲
シンガポール	1	1	0.011 ▲	1	1	0.013 ▲	1	1	0.001 ▲
スリランカ	9	9	0.009 ▲	9	9	-0.006 ▼	5	4	0.003 ▲
タイ	7	5	0.042 ▲	2	2	0.006 ▲	13	12	0.002 ▼
東ティモール	11	12	0.001 ▲	14	14	0.000 ≡	14	13	0.000 ▲
ベトナム	5	6	0.003 ▲	7	10	-0.035 ▼	11	11	0.000 ≡

アジア・インデックスにおける上位3カ国はいずれもASEAN加盟国のシンガポール(0.784)、タイ(0.733)、フィリピン(0.715)だった。シンガポールの指数が2位、3位の国より若干高かったのは、主に教育、経済的機会、保護、健康、政治的発言と代表性の5つの分野で1位のスコアを得たことによる。一方、シンガポールは法律と政策の分野で10位にとどまった。これは、ジェンダー平等(性別による差別の禁止)を推進・義務化し、監視するための5つの法律のうち、3つしか施行されていないことによる。

フィリピンの指数が2019年と2021年で変化がない一方、タイの総合指数は0.694 から0.733と大きく伸びた。タイの分野別ランキングは1位(法律と政策)から12位(保護)、フィリピンの分野別ランキングは1位(法律と政策)から13位(健康)と幅がある。

アジアGLI 2021: 分野別ランキング(続き)

国	健康			政治的発言と代表性			法律と政策		
	2019年 順位	2021年 順位	+/-	2019年 順位	2021年 順位	+/-	2019年 順位	2021年 順位	+/-
アフガニスタン	19	19	0.015 ▲	16	17	-0.004 ▼	13	14	0.000 ≡
バングラデシュ	12	11	0.017 ▲	15	15	0.002 ▲	13	14	0.000 ≡
ブータン	9	9	0.002 ▲	5	5	0.000 ≡	4	4	0.000 ≡
ブルネイ	2	2	-0.001 ▼	19	19	0.000 ≡	18	18	0.000 ≡
カンボジア	14	14	0.0001 ≡	10	10	0.000 ≡	3	4	0.000 ≡
インド	17	15	0.015 ▲	11	11	0.000 ≡	3	4	0.000 ≡
インドネシア	6	6	0.008 ▲	13	12	0.011 ▲	13	14	0.000 ≡
ラオス	11	12	0.002 ▲	7	7	0.000 ≡	3	4	0.000 ≡
マレーシア	4	4	-0.001 ▼	17	16	0.003 ▲	10	10	0.000 ≡
モルディブ	10	10	0.001 ▲	8	8	0.000 ≡	10	10	0.000 ≡
ミャンマー	5	5	0.001 ▲	14	14	-0.001 ▼	18	18	0.000 ≡
ネパール	18	18	0.004 ▲	12	13	0.000 ≡	13	10	0.200 ▲
パキスタン	15	16	0.002 ▲	18	18	0.000 ≡	13	14	0.000 ≡
フィリピン	13	13	0.0002 ▲	3	3	-0.007 ▼	1	1	0.000 ≡
シンガポール	1	1	-0.006 ▼	2	1	0.029 ▲	10	10	0.000 ≡
スリランカ	7	7	0.003 ▲	9	9	0.0004 ▲	3	4	0.000 ≡
タイ	3	3	-0.008 ▼	4	4	-0.002 ▼	3	1	0.200 ▲
東ティモール	17	17	0.002 ▲	6	6	0.000 ≡	3	4	0.000 ≡
ベトナム	8	8	0.001 ▲	1	2	0.000 ≡	1	1	0.000 ≡

アジア・インデックスにおける下位3カ国はパキスタン(0.392)、アフガニスタン(0.405)、ブルネイ(0.462)で、前者2カ国は南アジア地域協力連合会(SAARC)加盟国である。ブルネイのランキングは他の2国より若干高いものの、2つの分野(政治的発言と代表性、法律と政策)で最下位となっている。総合ランキングで下位となっているが、ブルネイは教育と健康分野で2位となっている。

最下位の2国(パキスタンとアフガニスタン)の差はごくわずかで、0.013しかない。パキスタンは3つの分野(教育、経済的機会、政治的発言と代表性)で18位、最も高い分野(保護)で10位(17カ国中)である。アフガニスタンは3つの分野(教育、経済的機会、健康)で最下位、最も高い分野(法律と政策)で14位である(アジアGLIで示された分野と各指標における国別ランキングは [Annex A](#)を参照)

# 太平洋ガールズリーダーシップ・インデックス

2021年、プラン・インターナショナルは、教育、経済的機会、保護、健康、政治的発言と代表性、法律と政策、気候の7つの主要分野に焦点を当てた太平洋地域のGLIを作成した。これらの分野はさらに29の指標に分類され、14の太平洋島嶼国（オーストラリア、ミクロネシア、フィジー、キリバツ、マーシャル諸島、ナウル、ニュージージーランド、パラオ、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル、バヌアツ、以下PICTs）を対象に評価が行われた。



教育



経済的機会



保護



健康



政治的発言と代表性



法律と政策



気候

アジアGLIと同様、インデックスは女の子のリーダーシップを示す総合ランキングと主要分野別ランキングを示している。太平洋GLIの分野と指標は、思春期の女の子やユース女性の健全な成長とリーダーシップを発揮する能力を推進、もしくは制約する主要要素を示している。これらのランキングは、長期的に国家間の比較が可能である。表4は、インデックスに含まれる分野と指標、SDGsの関連項目、指標から導かれた総合指数の割合を示している。

## 気候分野の重要性

太平洋GLIでは、アジアGLIに含まれる6つの主要分野と、追加された気候分野に焦点を当てている。PICTs各国が海面や気温の上昇、海岸浸食、サンゴ礁の白化などの気候現象にきわめて脆弱なことから、気候は太平洋地域の大きな懸念事項になっている。この分野の指標は、二酸化炭素排出量、陸海域の保護、気候現象と災害が住民に与える影響に重点が置かれている。この分野は今後更新されるアジアGLIにも追加される予定である。





表4: 太平洋地域GLI分野と指標







亜分野	細目	指標	SDGs 関連項目	全体 (%)
 教育	初等教育	女性の小学校総就学率(%)	4.1.3	3.57%
	中等教育	女性の中学校総就学率(%)	4.1.3	3.57%
	中途退学	女性の高等学校における中途退学率(%)	4.1.4	3.57%
	就学年数	女性の想定就学年数	-	3.57%
 経済的機会	ニート	職に就かず、教育やトレーニングも受けていないユース女性の割合(%)	8.6.1	3.57%
	リーダーシップ	上級・中級管理職に占める女性の割合(%)	5.5.2	3.57%
	同一賃金	同一労働同一賃金を定める法が制定されている割合(%)	-	3.57%
	失業	ユース女性(15~24歳)の失業率(%)	8.5.2	3.57%
 保護	暴力	身体的または/および性暴力を親密なパートナーから受けた経験を持つ15歳以上の女性の割合(%)	5.2.2	4.76%
	暴力	身体的または/および性暴力を親密なパートナー以外から受けた経験を持つ15歳以上の女性の割合(%)	5.2.2	4.76%
	子どもの(早すぎる)結婚	18歳になる前に結婚または婚約した20~24歳の女性の割合(%)	5.3.1	4.76%
 健康	SRHR	15~19歳の思春期の女の子の出産率(女性1,000人あたり)	3.7.2	3.57%
	自殺率	女性の自殺死亡率(女性10万人あたり)	3.4.2	3.57%
	MNCH	妊産婦死亡率(生児出産10万件あたり)	3.1.1	3.57%
	SRHR	15~19歳におけ現代的避妊法の普及率	3.7*	3.57%
 政治的発言と 代表性	代表性	国会に女性議員が占める割合	5.5.1	4.76%
	登録	行政機関で出生登録をした5歳未満の女の子の割合	16.9.1	4.76%
	移動の自由	男性のと同様の方法で、パスポートを申請できる女性の割合	5.1.1	4.76%
 法律と政策	相続	息子と娘が親からの資産を平等に受け継ぐ権利	5.1.1	2.86%
	ドメスティックバイオレンス	DVIに対処する法の制定	5.1.1	2.86%
	セクシュアル・ハラスメント	雇用上のセクシュアル・ハラスメントに対処する法の制定	5.1.1	2.86%
	早すぎる結婚	早すぎる結婚を禁止または無効とする法律	5.1.1	2.86%
	信用貸し付け	信用貸し付けの利用をジェンダーで差別することを禁止する法律	5.1.1	2.86%
 気候	脆弱性	人口10万人につき災害による死者および行方不明者の人数	13.1.1	2.86%
	脆弱性	人口10万人につき災害により直接的な影響を受けた人の人数	13.1.1	2.86%
	クリーン燃料	クリーン燃料とテクノロジーを主として利用している人の割合(%)	7.1.2	2.86%
	保護区	陸海保護区(総領土に占める割合(%))	14.5*	2.86%
	二酸化炭素	1人あたりの二酸化炭素排出量、生産排出量(トン)	9.4.1	2.86%

表5は、教育、経済的機会、保護、健康、政治的発言と代表性、法律と政策、気候の7分野を基にした各国の総合指数とランキングを示している。表6は、各国の分野別ランキングを示している。

表 5: 太平洋GLI 2021総合ランキング

ランキング	国	指数 2021	
1	オーストラリア	0.854	
2	ニュージーランド	0.820	
3	キリバス	0.643	
4	パラオ	0.633	
5	サモア	0.607	
6	トンガ	0.599	
7	フィジー	0.595	
8	ナウル	0.592	
9	バヌアツ	0.584	
10	ミクロネシア連邦	0.562	
11	ツバル	0.537	
12	ソロモン諸島	0.529	
13	マーシャル諸島	0.482	
14	パプアニューギニア	0.436	

表 6: 太平洋GLI 2021分野別ランキング

国	教育	経済的機会	保護	健康	政治的発言と 代表性	法律と政策	気候
オーストラリア	2	1	1	1	2	1	4
フィジー	6	8	8	4	13	3	12
キリバス	7	2	10	10	3	3	14
マーシャル諸島	14	12	9	13	5	9	6
ミクロネシア連邦	8	13	4	6	8	9	5
ナウル	9	6	13	14	7	-	1
ニュージーランド	1	3	2	3	1	1	2
パラオ	4	10	3	2	6	9	3
パプアニューギニア	13	14	14	11	14	7	10
サモア	3	11	6	7	12	3	7
ソロモン諸島	11	5	11	12	10	7	8
トンガ	5	7	5	5	4	9	11
ツバル	12	4	7	9	11	-	13
バヌアツ	10	9	12	8	9	3	9

太平洋インデックスの上位3カ国は、オーストラリア(0.854)、ニュージーランド(0.820)およびキリバス(0.643)である。オーストラリアとニュージーランドの指数が3位以下の国々より明らかに高いのは、この2カ国が全分野を通して高いスコアを得ていることによる。オーストラリアは、ほとんどの分野で1位あるいは2位を占めているが、気候分野のランキングはオーストラリアのその他の分野に比べてもっとも低く(第4位)になっている。これは、二酸化炭素排出量の指標で最下位だったことによる。同様にニュージーランドもほとんどの分野で1位あるいは2位を占めているが、もっとも低い3位は経済的機会と健康の分野だった。これは、同一労働・同一賃金を定めた法律がないことに加え、ユース女性の失業率が中位にとどまったことによると考えられる。

2位と3位の国(ニュージーランドとキリバス)の差は0.177であり、総合インデックスのランキングのなかでもっとも大きな差がある。キリバスの分野別ランキングは2位(経済的機会)から14位(気候)と幅があり、この振れ幅は太平洋インデックスの対象国14カ国のなかでもっとも大きいものである。

インデックスの下位3カ国は、パプアニューギニア(0.436)、マーシャル諸島(0.482)およびソロモン諸島(0.529)である。パプアニューギニアのランキングは、他の2カ国より若干低く、これは3つの分野(経済的機会、保護、政治的発言と代表性)で14位だったことによる。総合ランキングは低いものの、パプアニューギニアは法律と政策(9カ国中7位)の分野では進展が見られ、女の子のリーダーシップを保護・促進する4つの法律のうちすでに3つが施行されていると報告されている。

下位2位と3位の国々(マーシャル諸島とソロモン諸島)との差は、ほとんどない。マーシャル諸島の分野別ランキングは5位(政治的発言と代表性)から14位(教育)まで、ソロモン諸島のそれは5位(経済的機会)から12位(健康)まで幅がある。両国とも伝統や社会、文化に深く根ざしたジェンダーによる不平等の問題に取り組んでいるが、そうした取り組みが女の子にとって有意義な変化をもたらすまでには至っていない。太平洋地域GLIでの各国の分野別・個別指標ランキングは、[Annex Aを参照のこと](#)。

## COVID-19パンデミックの影響

COVID-19は、世界の多くの地域で深刻な社会的、経済的損害を引き起こしたが、アジア地域への影響も甚大だった。このパンデミックは、何百人もの雇用と生計手段の喪失、経済成長の低迷、国際貿易の大幅な縮小を引き起こした。もっとも深刻な打撃を受けたのが、女の子や女性、移民労働者、日雇い労働者、非正規雇用労働者など、弱い立場にある人々だった<sup>3, 4</sup>。

こうした影響は2021年アジア太平洋GLIsに反映されていないが、調査はパンデミック以前から長く存在した主要な脆弱性を浮き彫りにした。例えば、アジア太平洋地域の国の多くは、教育や医療、社会保護システムが十分に整っていない。また、この地域はしばしば持続不可能な生産および消費傾向が見られた<sup>5, 6</sup>。パンデミックによりこうした脆弱性はさらに悪化し、これらの国々が改めて生活の質向上に重点的に取り組む必要があることが明らかになった。

パンデミックにより、ジェンダーに基づく暴力やDVの増加、特に女の子が利用できる医療制度や保健サービスの欠如なども露わになった。COVID-19のパンデミックは、これらの問題を悪化させたが、一方で今後の市民参加活動に取り組むべき主要分野も示唆している。ユース女性活動家の多くは現在、早すぎる結婚の問題に力を注いでいるが、パンデミックの間に経験した、親密なパートナーからの身体的暴力や性暴力の潜在的な増加を考慮すると、彼女らは今後ジェンダーに基づく暴力や家庭内暴力に注意を向けることも予想される。





# アジア太平洋地域における ジェンダー平等に向けた女の子の 市民参加と積極的行動

このセクションでは、ジェンダー平等と社会的包摂に向けた女の子の市民参加と積極的行動に関する調査結果を示している。積極的行動は、アジア太平洋GLIsにおける「政治的発言と代表性」の分野で鍵となる要素である。こうした積極的行動は、取り残されてきた声を確実に届け、社会的包摂に関するメッセージを広げることで、公共の場と政策決定の場双方で、代表の機会を増やすことを目指している。

ここでは、女の子やユース女性の支援者らが自国で行っている活動、社会的包摂と女の子やユース女性の権利実現の鍵となる成功要因、これら積極的行動に対する地元や当該国政府の対応に焦点を当てている。こうしたユースの活動がそれぞれの国にもたらした影響を具体的に説明するため、アジア太平洋地域の国々の成功例も紹介している。(全編はAnnex Cを参照)

調査の一環として、プラン・インターナショナルはアジア太平洋地域の女の子やユース女性が提唱しているジェンダー・トランスフォーメーションと社会的包摂に関する最新動向と課題を評価している。このテーマの調査結果は、1)彼女たちが提唱しているジェンダーと社会的包摂の課題 2)ユース活動家が用いているアプローチ、戦術、ツール 3)ジェンダー平等と社会的包摂を後押しする市民参加と積極的行動の形態、の3つに分けられる。

## ジェンダー・トランスフォーメーションと社会的包摂で明らかになった課題

アジア太平洋地域の比較分析のなかで、女の子やユース女性活動家は、自分たちが啓発活動で取り上げているいくつかの重要な懸念について指摘している。これらの懸念はおおむね地域全般に共通しているが、一部の国ではある特定の問題が他国より広く影響を与えていることもあり得た。

全般的に、女の子やユース女性は、自分たちの人権や経済的・社会的・文化的・市民的・政治的権利、およびその他の人々の権利の実現を妨げている問題に懸念を示している。これらの問題は私的領域(自身、家族、生計)に関わるものもあれば、公的領域(職場、商取引、行政)に関わるものもある。

主な懸念のひとつは、多くの国が従っている規範、態度、行動、とりわけ家父長制の規範に関わるものである。このような規範は、女の子やユース女性に対するセクシュアル・ハラスメントや搾取、オンライン上のいじめ、ジェンダーに基づく暴力、人身取引につながるものが少なくない。子どもに配慮したサービスや被害者に対する最低限のサポートの欠如は、これらの問題をさらに悪化させる要因になっている。

家父長制の下で暮らす女の子やユース女性には、身体に関わる自己決定権を十分に与えられていない。インタビューを行った活動家たち<sup>ii</sup>は、身体や性を前向きにとらえる文化、包括的な性教育、女の子とユース女性の性と生殖の健康に関する権利の尊重などの必要性に言及した。不十分な性教育と避妊への障壁は、思春期のユースの予期せぬ妊娠率の高さにつながっている<sup>7</sup>。また、早すぎる強制された結婚(CEFMU)は、これまで直接この問題に影響を受けていない女の子やユース女性にとっても、依然として懸念すべき問題とされている。

「他人事とは思いませんでした。私はどんな子どもにも虐待や早すぎる結婚を体験して欲しくありません。私自身は早すぎる結婚はしていませんが、そのような結婚がもたらす悲惨な状況を自分の周りで目にしてきました」<sup>iii</sup>

<sup>ii</sup> 7人のユース女性活動家の中からインタビューを行った(全員が18歳以上)。

<sup>iii</sup> Fernyとのインタビュー。



身体に関わる十分な自己決定権を得ることに加え、女の子やユース女性活動家は、月経衛生や性の健康サービス、心の健康支援といった、彼女たちのニーズに合わせた保健サービスへのアクセス改善も求めている。

また、多くの活動家は、排他的規範や態度、行動のために、社会空間や公的制度から排除されるといった、LGBTQIA+のコミュニティで広く見られる問題にも、目を向けている。LGBTQIA+の人々はシスジェンダーや異性愛者と比べ、自分に自信が持てないことが多く、行政当局とのやり取りでも、より大きな迫害の脅威を感じるという体験をしている<sup>8</sup>。

アジア太平洋地域の女の子やユース女性活動家の主な懸念が、家父長制に基づく規範や行動である一方、彼女たちの声やエージェンシー（目的達成のために自ら選択・判断し、行動する能力）、自律性の欠如が、こうした規範を存続させる結果を招いているとも言える。女の子やユース女性は政治に関わる談話や討論、意思決定から排除され、政治指導者や代議員のジェンダー分布は、多くの国で平等ではない。

女の子やユース女性活動家は、女性のためのより多くの動員と、平等な機会の必要性に言及している。質の高い教育へのアクセスをはじめ、教育機関にはジェンダーに基づく不平等が根強く残っている。また、学歴にかかわらず、雇用機会を求めるユース女性は、壁に直面する。アジア太平洋地域の女の子やユース女性の多くが、男性優位の分野（科学、技術、工学、数学など）<sup>iv</sup>で学び、働く機会の拡充を求めているが、ジェンダー規範や固定観念によって、働くことすら阻まれる場合も少なくない。

また、女の子やユース女性は社会・経済資源やセーフティネットにも、問題を抱えている。文化的・社会的規範のために、女性の多くは男性と同等の相続権や借財能力、土地所有能力を持っていない。こうした不平等は、女性の経済的自立に重大な影響を与える可能性があり、彼女たちは人並みの、手頃で安全な住宅を手に入れられるかどうかにも不安を感じている。

これらの規範や行動に加え、国家紛争や人道危機（自然災害やパンデミックを含む）、気候変動の到来などは、女の子やユース女性に過大な影響を与え、既存の脆弱性をさらに悪化させる恐れがある。

調査報告のレビューを基に、ジェンダー平等と社会的包摂に影響を与えられる要因として挙げられたのが、政策的枠組みと予算だった。女の子は、特定のニーズと関心を持つ特定の人口統計グループに分類されることはまれで、しばしば年齢を問わない「女性」や性別を問わない「子ども」、「青少年」、「ユース」といった分類のなかに埋没している<sup>9</sup>。また、女の子の取り組みに充てられる資金はきわめて僅かである<sup>10</sup>。

積極的行動に影響を与えられるこうした枠組みの変更に加えて必要とされたのが、以下のような取り組みである。



市民社会の議題や仕組みづくりへの子どもの参加を促す公的投資の拡充



女の子やユース女性の権利（相続、土地所有、借入貸付、結婚、ジェンダーに基づく暴力の防止）の実現に向けた法改正



国の児童保護法と国際人権条約の包括的施行

## 女の子やユース女性活動家が用いるアプローチ、戦術、ツール

女の子やユース女性はしばしば家父長制の規範や行動を大幅に変えるために必要な声や力に欠けるが、近年は女性活動家が多様なアプローチを通じて、次第にジェンダー・トランスフォーメーション運動への動員や集団行動に取り組めるようになってきた。

既存の組織<sup>v</sup>が励みとなり、女の子やユース女性活動家の多くは、正式に登録された組織や未登録の非公式グループのなかで自分たちの取り組みを主導している。

<sup>iv</sup> セクターに基づく専門家とのインタビュー。

<sup>v</sup> 例えば、プラン・インターナショナル、CARE、フィジー女性の権利運動、ママキャッシュなど。



これらの取り組みは概して上下関係のない民主的なものが多く、すべてのメンバーが平等に評価され、相談を受けることができる<sup>11</sup>。

同時に、女の子や女性、LGBTQIA+コミュニティの人々が問題や悩みを私的に話し合える安全な空間を保っている<sup>vi</sup>。一方、彼女らはジェンダー規範を変え、ジェンダーに基づく暴力を抑えるには、話し合いに男の子や男性を加える必要性も認めている。一例として、パプアニューギニアのEqual Playing Fieldは、スポーツを通じて、男の子と女の子が互いに尊重し合える関係を築き、ジェンダー平等を推進するための学校プログラムを実施している<sup>12</sup>。

男の子や男性が話し合いに加わるもうひとつの例は、ストリート・ハラスメントに取り組むオーストラリアのYouth Activist Series (YAS)である。この取り組みでは、女の子やユース女性が安心と感じる場所や不安を感じる場所を知るために利用できるクラウド・マッピングを作成している。グループの活動家リーダーのひとりAliceは、以下のように述べている。



© Plan International

オーストラリアのYASのアイデアは、クラウド・マッピングツールに発展し、女の子にとって「安全」か「危険」エリアかを示してくれる。

「ストリート・ハラスメントの経験のない男の子や男性その他の人たちも、マップを見ることで、ようやくその規模や問題に気づくことができたと思う。私の周りにいる人の多くは、ユース女性がハラスメントを受けるのが怖いという理由だけでとても簡単なことすら諦めてしまうという事実に驚いている<sup>vii</sup>。」

また、子どもや親、教師を対象とした、ジェンダー・トランスフォーマティブ教育を戦略的に取り入れた活動もある。こうした活動を通じて、子どもはジェンダーの役割や同意、性の健康について幅広く学び、大人や教師は、家庭や教室で子どもが自分の権利を行使しながら、周囲の大人から支援を得られるような安全なスペースをどのように創るかを学んでいる<sup>viii</sup>。

一連の取り組みは、地元コミュニティにおける、ジェンダー・トランスフォーメーションと社会的包摂に向けた積極的行動に焦点を当てる傾向があるものの、なかには女の子やユース女性自身の自己意識の形成や自己変革に関わるものもある。このプロセスには、自身のジェンダー・アイデンティティを内省し、社会におけるジェンダー・ロールに対する自身の思い込みや信念を見つめ直すことも含まれる。自我の形成を通じて活動家は個人的成長を遂げ、力や自信を身につけるとともに、リーダーシップへの意欲を育むことができる<sup>13</sup>。

こうした取り組みの大半は、類似の目標（社会的包摂の推進やジェンダー・トランスフォーメーションの奨励など）を掲げているが、女の子やユース女性は、ジェンダー・トランスフォーメーションの変革に向けた意識啓発やユースの動員、世論形成のためにさまざまな戦略を駆使している。また、彼女たちは現地の言語を用いた教材を共有することで、より多くの人々に広く自分たちのメッセージを届けようとしている。

取り組みの多くは、国会議員に対するユース宣言書の提示や公開デモの実施、国際女性デーのような特別な日に行う活動の立案など、対面によるアドボカシー戦術を取っている。活動家はまた、調査による証拠固めや、キャンペーンへの資金調達を通じて勢いを維持しながら、これらの運動をサポートしている。

啓発メッセージが人々の関心を惹きつけることができるよう、活動家の多くは、ラジオのトークショーや地域のドラマ劇場などのマルチメディアを利用し、女の子やユース女性の年齢に応じたメッセージを発信しながら彼女たちの学びと能力強化を後押ししている。例えば、バヌアツのWan Smolbag劇場<sup>14</sup>やトンガのTalithaプロジェクトでは、政策立案者に働きかけ、ジェンダー・トランスフォーマティブに関する啓発メッセージを伝えるためにドラマやアートを活用している。

<sup>vi</sup> ユース女性活動とのインタビュー。

<sup>vii</sup> Aliceとのインタビュー。

<sup>viii</sup> ユース女性活動とのインタビュー。

## 市民参加と積極的行動の形態

女の子が主導する活動は、類似のインターセクショナリティ(交差性。訳注:人種や民族、階級、ジェンダー、セクシュアリティなど、さまざまな差別の軸が組み合わさり、相互作用することで独特の抑圧が生じている状態)から生じる、フェミニスト問題に力を入れるネットワークや連合とつながりを持っていることが少なくない。これらのネットワークは、「グローバル(地球規模の視野で考え、地域視点で行動する)」なもので、活動家は地理的拠点や国を超えてつながっている。国境やアイデンティティを超えたつながりを持つ女の子やユース女性は、地元で活動する多くのリーダーとともに、同様のオープンなネットワークを楽しんでいる<sup>15</sup>。

相互に関連するこうした積極的行動による試みは、市民参加のあらゆるレベル、およびさまざまな形態の権力に影響を与えている。一方、地域での運動の成功を評価する際は、グローバルな結びつきのなかにも異なる要素があることを理解することがきわめて重要である。

**招かれたスペース**は、政府や超国家的組織、NGOなどからの招待を通じて設けられたスペースとも言える。しかしながら、当局やエリートが決定を下す閉ざされたスペースでは、まさにその決定によって影響を受ける人々からのインプットがほとんど、あるいはまったくない。**閉ざされたスペース**がもたらす影響に対抗するために設けられたのが、**主張のために自分たちで設けたスペース**である。このスペースは類似の問題に対して動員をかけるなど、同じ志を持った個々人で構成されている。これらのスペースは通常、制度化された政治活動の外に設けられ、その範囲は計画された社会運動から、問題を討論し戦略を議論する自然な集まりまで多岐にわたる<sup>16</sup>。

この調査では、特に閉ざされたスペースの特定はしていないが、女の子やユース女性の市民参加を後押しする主張のためのスペースおよび招かれたスペースの例を紹介したい。主な例のひとつはTalithaプロジェクトである。

トンガでは、Talithaプロジェクトに参加するユースのメンターのひとり、Anamaliaが国と地域のフォーラムやワークショップに招待された。女の子のエンパワーメントやリーダーシップを提唱するために、こうした機会を活用した彼女は、「これらの場で、私は女性がリーダーシップを発揮することがいかに重要か、また、女の子や女性が安心して暮らせる社会を築くことがいかに重要かについて発言し、議論を導くことができた<sup>ix</sup>」と述べた。

もうひとつの例は、オーストラリアのYASの取り組みである。この16～24歳の活動家を対象とした12ヵ月にわたるリーダーシップ開発プログラムは、長期的な社会変革を実現し、平等や人権、環境問題に取り組むために、毎年10人の参加者を招待している。また、YASは国際ガールズ・デー(10月11日)にユースを招待し、彼ら(彼女ら)がリーダーや政策決定者との話し合いのなかで、自分たちの体験を明らかにしながら、意見を述べられるようにした。こうした政策提言メッセージは、オーストラリアの主要メディアによって紹介された。2020年に参加したユース活動家たちは、ソーシャルメディアに投稿したり、プラットフォームに対して、女の子とユース女性が力を得られるような安全なオンライン空間づくりに取り組むよう訴えたりするなど、デジタル技術に焦点を当てた活動を行った。

以前YASの活動をしていたAlice は、プログラムに参加した当時のことを振り返り以下のように述べている。

「ニュースレターでYASのことを知り、すぐにこれは素晴らしい機会だと思いました。プログラムに参加するとは思いませんでしたが、結局参加しました。本当の目に見える変化を推し進めることに、心から情熱を感じていました<sup>x</sup>。」



Aliceはオーストラリアに住む、ユース女性活動家であり、自国でのジェンダー・トランスフォーメーションの促進に活躍している。

<sup>ix</sup> Anamaliaとのインタビュー。

<sup>x</sup> Aliceとのインタビュー。



ユース活動家がジェンダー・トランスフォーマティブの変革に影響を与えることのできるスペースに加え、アジア太平洋地域の積極的活動は、さまざまなレベルの市民参加におよんでいる。

**ローカル・レベル**では、個人や家庭での行動のほか、人々が変革のために動員できる、日常的な公的生活の場などがある。このレベルでは、ユース女性の擁護者らは現地に固有の問題を通じて個々人とつながっている。現地での積極的行動には、ジェンダー平等や社会的包摂に関する話や情報を友人・家族と共有したり、キャンペーンや学校での教育プログラムを主導したりすることなどが含まれる。

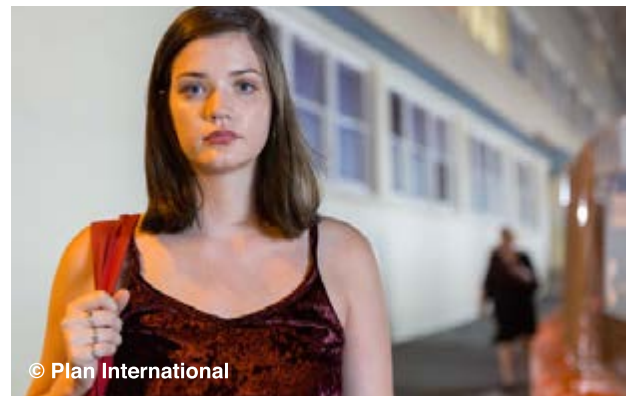
「よく思うのですが、ユースは意思決定者に与える自分たちの影響力に気づいていません。考えてみると、私たち、特に多様な背景を持つユース女性は、伝統的な権力者と文字通り同格なのです。私はYASの女の子やユース女性が政策決定に与えた影響をこの目で見てきた。私たちは途方もない波を起こしていると思います<sup>xi</sup>。」

積極的行動には**国家レベル**に広く訴える取り組みもある。このレベルの市民参加は、国や政党、裁判所を利用することで、権力や公的機関に影響を与える。この場合、支援者らは、ジェンダー平等や社会的包摂のための優先課題を掲げてキャンペーンを推進し、しばしばフェミニスト団体との連携を通じて、公共のアジェンダや国の政策、予算に影響を与える。また、女の子やユース女性は、政府が招集したユースによる政策協議会を催したり、ユース主導の請願書を国会に提出したりするなど、市民として政府と関わりを持つこともあるだろう。

この調査で確認された最も高いレベルは**超国的**なもので、国際的な諮問機関や地域団体、国を超えて参加できる公式・非公式の場などを含む。この場合、子どもやユース女性のネットワークは個々人の協力に加え、公的機関との連携のもとでジェンダー・トランスフォーマティブな変化を促す。これらの取り組みは、アジア太平洋地域の複数の国にまたがり、それぞれの国が抱える問題を取り扱う。このような取り組みに参加する活動家は、地域の枠を超えた活動からインスピレーションや連帯感を得られることだろう。

オーストラリアのYASプログラムは、持続可能な変化を確かなものにするため、市民参加の3つのレベルすべてで活動を展開することも少なくない。全国レベルでは2021年、選ばれた活動家らが、オーストラリア議会から性差別やミソジニー（女性蔑視）をなくすための力強い提言を複数作成した。彼ら（彼女ら）は、これらの提言に基づく請願書を全国の政治家や権力者に提出する予定である。

女の子やユース女性活動家はジェンダー・トランスフォーマティブな変化に影響を与えるために、異なるレベルの市民参加を効果的に使っているが、これら積極的行動の成功に影響を与えるさまざまなパワーの形態を理解することも大切である。



© Plan International

十分なサポートや適切なツールを提供すれば、女の子とユースはジェンダー平等に向けたポジティブな変化をもたらすことができる

**目に見える形のパワー**は、立法府や地方議会、諮問フォーラムなどの正式な意思決定機関とされる公的な場を用いて、さまざまな利害が論争されることになる。これらの場は、世界的リーダーや政策立案者、プロのキャンペーン担当者などが主導する傾向がある。一方、ユース活動家たちは、公開デモや自作のキャンペーンを使って、自分たちの利益を推進し、目に見える形で自分たちのパワーを示しながら、政策決定者に影響を与える。

こうした意思決定の場では、ある特定の声が他の声より大きくなる<sup>17</sup>。立法府やその他の政府機関で適切な代表権を得ることに力を注げば、女の子やユース女性は自分の力や影響力、発言力を高め、これらの機会を利用して自分たちの見解を表明し、公共政策に影響を与えることができるだろう。

**隠された形のパワー**は、既得権者が自分たちの力や特権を維持するために使うもので、政策アジェンダのコントロールなどがこれにあたる。一方、人々が支配や統制に抵抗するために、隠された形のパワーを使うこともあるかもしれない。

<sup>xi</sup> Aliceとのインタビュー。



同様に、**不可視の権力形態**は、被支配集団の権利と利益を、その集団自身から隠蔽することを含む。この種の権力は、支配的なイデオロギーや価値観の影響、および社会化された行動様式を利用する。

潜在的な、あるいは目に見えない形のパワーに対処することは、本質的に、現状維持を望む人々による支配への挑戦となる。意識やスキルの向上を通じて、女の子やユース女性の声が強化されれば、ユース活動家はジェンダー平等や社会的包摂の熱心な政策提言者になることができる。こうした活動家はすでに、メディアを利用して潜在的な、あるいは目に見えない形のパワーへの挑戦を始めている。例えば、インドネシアの「早すぎる結婚の撲滅を目指す市民社会運動」は、子どもの保護に関する情報共有や公的支援の取りつけ、法改正の実現に向けてメディアを効果的に活用している。

## 女の子とユース女性による今後の市民参加と積極的行動への支援

この調査の一環として、プラン・インターナショナルはユース女性活動家7人と対象分野の専門家5人にインタビューを行った。インタビューを受けた活動家らは、過去および現在進行中の市民参加と積極的行動の成功事例とその要因、および今後の市民参加と積極的行動に対する望ましい支援方法を明らかにした。

### 過去に成功した市民参加の取り組み

この調査では、ジェンダー平等と社会的包摂の推進に向けて女の子やユース女性が取り組んだ成功例を明らかにしている。これらの知見は、今後の活動で取り入れるべき手法に示唆を与えてくれる。成功が明らかな取り組みは：

- 共有するアイデンティを持つグループの動員と相互支援の提供：**活動家の多くは、コミュニティや家族などの物理的関係のなかで、孤立していると感じることがあるかもしれない<sup>18</sup>。一方、ソーシャルメディアによって、彼女たちは同じような体験や考えを持つ仲間とつながり、集団として抑圧に抵抗できるようになった。
- ジェンダー平等と社会的包摂に関する声の行使と公式な場での表明：**ユース活動家は自分たちのスキルや自信を活用しながら意見の共有や、政府その他の利害関係者への働きかけを行っている。ベトナムでは、ユースが国会に招かれ、女の子の権利に関わる問題について自分たちの視点から意見を述べた<sup>xii</sup>。
- ジェンダー・トランスフォーメーションのための教育プラットフォームと教材の使用：**若い擁護者らは、独自のプラットフォームや教材を利用して、子どもたちに生物学や性と生殖に関する健康について教えている。ソロモン諸島では、ユース活動家が、子どもに配慮した活動を通じて、身体に関わる自己決定権や同意といったデリケートな問題を話し合う「チャンピオンズ・オブ・チェンジ」という教育プログラムを推進した。学校運営委員会や教師も、こうしたユースリーダーによる学校プログラムの実施をサポートしている。
- 政府の政策への影響力行使：**積極的行動が政府の政策に影響を与える成果をあげた国もある。国家レベルの一例として、フィジーでは気候変動法案に対するユースの意見に焦点を当てた、全国ユース気候アクション・サミットが催された<sup>19</sup>。地方レベルでは、県の子どもフォーラムに参加したインドネシアの子どもたちが協議に招かれ、地域開発計画のコミュニティ・ディスカッションに必要な調査を実施した<sup>xiii</sup>。

<sup>xii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

<sup>xiii</sup> ユース女性活動家とのインタビュー。

## 市民による取り組みを成功させる鍵

こうしたユース女性活動家らが関与する取り組みの成功が、ジェンダー平等と変革を促進する上で不可欠だ。市民活動サポートの成否を分ける要素のひとつは、ユース女性活動家たちが意見を述べ、経験を共有する際に、必要な保護を提供する政策を国と地域レベルで作ることである。ユース女性活動家らを保護する特定の政策がないと、市民が関与する取り組み全体に悪い影響を及ぼしかねない。

バングラデシュ出身のユース女性活動家、Khadizaは、「ユースや女性が国内で市民活動に参加する際に保護されることはない」と語った<sup>xiv</sup>。女の子もユース女性たちも、ジェンダー平等推進に向けて広く啓発活動を行うことに意欲的だが、その多くは、警察が自分たちを保護し、自分たちの不安に向き合ってくれるとは信じていないため、メッセーその一方、インドネシア政府は特定の政策はないながら、現在ユース女性活動家のサポートに向けた取り組みを進めている。YCGのメンバーとして地元で活動するFerynによると、インドネシア政府はユースのアドボカシー活動をサポートしており、YCGのメンバーがCSOとNGOのネットワークを通してジェンダー平等に向けた活動に参加させてもらえてもいると語っている<sup>xv</sup>。

ユース女性たちの関与をサポートする特定の政策が作られるようになれば、今後、活動家たちが意見を述べたりジェンダー平等のメッセージを広める際に必要な保護が提供されるようになるだろう。



© Plan International

<sup>xiv</sup> Khadizaとのインタビュー。

<sup>xv</sup> Ferynとのインタビュー。



特定の政策に加え、ジェンダー平等と社会的包摂に向けた市民の取り組みの成功に必要な要素が、いくつか本調査で明らかになった。

- **女の子とユース女性たちが自身が信念を持って前向きなアプローチをとること:** 組織や政策立案の場における推進役から支持されれば、女の子とユース女性たちの有意義な参加が進み、効果的な取り組みが可能になる。子どもとユースの参加に影響を与える可能性のある大人たちには、内省力と交渉力とともに、尊敬の気持ちを忘れず差別的でない態度が求められる<sup>xvi</sup>。
- **子どもたちと活動する際には、人権に基づくアプローチをとること:** こうしたアプローチをとることは、子どもたちが自分たちが参加して発言する権利を持っていることを認識することにつながる。メンター制度の下でサポートすることにより、大人たちは子どもたちがより安全に集まって意見交換する場を作ることができる<sup>xvi</sup>。
- **家族と友だちから尊敬され、しっかりとサポートされること:** これは、女の子とユース女性たちがより効果的にアドボカシーに取り組む後押しとなる。アジア太平洋地域のいくつかの組織と取り組みでも、こうしたサポートの効果は証明されている。例えば、Girls Allianceのメンバーらは、ジェンダー差別を食い止める方法と子どもたちがもっと安全に意見を言う場の作り方を、家族に教えた。すると、家族たちは社会的包摂に向けた変革に関する自分たちの考えを近所の同世代と共有し、これが各コミュニティ内での規範を変え、行動変容につながった。
- **女の子とユース女性たちが互いにつながる交友の場をつくる:** 支えてくれる仲間たちの存在は、女の子たちの自信を高め、さらなる活動への後押しとなる。しかし、公的な局面で活動家として自信をつけるためには、女の子とユース女性たちが意思決定者に定期的に意見を述べる機会を増やす必要がある<sup>xvii</sup>。
- **パートナーと連携した取り組みをする:** ユース女性活動家らは、自分たちより上の世代の男女同権論者らから支持を得る重要性を強調する。例えばインドネシアでは、YCGとJaringanAKSIのパートナーシップなど、異なる組織や取り組みが連携して、CEFMUの撲滅に向けたキャンペーンを行っている。こうしたパートナーシップにより、活動家たちは広く社会と意思決定者に影響を与えることができるようになった。
- **社会のうねりを維持するために小さな成功を喜ぶこと:** 子どもや若い活動家たちは、活動の中で小さな成功の一つ一つに勇気をもらうことで変革に向けた勢いを上手く維持していくことができる。

## 市民の取り組みにおけるデジタル・テクノロジーとソーシャルメディア

女の子とユース女性活動家らはこれまで様々な方法で活動してきたが、デジタル・テクノロジーとソーシャルメディアは活動の成功に大きな役割を担っている。本調査の一環で、プランは、デジタル・テクノロジーが社会変革にいかに関与を及ぼし、ジェンダー平等を促進しているか、さらに、市民が関与する取り組みを向上させるための今後の活用方法を探った。

活動家たちは、ストーリー、ミーム、ショートフィルム等、ソーシャルメディアのオンライン・コンテンツを活用して、InstagramやTikTok、YouTubeで自分たちに関わる問題への意識を喚起している<sup>xviii</sup>。さらに、WhatsAppやFacebookのグループやページを利用し、「ソーシャル・インフルエンサー」を通してユースに呼びかけ、キャンペーンのボランティアを募り、請願書を作成し、イベント企画に必要なテンプレートを共有している。SNSは、ネットワークを広げ、支援システムの構築、連帯感の醸成、社会運動の持続に必要な影響力の拡散に有効であることが証明されている。また、将来的に利用可能な教育リソースの電子リポジトリとしても機能している。

デジタル・テクノロジー活用の代表的な例は、オーストラリアのYASプログラムで開発されたクラウドマッピング・ツール、Free to Beだ。2018年に、CrowdSpot、Monash大学XYXラボとの共同プロジェクトで、女の子たちが安全でないと感じたり街中でハラスメントを受けたことのあるエリアをマークすることができる双方向的な地図が開発された。オンライン上で公式に発表される頃には、すでに21,000人を超す女の子がこの地図を利用していた<sup>xix</sup>。

<sup>xvi</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

<sup>xvii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

<sup>xviii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

<sup>xix</sup> Aliceとのインタビュー。



インドネシアでは、YCGもデジタル・テクノロジーをCEFMUの課題に関する政策提言に活用している。多くの人が世論や政策に影響を与えるためにソーシャルメディアのプラットフォームに投稿している。キャンペーンに参加しているユースの活動家のFerryは次のように語っている

「たくさんの人がわざわざInstagramで投稿をシェアしてくれてとても嬉しかったです...良い反応だったので、早すぎる結婚の撲滅に向けたキャンペーンの継続に新たな意欲が湧いてきました<sup>xx</sup>。」

デジタル・テクノロジーとイノベーションは、アジア太平洋地域でCOVID19のパンデミック対応にも役立っている。加速度的に進化する技術は、感染爆発の状況把握と緊急支援、子どもたちの教育、弱い立場にあるコミュニティ社会への保護に活用された。こうしたイノベーションはさらなる感染爆発の軽減に活用できるし、されるべきである一方で、この地域は環境にやさしく、インクルーシブでレジリエンスのある技術への意識も持ち続けなくてはならない<sup>22, 23</sup>。

ユース女性の活動を中心にしている組織では、COVID19対応にデジタル・テクノロジーを補助的に活用する例が見られる。例えば、バングラデシュでセクシュアル・ハラスメントの撲滅を目指す組織WeMen Viewは、オンラインを活用して、パンデミック下でも子どもとコミュニティを支援する救済プロジェクトをいくつか追加実施した<sup>xxi</sup>。

### デジタル・テクノロジー活用成功例

アジア太平洋地域では、女の子とユース女性活動家たちがデジタル・テクノロジーを活用して、ジェンダー・トランスフォーマティブな変革の推進に成功している。

- **ジェンダー・トランスフォーマティブな変革に向けたオンライン・キャンペーンの実施:** オンライン・キャンペーンを使って、社会的包摂への動きを促進している取り組みもある。例えば、女性の権利団体Lentera Sintas インドネシアとMagdaleneは共同で“Let's Talk About It”(#MulaiBicara)キャンペーンを企画し、性暴力の防止を呼びかけた。その結果、#MulaiBicaraには7,000件近くの投稿が寄せられ、この問題への意識啓発につながった<sup>24</sup>。
- **デジタル・プラットフォーム上でジェンダー平等と社会的包摂について意見交換をする:** アジア太平洋地域の女の子と女性は、デジタル・プラットフォームを使って、ジェンダー平等と社会的包摂に関する個人的なストーリーをシェアしている。バングラデシュでは、女性による団体Swayongが作成したプラットフォームで、様々なグループが安全な環境でストーリーをシェアした。このプラットフォームは、女性の抱える問題に関するタブーを打破することで、ナイーブな問題について有意義な意見交換ができるようになり、教育と能力強化のひとつの方法を示した<sup>25</sup>。
- **デジタル・プラットフォームによるアクセスのしやすさを優先する:** ユース・フォーラムや会議は、より多様なユースが参加できるようにデジタル・プラットフォームを活用している。例えば、UN75ユース・フォーラムは、対面でもオンラインでも参加できるハイブリッド型を採用。セミリモートでの参加により、農村部のユースや社会的・経済的に不利な立場にある個人がライブ・ストリームの話し合いに参加することができた<sup>xxii</sup>。
- **SNSとブログを通して意識を喚起し、広く啓発活動を行う:** 多くの女の子とユース女性たちがFacebookやInstagramで交流してつながり、ジェンダー平等や社会的包摂をめぐる問題について意見交換している。地理的には様々な制約があるにもかかわらず、こうしたオンライン上のつながりによって活動は広がっている<sup>26</sup>。また、ソーシャルメディアでは、自分の身の周りの社会的つながりや個人的な視点を超えて様々なストーリーが提供される<sup>27</sup>。

<sup>xx</sup> Ferryとのインタビュー。

<sup>xxi</sup> Khadizaとのインタビュー。

<sup>xxii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

## デジタルを活用して活動を成功させる鍵

本調査では、デジタル・テクノロジーとソーシャルメディアの活用を上手くサポートする要素を明らかにした。

- **デジタル・テクノロジー習得に対する適応力:** 本調査でインタビューした女の子とユース女性たちはソーシャルメディアに精通しており、オンライン上で自分自身を守る意識と、そのために必要なスキルを持っている。こうした女性ユース活動家の多くが、先進技術とともに成長し、上の世代とオンライン上で心地よく会話することができる<sup>xxiii</sup>。
- **デジタルの活用に向けた興味深いコンテンツとアプリケーションの利用:** 社会的包摂に向けた変革を促進するソーシャルメディアでは、市民による取り組みとメッセージを広めるためにポスターやインフォグラフィックス、ストーリー、コンペ、ビデオ、ショートフィルムが活用されている。FacebookやInstagramでのライブ討論は社会的包摂に関するコミュニケーション推進方法として興味深い。
- **結束力を築くための安全で包摂的な場所づくり:** ソーシャルメディアなど安全な場所で結束力を築くことで、公の場で集団行動しやすくなり、戦略上有利になる<sup>28</sup>。ソーシャルメディアでは、各個人が自分の考えを編集し、会話をコントロールすることができる。LGBTIQIA+のユースなど、社会から取り残されているグループは、オンラインでは自分のアイデンティティを守りながら、対面での会話に感じるプレッシャーを感じずに済み、より心地よく意見交換できることが多い<sup>29</sup>。
- **対面とオンラインによる活動の連携:** デジタルでの活動が成功しているケースでは、活動の中心にある者が、対面とオンラインの活動を上手く融合させ、ユース活動家どうしに対面による関係作りを働きかけていることが多い。新しいメディアの研究者たちは、オンラインのみによる社会運動の持続可能性に慎重な立場をとり続けている<sup>30</sup>。SNSは前進するための知識とエネルギーが要求され、オンライン上の存在を確立・維持するためにはデジタル上での作業が不可欠だ<sup>31</sup>。例えば、ジャカルタの男女同権論者討論グループでは、コミュニティ集会や読書クラブ、映画上映などのイベントを公の場で行いながら、Facebookのページでは地域全体のネットワークを形成している。メンバーの中には男女同権論者のInstagramアカウントの管理者もいて、ジェンダーの問題に関するキャンペーンに向けて対面とオンライン共通の戦略を立てることができる<sup>32</sup>。
- **適切なテクノロジーとデジタル・リテラシースキルの向上:** 子どもとユースが関与するインクルーシブな取り組みを推進する場合、組織も個人もアクセスしやすいインクルーシブなデジタル・テクノロジーに投資するべきである。アドボカシーに向けたソーシャルメディアの効果的な活用法に関するトレーニングと指導など、あらゆる年齢の人々のデジタル・リテラシーを向上させることで、より幅広い立場の市民が取り組みと活動に参加できるようになる。



© Plan International

<sup>xxiii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

## 市民が関与する取り組みの将来

本調査では、女の子が参加する取り組みの将来に対する見通しを明らかにした。アジア太平洋地域のユースの活動において現在何が障害と制約になっているのか考察するとともに、今後の市民が関与する取り組みや活動を実現・サポートする上でどうするのがベストかを知ることができる。

本調査の一環で、女の子とユース女性活動家たちは今後市民が関与する上で必要な要素をいくつか明らかにした。女の子とユース女性が関与する今後の取り組みを成功させる大きな要素の1つは、上の世代からのサポートである。バングラデシュでWeMen Viewという組織を主導するユース女性活動家Khadizaは以下のように述べている。

「私たちの上の世代である大人たちには、私たちが自分の意見を言うのを邪魔しないでほしい。いじめたり、嫌がらせをしたりせず、その代りに、大人たちには、ジェンダー平等という理念を支持し、前進する私たちをサポートしてほしい<sup>xxiv</sup>。」

市民による取り組みへの今後のサポートに必要な他の要素は以下の通り:

- **世代の広がりのある社会としての取り組み:** Pacific Feminist Charterのアクションプランでは、女の子の多様なグループの間にできた結束をサポートする必要性が具体的に述べられている。あらゆる世代の活動家どうしが協力し、経験を共有することで、女の子とユース女性たちのリーダーシップ能力が向上し、市民が関与する取り組みに新しいアプローチとアイデアがもたらされる。
- **多様な領域をまたぐアプローチ:** 女の子とユース女性と言っても、単一のグループではなく、多様性が推進されなくてはならない。公の場面でも、女の子とユース女性の中にトランスジェンダーや障害者、先住民の女性たちが含まれていることを明確にするべきだ<sup>xxv</sup>。同様に、子どもとユース女性を招待する場合は、彼ら自身が自分の代表を選出できるようにするべきである。
- **大人たちによるサポートの強化:** 大人は子どもたちが活動家としての能力を高めるサポートをするべきである。女の子とユース女性活動家らは、家族のサポートがないこと、そしてコミュニティからの反感を恐れて変革の担い手として活動を始めることに踏み切れないと語った。大人たちはユースの活動家を守り、彼らが市民による取り組みに参加するために必要なスキル・知識・意識を身に着けるためのメンター制度を提供しなくてはならない<sup>xxvi</sup>。
- **他の活動家とのネットワークの強化:** 活動家たちは国内であれ地域全体であれ、ネットワークを強化して同じ目的に向けたキャンペーンで協力し、他の視点での考えや新しいアイデアを吸収したいと望んでいる<sup>xxvi</sup>。Pacific Feminist Forumは、こうした多様な女性活動家らを結ぶ地域プラットフォームの1つである<sup>xxvii</sup>。
- **リーダーシップと決定権を持つ地位に就く機会:** 女の子とユース女性たちは、ユースが関与するプロジェクトの調査・モニタリング・評価のみならず、女の子たちにメリットのあるプロジェクトの企画と実施の両方に参加できるべきである。さらに、女の子とユース女性たちは、地域レベルの話し合いだけでなく、国レベル・多国籍レベルでの政策立案に意見を述べるべきである<sup>xxvii</sup>。
- **女の子とユース女性に対する責任を政府に持たせる仕組みを増やす:** 政府に、女性やユースの活動をサポートする具体的な対策を講じる責任を持たせれば、政府はもっと彼女たちの視点に立つようになるはずである。この責任の中には、住民たち、特に女の子とユース女性たちが、人権侵害の恐れのある事例を報告できるようなフィードバックの仕組みも含まれる<sup>xxviii</sup>。
- **活動を支える法的・経済的フレームワークを作る:** 女の子主導のグループは、資金源と潜在的な資金提供者とのつながりを見つけるためには、経済的サポートが重要だと認識している。取り組みを持続可能なものにするために、彼女たちが知識を強化し、専門的な運営スキルを高めるトレーニングを受けることも必要である<sup>xxix</sup>。

<sup>xxiv</sup> Khadizaとのインタビュー。

<sup>xxv</sup> ユース女性活動家とのインタビュー。

<sup>xxvi</sup> ユース女性活動家とのインタビュー。

<sup>xxvii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。



女の子とユース女性の活動家へのインタビューを通して、今後の活動においてデジタル・テクノロジーが果たす役割についても明らかになった。

- **女の子とユース女性が活動に関わる安全な場所として機能する:** SNSで、ネットいじめが行われる恐れがあってはならず、デジタル・プラットフォームのプロバイダー企業はオンライン上の安全に責任を持たなくてはならない。女の子とユース女性へのハラスメントが容認されてはならない<sup>37</sup>。
- **ジェンダー平等と社会的包摂について教育する:** 複数のデジタル・プラットフォームを活用して、ソーシャルネットワークを強化し、社会運動を先導し、キャンペーンを広く行う。ユース女性活動家を含むソーシャルメディア利用者は、誤情報やフェイクニュースに対処する力を備えるようになる。デジタル・データベースは、政府に政策を実施する責任を持たせるためにも活用できる。
- **インクルーシブな活用を実現する:** 障害者がデジタル・テクノロジーの設計にもっと関わるようになり、彼らのアイデアによって、彼らのニーズにこたえるテクノロジーが生まれるだろう。男女共に多様なグループがオンラインで活動に参加できるようになり、女の子たちの声がストーリーやアート、画像、ビデオを通して一層大きくなり、より多くの視聴者に届くようになる<sup>xxviii</sup>。

### ユースの活動の高まりに対する各国政府の反応

アジア太平洋地域で活動する女の子とユース女性活動家は、ジェンダー平等とインクルーシブな社会を実現するために、様々な戦略と方法を実施している。しかしながら、変革の実現には、市民による取り組みだけでなく、変革を前向きに受け止める政府の対応も必要である。

本調査の一環で、プランは、高まりを見せるユースの活動に対する各国政府の対応とともに、今後の市民の取り組みへの前向きな対応につながる要素について評価を行った。ただし、ユースの活動の高まりへの各国政府の対応について、信頼できる正式な情報がないことは、予め認識すべきである。多くの内容は、政府のコメントとメディア記事で報告された最近の活動、政府代表者のインタビューから得たものである。さらに、政府は多様な部局と、異なる考えを持つ個人で構成されている。下記に概説する内容は、「政府全体」が示す唯一の見方を表すものではなく、むしろ異なる政府が示した様々な対応として記載されている。

ユース女性活動家たちが意思決定プロセスと政策立案の場に参加することは、必要な関連プログラムと政策の策定だけでなく、今後もユースが継続的に市民の取り組みに参加する上でも重要である。インドネシアのユース女性活動家、Ferryは以下のように言う。

「10年後は状況が改善していることを期待している...現在ユースとして、私たちは政府と協働することができ、政府が政策決定する前の段階に参加することが許されている...私たちの考えを聞き、考慮に入れてもらっている。将来的には、ユースが政策提言に今以上に関わられるように声がかかることを、期待している<sup>xxix</sup>。」

ユースの活動の高まりに対する、アジア太平洋地域各国政府の反応は様々だ。アジアでも太平洋地域でも、また地域内の各国でも、ユース女性市民による取り組みをサポート、あるいは妨害する、という様々な動きがあるのが実情だ。

アジア地域では、各国政府はユースが話し合いに加わって影響力を発揮できる場を拡大し始めている。この傾向はまだ地域全体に広がっているとは言えないが、一部の国は、女の子たちのメッセージを共有する形で女の子たちを支援している。例えば、東ティモールでは、政府内の部局がGirls Allianceのアドボカシー・メッセージをソーシャルメディアと従来の報道機関の両方で共有した<sup>xxx</sup>。これにより、女の子たちは子どもたちの教育と健康に関連する権利について公式の会談に直接影響力を及ぼすことができた。

<sup>xxviii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

<sup>xxix</sup> Ferryとのインタビュー。

<sup>xxx</sup> 若い女性活動家とのインタビュー。

ユースが話し合いに加わって影響を及ぼせる場を増やすことが、ジェンダー平等と変革に向けたアドボカシーを進めるためには極めて重要だ。バングラデシュでは、WeMen Viewが現在、子どもとユースの教育を通して、性的嫌がらせの問題に取り組んでいる。保守的な社会では、ジェンダーをめぐる課題に取り組むことが難しく、議論の的になりかねないが、WeMen Viewは悪戦苦闘しながらも学校にアプローチした。活動に参加している一部の学校で男の子と女の子に「良いタッチと悪いタッチ」の違いについて教えるとともに、虐待にあった場合にまず誰に相談し、どのように助けを求めるかを指導して、大きな前進を果たしている<sup>xxxix</sup>。

アジア地域では、市民の関与する取り組みをサポートする国がある一方で、抗議行動をする者を処罰してユースの活動に制限をかけ始めた国もある。人権アドボカシー活動を制限するために、治安部隊による制圧や検閲、逮捕、監視など、権威主義的な方法も見られるようになってきた。さらに、活動家らの自由を制限し、国の権限を強化する反テロリズム法が制定された国もある<sup>38</sup>。この中には、フィリピンの「フェイクニュース」法と2020年の反テロリズム法も含まれ、この結果、国は罪状なしで最長24日間容疑者を拘留できるようになった<sup>39</sup>。これに対し、女性のユース活動家らは、ジェンダー活動家と政府との話し合いを増やすよう求めるとともに、ユース女性活動家を保護するよう司法当局によるサポートの強化を求めた<sup>xxxii</sup>。

こうした制限が拡大する一方で、アジアの一部の国では、ユースの活動家が、国際的なユース・フォーラムに参加する機会を広げる動きも出てきている。例えば、ベトナム国務省と国連Youth Unionは、ユース諮問グループを立ち上げ、ユースが青年法を改正する機会を提供した<sup>xxxiii</sup>。

ユースの活動が実り、2015年以降、ジェンダーと社会的包摂の問題に関する政策の改革に成功する例も続いている。中でも、インドネシアの憲法裁判所は2019年に、女の子が結婚できる年齢を（男の子と同じく）19歳に引き上げるべきだという判決を下し、国会が3年以内の現行法改定に同意したのは特筆すべきだ<sup>40</sup>。この問題について、インドネシア社会では引き続き議論が行われるが、特にCOVID19パンデミック下でCEFMUが増加していることを考えると、これはCEFMU撲滅に向けて長年取り組みを続けてきたジェンダー活動家らの勝利に他ならない<sup>41</sup>。



© Plan International

<sup>xxxix</sup> Khadizaとのインタビュー。

<sup>xxxii</sup> ユース女性活動家とのインタビュー。

<sup>xxxiii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。





© Plan International

公共政策に影響を与えるという意味で、女の子とユース女性が大きな前進を遂げた一方で、社会的に意見の分かれる宗教的な問題に、各国政府が取り組むのが、依然として難しい。例えば、インドネシアで女性性器切除を廃止するには、より強い政治的意思と宗教団体の協力が必要になるだろう。バングラデシュでは、暴力を認める社会的規範と習慣が社会のあらゆるレベルで慣例や法律として定着しているため、女性に対する暴力で男性を処罰するのは、依然として困難だ<sup>xxxiv</sup>。さらに、現在の司法システムには、ジェンダーによる完全な不公平が存在するのも事実だ。この地域では多くの国で社会規範・宗教的信条としてCEFMUが広く行われているのが実情である。

アジア地域では、各国政府の対応は様々だが、太平洋地域の対応は比較的前向きで、中には女の子とユース女性を市民が関与するプロジェクトや、公的な話し合いに参加できるよう招待する国もある。しかしながら、本調査でも、ユース活動がジェンダー平等と社会的包摂に関連した政策変更につながった具体例を、紹介するには至らなかった。オーストラリアでは、YASの取り組みが女性と女の子の安全とストリート・ハラスメントに関する政策に影響を与えている。The Greater Sydney委員会、The Transport for NSW、シドニー委員会が、女性の安全憲章の作成に着手したことは、YASが行ってきた政策提言の結実と言える<sup>xxxv</sup>。

具体的な政策変更には至っていないが、PICTの大半の国は、国の発展にユースが参加する重要性を認識するようになった。中には、若い活動家たちが全国あるいは地方レベルで開発に参加できるよう、政府が太平洋ユース開発機構などの仕組みや機構を作っている国もある。

さらに太平洋地域では、政府・地方自治体・NGOが連携して、女の子のリーダーシップを高める機会を提供している。例えば、プランとソロモン諸島Honiara市議会<sup>xxxvi</sup>、女の子たちがジェンダー平等や性的嫌がらせの防止、性と生殖の健康など様々なテーマの研修に参加できる安全な場所の提供とジェンダー平等の推進に向けて連携した取り組みを進めている<sup>xxxvii</sup>。

太平洋地域では、各国政府の反応はおおむね前向きだが、一部には、メディアや公的なディベートを検閲し、女の子とユース女性たちがジェンダー平等に向けた政策に影響を与える機会を制限している国もある。各セクターの専門家らは、政府は女の子とユース女性を支配しようとするのではなく、むしろ若い活動家らをサポートし、その正当性を保証して多様な価値観と政治的見解を発表できるようにするべきだと、警鐘を鳴らしている<sup>xxxviii</sup>。

<sup>xxxiv</sup> 若い女性活動家とのインタビュー。

<sup>xxxv</sup> Aliceとのインタビュー。

<sup>xxxvi</sup> ソロモン諸島のプランは資金調達をし、ユース活動家のメンターを行っている。

<sup>xxxvii</sup> ユース女性活動家とのインタビュー。

<sup>xxxviii</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。



## 政府の前向きな反応を生む要因

今後の市民の取り組みに対する各国政府の前向きな反応を広める要素は、いくつかある。まず、各国政府は現在の慣行を改善し、ジェンダー平等と社会的包摂に向けた国の課題と公約に注力しなくてはならない。

本調査により、女の子が有意義な参加ができる開かれた場を確保するために、政府が集中すべきいくつかの領域が明らかになった。

- **女の子とユース女性が参加して意見を述べる価値を高める:** 社会が平和的で包摂的であるかどうかは、ユースが積極的に参加して有意義な取り組みを行っているか次第で決まる。各国政府は、全国・地方レベルの意思決定プロセスにユースがより広くインクルーシブに参加し、上の世代の政治家と子どもたち・ユースリーダーが交流できるよう働きかけなくてはならない。こうした交流を通して、政府は有益な情報を集め、意思決定の場でユースの利益を代表することができるようになる<sup>xxxix</sup>。
- **ユースを前向きな社会変革の担い手として育成する:** ユースの課題に関する政策とプログラムの中には、思春期のユースと好ましくない行為を結びつけたものが多い。政府はまず、この良くない連想を正す取り組みを行い、ユースを前向きな変革の担い手として捉え直す必要がある<sup>xl</sup>。この取り組みの一環として、政府はユースの批判的思考スキルと創造力を育成するプログラムをつくり、ユース主導で問題を解決する環境づくりに取り組むこともできる。
- **社会変革に向けて、より幅広くリーダーシップを発揮する積極的な役割を担う:** 本調査では、ユース女性活動家たちが自信とスキルを高めて国レベルで活動するネットワークを築くためには、それまでに各々の地域コミュニティで認められ、サポートを受ける必要があることが分かった。様々な形で差別を受けている女の子とユース女性たちのニーズに取り組むために、多様なグループの人々がインクルーシブな環境で対話できるようにする役割は、政府にしか担えないものである。前進するCSOの各団体と協働することで、政府内各部署は有害な規範や姿勢、仕組みを改め、思春期の女の子を守る組織へと強化することができる<sup>xli</sup>。
- **指導的役割の中でジェンダー平等を体現する:** 政府がジェンダー平等の実現に主導的役割を果たせば、女の子は自信を高め、将来政治的指導者になるために、必要なスキルを身につける意識が高まる。政治の世界で活躍する女性が増えれば、女の子にとってのロールモデルができ、ジェンダー・トランスフォーマティブな変革に向けた政策決定に影響を与えることができる。
- **ユースの活動を推進する資金援助:** 国の政策と資金援助を、女の子とユース女性のニーズと優先課題に関する情報に基づいて決めるためには、政府がユース女性活動家のニーズに取り組む際に、彼女たちが気持ちよく話し合える場をつくらなくてはならない。この中には、市民による取り組みにおいて、女の子とユース女性たちの能力を高めるジェンダー・トランスフォーマティブなアプローチのキャンペーンとプログラムに資金を提供して実施する形でのCSOへの支援強化も含まれる。
- **包摂的で実用的なデジタル環境の提供:** インターネットやソーシャルメディアへのアクセスは、社会のネットワーク構築と教育・政治参加の促進における重要な要素だ<sup>42</sup>。政府は、デジタルを活用した活動に誰もが参加できるよう、価格や入手のしやすさを含むインターネットへのアクセス向上に投資しなくてはならない。政府はさらに、ハラスメントや脅迫のない安全なデジタル空間をつくり、ユースやジェンダー活動家らが自由に意見を述べられる環境づくりをするべきである。こうした取り組みには、脅迫行為に対する法的措置、ジェンダー・トランスフォーマティブな変革に対する公的サポート、さらにオンラインの将来性と責任に関する公教育の実施が含まれる<sup>43</sup>。
- **既存の国際的合意の支持と実施:** アジア太平洋地域では、各国政府はSDGsと女性とユースに関する国連安保理決議を含むジェンダー平等実現に向けたいくつかの国際的/地域的合意に同意している<sup>44</sup>。各国政府はジェンダー平等のフレームワークの提供や子どもとユースの取り組みに向けたわかりやすいプロセスづくりなど、同意を確実に前進させるために思い切った措置を講じなくてはならない。さらに政府は、政治の場で活発に活動する女の子とユース女性たちを保護し、ユースの表現の自由とデモをする権利を尊重しなくてはならない。

<sup>xxxix</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

<sup>xl</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。

<sup>xli</sup> セクター別の専門家とのインタビュー。







# 結論

本調査では、女の子とユース女性活動家らの取り組みとともに、こうした取り組みを継続するために、何が必要かを浮き彫りにしている。

アジア太平洋地域全体で、女の子とユース女性たちは社会的包摂に向けた変革の実現に向けて、取り組みを進めている。しかし、女の子のリーダーシップと活動を支える環境づくりのレベルには、各国で差があるのが実情だ。アジア太平洋GLIsは、各国の政治・社会状況に基づき、教育、経済的機会、保護、保健、意見の表明、法律と政策と並び、太平洋地域の気候など、様々な領域で概説を行っている。各々の国が各領域の値を連結することは、女の子とユース女性たちがリーダーシップを高め発揮する機会を何が実現し、何が抑制しているのか、その要素を把握するための指標となる。こうした要素の多くは、政策立案レベルで取り組むべきものだから、ユース活動家らは、リーダーシップを発揮して、ジェンダー・トランスフォーマティブな変革の推進役を果たしている。

アジア太平洋地域全体で、女の子とユース女性たちは社会的包摂に向けた変革に関して、同じような課題に取り組み、提言を行っている。女の子たちがリーダーシップを身に着けて、発揮するための機会と並び、ジェンダーに基づく暴力と差別など、女の子たちの自律と意見に影響を与える、社会規範・態度・行い、こういったものへの不安から取り組みは進んでいる。

分析の結果、女の子とユース女性は、自ら獲得した場であれ、招待された場であれ、地域・国・多国籍の各レベルで、様々な形の権力と取り組みながら、メッセージを伝え、つながりを広げるために結集している。それぞれ異なる場において、女の子とユース女性たちは様々なアプローチ方法で市民による取り組みを盛り上げ、リーダー役を務め、人々の意識を喚起し、ユースの力を結集し、世論に影響を与えている。本調査で、デジタル・テクノロジーとソーシャルメディアが、市民の関与する取り組みを成功させる鍵として浮き彫りになった。女の子とユース女性たちは、(1)ジェンダー・トランスフォーマティブな変革に向けてオンライン・キャンペーンを実施し、(2)アクセス可能なデジタル・プラットフォームを通じてジェンダー平等と社会的包摂について議論し、(3)SNSを通じて、人々の意識を喚起して啓発活動の拡大するために、デジタル・テクノロジーを活用している。



© Plan International



今後の市民による取り組みの中で女の子とユース女性活動家らの能力をさらに高めていける要素として、上の世代の活動家や家族、友人からのサポート、子どもたちと一緒に活動する組織では人権に基づいたアプローチをとることが明らかになった。政府と関係者らは、アドボカシー・メッセージを広めるだけでなく、アジア太平洋GLIsで概説された領域の向上につながる、思春期の女の子の取り組みとプログラムに投資することも必要だ。

主なインタビューで明らかになったように、デジタル・テクノロジーは、これまでの活動できわめて重要な役割を果たしてきた。しかし、今後も引き続き、市民の取り組みにデジタル・テクノロジーが活用できるかどうかは、(1)デジタルへの適応力とリテラシー・スキル、(2)安全でインクルーシブな場であるかどうか、(3)対面とオンライン活動のつながり、(4)適切なテクノロジーの活用、を含む、いくつかの要素次第だろう。今後の市民による取り組みをサポートするために、ソーシャル・ネットワーク・サイトは女の子とユース女性たちのための安全でインクルーシブな場づくりをすすめる、デジタル・プラットフォームは、一般の人々がジェンダー平等と社会的包摂について学ぶ場となるよう活用していくべきである。

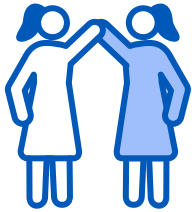
これまでのところ、ユース女性の活動に対する各国政府の反応は様々だ。治安部隊による制圧や検閲、逮捕、監視を行う国がある一方で、政府や各地方自治体が、ユース女性の関与をサポートし、活動家らを意思決定の場に招く国も多い。ジェンダー平等の拡大を求める声に応じて政策が立案され、取り組みがスタートした国もある。こうした現状は、市民の取り組みの勝利とみることもできるが、さらなる改善の余地があると言える。各国政府は、市民の場に、いつでも女の子たちが参加できるようにしておかなくてはならない。また、政策やプログラム、仕組みがジェンダー差別や市民の場の制限に決してつながることがないように、常に見直しを行わなくてはならない。

アジア太平洋GLIsが、女の子を取りまく地域の現状を明らかにする中で、調査結果は、女の子とユース女性たち自身が社会変革の推進役として、極めて重要なことを示している。調査結果を総合すると、社会・文化的規範が依然としてジェンダー不平等と、この地域に暮らす女の子とユース女性たちの機会不足につながっていることが明らかだ。指数の継続的な活用に注力することによって、政策立案者、資金提供者、主要関係者らは今後、主な領域でその動向を長期間観察し、ジェンダー平等の拡大とユース女性たちのリーダーシップの発揮を阻む要因に取り組むことが一層可能になるだろう。



© Plan International / Bishal Ranamagar

本調査の結果とアジア太平洋GLIsの結果に基づき、女の子の活動の促進に携わるCSOと関係者らは、女の子とユースが主導する運動をサポート・促進していく上で、以下の点を考慮すべきだということが明らかになった。



女の子とユース女性が自信を高め、経験を共有し、互いに影響しあいながら学びあえる場に、継続的に招待する。彼女たちがそのネットワークを広げ、異なる世代間での話し合いから学びを得られるようにする。



思春期の女の子のフレームワークへの投資に加え、社会的包摂に向けた変革に女の子とユース女性自身が責任を持つ仕組みとユースのリーダーシップと活動を支える他のフレームワークの提供を求める提言を、各国政府に対して行う。



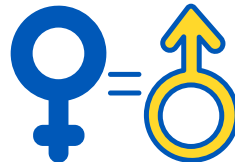
女の子とユース女性が招待された場に参加して、政府の政策や決定に関与できるようサポートする。



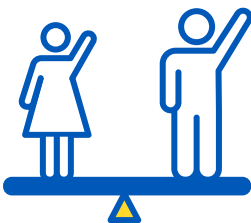
各国政府とデジタル・プラットフォームに対し、安全で包摂的なデジタル・テクノロジーを提供するとともに、ネットいじめを防止して政治上の意見の相違による制限が加わらないよう提言を行う。



様々なレベル(地方、国内、地域、グローバル)で、ユースの活動家らにサポートとメンター制度が提供できる重層的なネットワークを築く。



女の子とユース女性がリーダーシップをとって意思決定を担い、特にジェンダー・トランスフォーマティブな変革を目指すプログラムの企画と実施に情報提供できるようにする。



社会的包摂に向けた変革を目指すユース活動家らの取り組みの多様性を柔軟に受け入れて対応できるプログラムを、オンラインと対面の両方で開発する。



国家間及び地域間の公約を改善し、各国政府にジェンダー平等と社会的包摂に関する公約を実行するよう働きかける。



親、教師、NGO、ユースと接する政府代表者らの教育など、ジェンダー・トランスフォーマティブな変革に向けた活動をサポートできる環境をつくることで、女の子とユース女性たちのリスクを軽減する。





# 行動宣言

女の子自身による提案と、本調査で明らかになったことに基づき、私たちは各国政府、地域団体、市民社会に対して：

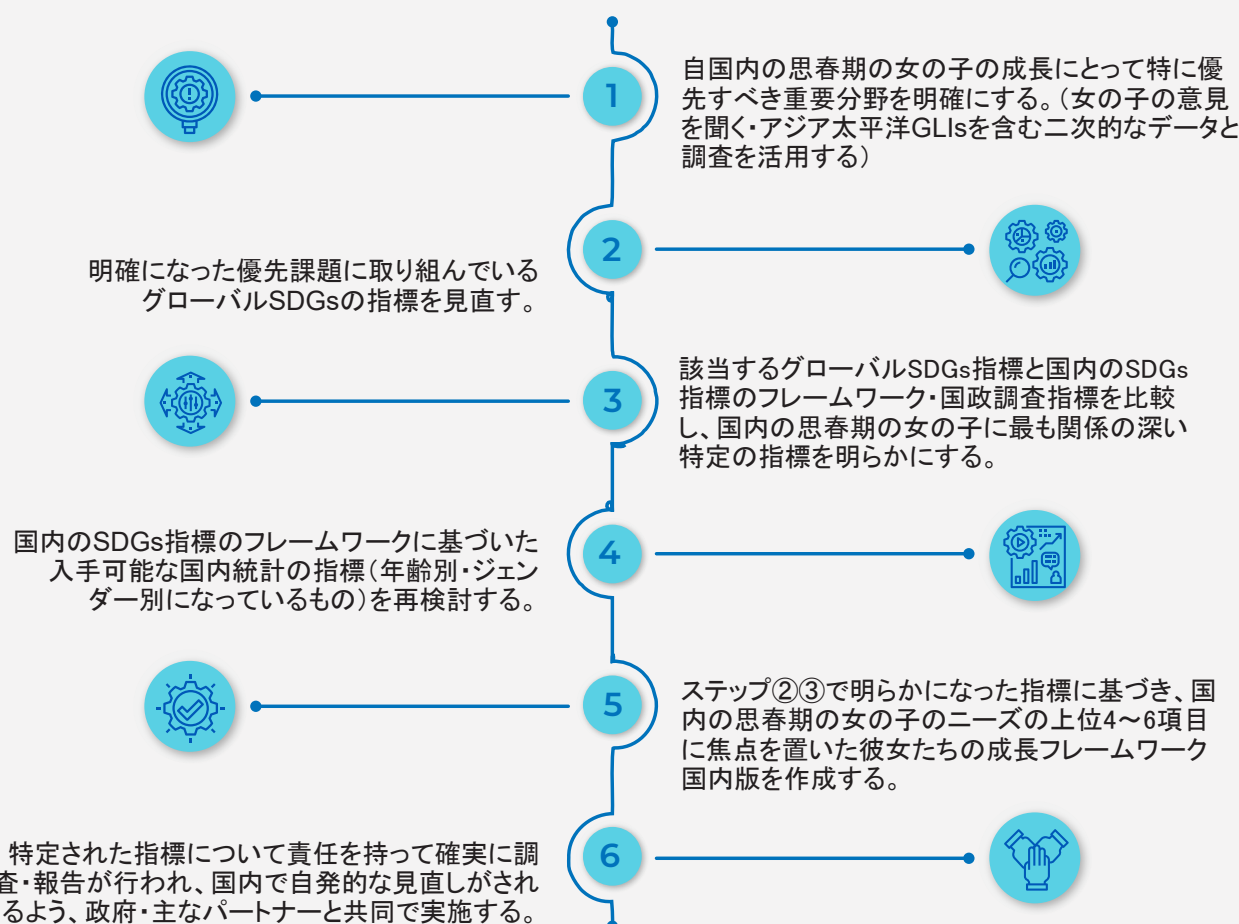
**女の子たちがリーダーシップを発揮できる環境づくりを通して、ジェンダー不平等の根底にある要因に取り組むことを求める。**

ジェンダー不平等と抑圧の広がり、教育・保健ケア・栄養・政治的発言を含むリソースの配分に影響を与えている。私たちは、すべての子どもとユース、特に女の子とユース女性がその可能性を最大限に発揮して権利を実現できるよう、こうした不公平の根底にある家父長的社会規範と構造的障壁に取り組まなくてはならない<sup>45</sup>。各国政府と地域団体は、ジェンダー・トランスフォーメティブな教育、性と生殖に関する健康、ジェンダーに基づく家庭内暴力からの保護など、女の子がリーダーシップを発揮できる環境づくりに向けたプログラムに適切な投資と予算配分をしなくてはならない。

各国政府は、思春期の女の子の成長とリーダーシップの実現に向けて、多部門でアプローチするフレームワークへの投資が強く求められている。

## 思春期の女の子の成長をサポートするフレームワークづくりのプロセス

思春期の女の子の成長をサポートするためのフレームワークづくりを望む国々は、以下のステップを参考にすることができる。



## 思春期の女の子のフレームワークへの投資

SDGs目標を達成させる2030年という期限が近づく中、アジア太平洋地域の各国が、思春期の女の子の成長フレームワークに投資することはきわめて重要だ。こうしたフレームワークは、女の子とユース女性がリーダーシップを身につけてジェンダー平等を実現するために必要なサポートとなり、SDGsを達成する鍵である。

リソースをどの分野に投資し、その投資の進捗をどのように評価するのが、現在の、そして未来の女の子とユース女性世代に影響を与える。各国は協働して主な優先分野を明確にし、最善の方法を共有し、自分の国に合うフレームワークをつくるために国内統計の指標を見直さなくてはならない。プランは全力を挙げてこのフレームワークづくりをサポートし、アジア太平洋地域のすべての国々がこの行動への呼びかけに応えるよう、強く求める。

## 政策・対話・柔軟な資金援助を通して 女の子たちのリーダーシップと参加をサポートする

アジア太平洋地域の多くの国は、誰一人取り残さない、公平で包摂的な開発の実現に焦点を置いた、国連が設定したSDGsに注力している。今年プランは、SDG5(ジェンダー平等を実現しよう)とSDG16(平和・公正をすべての人に)に関連した政治的意見表明に重点を置いた取り組みを進めている。

SDG5は、すべての国の女性と女の子に対するあらゆる形の差別を終わらせ(SDG5.1)、政治・経済・一般の生活におけるあらゆるレベルの意思決定に、女性たちが十分効果的に参加してリーダーシップを発揮する平等な機会を持つことができる(SDG5.5)ことを目指している。

SDG16は、すべての人々が情報にアクセスできることに加えて、ユース女性活動家の権利と基本的自由を常に保護し、認めることを目指している。各国政府は、ジェンダーの視点に立つ、年齢に応じた人権の仕組みを開発・強化し、国際的な人権の協定・公約と矛盾する差別的な政策・行動を国と地方レベルで撤廃しなくてはならない。その義務を負う者と政策決定者らはあらゆるレベルで、専門的なサポートと柔軟な資金援助に加え、女の子とユース女性たちが前向きな変革の担い手として積極的に活動する力を発揮できるよう、安全でインクルーシブな場を提供する必要がある。

## 家庭・教育機関・コミュニティにおけるジェンダー不平等に取り組む

各国政府、地方組織、市民社会は、ユース女性が家庭や公の意思決定プロセスに参加する権利を実現するサポートをするために、参加を阻む障壁とジェンダー不平等に対して、包括的な取り組みを行わなくてはならない。教育分野でこの課題に取り組むことは、女の子一人ひとりが質の高いインクルーシブな教育を受けて、自分の意見を述べ、雇用の機会を得て、リーダーシップスキルを身につけられるようになることにつながる。

ジェンダー平等を推進し、ユース女性がコミュニティ、地方、国の意思決定の場に安全に参加できる平等な機会を必ず持てる仕組みを導入する。

関係者らは、CEFMUや女の子の参加と教育へのアクセスを含むジェンダー平等と女の子の権利をめぐる課題について、情報収集と能力強化も継続的に行うべきである。こうした取り組みの下で関連するキャンペーンの推進に報道機関を活用することができる。

ユース女性活動家は、異なる世代間の対話やメンター制度、能力強化プログラムに参加し、あらゆるメディア・プラットフォームで前向きな発言をして、対面とオンラインの両方でネットワークを築く機会を持つ必要がある。

## 特に女の子の活動家たちがアクセスできる インクルーシブな人権の仕組みをつくり、強化する

人権擁護の活動をする女性たちは、市民生活の場でもデジタルの場でも、差別的な法律・政策やソーシャルメディア・プラットフォーム上の嫌がらせといった形で人権を侵害され、差別されることが少なくない。地域内や各国内の人権組織は、十分な照会能力・対応力を備えた、アクセスしやすい法の仕組みを通して、こうした差別に取り組むべきである。

## 女の子たちの有意義な参加を実現するために 市民生活とデジタルの空間に安全で開かれた場を提供する

市民生活もデジタルの場とともに、すべての者にとって、開かれた安全でインクルーシブな場であり続けなくてはならない。政府機関は、市民が表現する権利、交流し、平和的に集まる自由を制限あるいは侵害しようとする法と政策を改正あるいは撤廃しなくてはならない。ユース女性活動家らは、オフラインの保護政策と仕組みに支えられて、報復やいじめ、ハラスメントを恐れずオンラインでもオフラインでも自由に自己表現することができるべきである。関係者らはオンライン上のプラットフォームに平等にアクセスできるように投資して、デジタル上のジェンダーによる差を埋めなくてはならない。その結果、同世代の仲間とネットワークやパートナーシップ、連携を築くことができるようになる。各国政府はこうした取り組みをサポートするために民間企業との協働の可能性も探るべきである。

## あらゆる多様性の中で、女の子たちが政策やプログラムの 企画・実施・モニタリングに有意義な参加を果たす権利を守る

各国政府は、女の子を含む市民と関わる際は常に人権に基づくアプローチをとるべきである。政策立案の場に女の子とユース女性たちを関与させて意見を聞く形で、彼女たちの参加をサポートするといだろう。女の子とユース女性には、彼女たちに影響を及ぼすプログラムやサービス、政策、監視機構をつくる際に、共同開発者であるべきである。彼女たちの価値、そしてその家族とコミュニティの発展に寄与できる能力は、認められるべきものだ。多様な立場の意見をしっかりと集めるために、政府は人種・宗教・性的志向、障害など、様々な女の子とユース女性を参加させるべきである。代表者には、彼女たちがリーダーシップを示す数ある方法のひとつとして、開発議会や青年会議などの機関に席を与えられるべきだろう。

代表性の点では、女の子とユース女性の各グループから代表者が出るべきだと理解しておくことが重要だ。しかしながら、思春期の女の子たちは、子どもでも大人の女性でも経験しない特有な課題を抱えている。地域や国の人権政策と機構は、彼女たち特有の不安に適切かつ前向きに対応できるよう設計されるべきだ。

現在、市民によるあらゆるレベルの取り組みに女の子とユース女性が関わっている中で、各国政府とNGOは、特にジェンダー不平等と差別の撲滅に向けて、彼女たちをサポートする役割を果たさなくてはならない。





# ANNEX A: THE ASIA AND PACIFIC GIRLS' LEADERSHIP INDEXES

Asia-Pacific is a complex region with a vibrant culture and fast-growing economy. Despite its economic successes, it is also home to patriarchal norms, attitudes and beliefs that prevent girls and young women from experiencing equal rights as men. While many countries in the region have been working to narrow the gender gap over the last decade, discriminatory practices persist.

The Girls' Leadership Index (GLI) acts as a composite index that measures girls' and young women's opportunities to develop and demonstrate leadership capabilities. Policymakers, donors and stakeholders can use the Index to compare the overall situation across countries and design programmes to develop leadership opportunities for girls and young women across the region. While the GLI does not fully examine the complexities of current regional situations, it provides valuable insight into the circumstances that girls and young women face. The results should be used to raise awareness and advocate actions to support girls' and young women's empowerment.

The Asia GLI was first developed in 2019 and later updated in 2021 to reflect the changes that have occurred in the region. It assesses 19 countries from South Asia and Southeast Asia across six domains: Education, Economic Opportunities, Protection, Health, Political Voice and Representation, and Laws and Policies. These domains are further divided into 23 indicators reflecting the essential factors that support or constrain adolescent girls' and young women's opportunities to become leaders within their families, workplace and wider community and fully exercise their rights.

The Pacific GLI was developed in 2021. It assesses 14 countries from the Pacific region across the six domains, as well as the additional domain of Climate. These domains are further divided into 29 indicators.

It is important to note that a positive or negative arrow refers to a change in the normalised value, not in the country ranking or indicator. For certain indicators, a decrease will result in a positive normalised value. For the domain of Laws and Policies, the country ranking is only available for the overall domain, not by the individual indicator, as indicators under this domain represent either the existence of (Yes=1) or the absence of (No=0) a specific legislation.





# THE ASIA GIRLS' LEADERSHIP INDEX

Below are the domain and individual indicator rankings for each country in the Asia region.

EDU EDUCATION					
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-
1	SGP	Singapore	0.717	0.728	0.011
2	BRN	Brunei Darussalam	0.613	0.640	0.027
3	MYS	Malaysia	0.582	0.601	0.019
4	MDV	Maldives	0.541	0.540	-0.002
5	THA	Thailand	0.485	0.526	0.042
6	VNM	Vietnam	0.520	0.523	0.003
7	PHL	Philippines	0.486	0.477	-0.009
8	IDN	Indonesia	0.418	0.458	0.040
9	LKA	Sri Lanka	0.394	0.403	0.009
10	BTN	Bhutan	0.333	0.340	0.007
11	IND	India	0.309	0.316	0.007
12	TLS	Timor-Leste	0.312	0.313	0.001
13	NPL	Nepal	0.285	0.304	0.019
14	BGD	Bangladesh	0.269	0.302	0.033
15	KHM	Cambodia	0.269	0.296	0.027
16	MMR	Myanmar	0.271	0.277	0.006
17	LAO	Lao, PDR	0.266	0.268	0.002
18	PAK	Pakistan	0.170	0.181	0.011
19	AFG	Afghanistan	0.110	0.113	0.003



## INDICATORS:

Completion Rate, Lower Secondary Female (%)  
 Gross enrolment ratio for tertiary education, female (%)  
 Access to Internet, Female (%)  
 Mean years of schooling, female (years)

EDU1 Completion Rate, Lower Secondary Female (%)									
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-	
1	BRN	Brunei Darussalam	105.8	105.9	0.1	0.695	0.696	0.001	▲
2	NPL	Nepal	98.1	101.6	3.5	0.642	0.666	0.024	▲
3	MDV	Maldives	104.9	101.1	-3.8	0.689	0.663	-0.026	▼
4	VNM	Vietnam	100.2	100.7	0.5	0.657	0.660	0.003	▲
5	SGP	Singapore	104.1	99.2	-4.9	0.683	0.650	-0.034	▼
6	LKA	Sri Lanka	96.1	96.1	0.0	0.628	0.628	0.000	≡
7	TLS	Timor-Leste	97.0	95.8	-1.2	0.634	0.626	-0.008	▼
8	BTN	Bhutan	90.7	93.3	2.6	0.591	0.609	0.018	▲
9	IDN	Indonesia	92.7	92.7	0.0	0.605	0.605	0.000	≡
10	MYS	Malaysia	84.2	87.6	3.4	0.546	0.570	0.023	▲
11	PHL	Philippines	85.1	87.2	2.1	0.552	0.567	0.014	▲
12	BGD	Bangladesh	87.1	87.1	0.0	0.566	0.566	0.000	≡
13	IND	India	87.9	85.3	-2.6	0.572	0.554	-0.018	▼
14	THA	Thailand	82.1	84.8	2.7	0.532	0.550	0.019	▲
15	MMR	Myanmar	64.4	67.9	3.5	0.410	0.434	0.024	▲
16	LAO	Lao, PDR	65.5	63.9	-1.6	0.417	0.406	-0.011	▼
17	KHM	Cambodia	62	63.8	1.8	0.393	0.406	0.012	▲
18	PAK	Pakistan	44.7	46.3	1.6	0.274	0.285	0.011	▲
19	AFG	Afghanistan	38.6	40.1	1.5	0.232	0.242	0.010	▲

SDG Indicator 4.1.2 Secondary completion rates are important to measure since the dropout rates are highest in lower secondary grades. These are the ages when both the actual cost and the opportunity cost of education become higher, and when education systems struggle to provide high-quality instruction. There may be gender differences, as willingness to school girls is far more strongly determined by income and the broader costs of education than is the case for boys, and families are often unwilling to invest in the education of girls if this investment will not bring equivalent and direct economic gains to them and if girls continue to be valued only as wives and mothers. Lower secondary education completion rate is measured as the gross intake ratio to the last grade of lower secondary education (general and pre-vocational). It is calculated as the number of new entrants in the last grade of lower secondary education, regardless of age, divided by the population at the entrance age for the last grade of lower secondary education. It covers ages 3-5 years above national lower secondary age.

EDU3 Access to Internet, Female (%)									
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-	
1	BRN	Brunei Darussalam	90.0	99.8	9.8	0.900	0.998	0.098	▲
2	SGP	Singapore	83.6	87.8	4.2	0.836	0.878	0.042	▲
3	MYS	Malaysia	78.2	82.4	4.2	0.782	0.824	0.042	▲
4	VNM	Vietnam	68.7	68.7	0.0	0.687	0.687	0.000	≡
5	THA	Thailand	52.1	65.6	13.5	0.521	0.656	0.135	▲
6	MDV	Maldives	63.1	63.1	0.0	0.631	0.631	0.000	≡
7	IDN	Indonesia	30.1	44.9	14.8	0.301	0.449	0.148	▲
8	PHL	Philippines	48.1	43.0	-5.1	0.481	0.430	-0.051	▼
9	BTN	Bhutan	41.8	41.8	0.0	0.418	0.418	0.000	≡
10	KHM	Cambodia	32.5	40.5	8.0	0.325	0.405	0.080	▲
11	TLS	Timor-Leste	27.5	27.5	0.0	0.275	0.275	0.000	≡
12	LAO	Lao, PDR	23.7	23.7	0.0	0.237	0.237	0.000	≡
13	MMR	Myanmar	19.4	19.4	0.0	0.194	0.194	0.000	≡
14	NPL	Nepal	17.3	17.3	0.0	0.173	0.173	0.000	≡
15	IND	India	14.9	14.9	0.0	0.149	0.149	0.000	≡
16	BGD	Bangladesh	5.1	12.9	7.8	0.051	0.129	0.078	▲
17	PAK	Pakistan	9.5	12.9	3.4	0.095	0.129	0.034	▲
18	LKA	Sri Lanka	10.5	10.5	0.0	0.105	0.105	0.000	≡
19	AFG	Afghanistan	4.9	4.9	0.0	0.049	0.049	0.000	≡

SDG Indicator 17.8.1 Denotes the percentage of female respondents, age 15+, who report having access to the internet in the home. This indicator demonstrates the risk of isolation from the digital revolution, but also as an indication of accessibility to information, economic opportunities, and connectivity. See <http://www.oecd.org/internet/bridging-the-digital-gender-divide.pdf>

EDU2 Gross enrolment ratio for tertiary education, female (%)									
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-	
1	SGP	Singapore	91.2	95.4	4.2	0.608	0.636	0.028	▲
2	MDV	Maldives	59.8	59.8	0.0	0.399	0.399	0.000	≡
3	THA	Thailand	57.8	57.8	0.0	0.385	0.385	0.000	≡
4	MYS	Malaysia	49.9	48.7	-1.2	0.333	0.325	-0.008	▼
5	PHL	Philippines	40.4	40.4	0.0	0.269	0.269	0.000	≡
6	IDN	Indonesia	39.0	39.0	0.0	0.260	0.260	0.000	≡
7	BRN	Brunei Darussalam	38.4	38.8	0.4	0.256	0.259	0.003	▲
8	VNM	Vietnam	31.7	31.7	0.0	0.211	0.211	0.000	≡
9	IND	India	29.1	30.2	1.1	0.194	0.201	0.007	▲
10	LKA	Sri Lanka	23.4	26.0	2.6	0.156	0.173	0.017	▲
11	MMR	Myanmar	22.0	22.0	0.0	0.147	0.147	0.000	≡
12	BGD	Bangladesh	17.0	20.0	3.0	0.113	0.133	0.020	▲
13	BTN	Bhutan	15.5	17.0	1.5	0.103	0.113	0.010	▲
14	LAO	Lao, PDR	15.5	15.3	-0.2	0.103	0.102	-0.001	▼
15	TLS	Timor-Leste	14.8	14.8	0.0	0.099	0.099	0.000	≡
16	KHM	Cambodia	12.9	14.3	1.4	0.086	0.095	0.009	▲
17	NPL	Nepal	12.8	13.7	0.9	0.085	0.091	0.006	▲
18	PAK	Pakistan	8.7	8.3	-0.4	0.058	0.055	-0.003	▼
19	AFG	Afghanistan	4.9	4.9	0.0	0.033	0.033	0.000	≡

SDG Indicator 4.3.2 Tertiary education builds on secondary education, providing learning activities in specialized fields. It aims at learning at a high level of complexity and specialization. Tertiary education includes what is commonly understood as academic education but also includes advanced vocational or professional education. It comprises ISCED levels 5 (short-cycle tertiary education), 6 (bachelor's degree or equivalent), 7 (master's degree or equivalent) and 8 (doctorate or equivalent). The indicator, based on national education administrative data, is the total number of students enrolled in tertiary level of education, regardless of age, expressed as a percentage of the official school-age population corresponding to the same level of education. A high GER generally indicates a high degree of participation, whether the pupils belong to the official age group or not. A GER value approaching or exceeding 100% indicates that a country is, in principle, able to accommodate all of its school-age population, but it does not indicate the proportion already enrolled.

EDU4 Mean years of schooling, female (years)									
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-	
1	SGP	Singapore	11.1	11.2	0.1	0.740	0.747	0.007	▲
2	LKA	Sri Lanka	10.3	10.6	0.3	0.687	0.707	0.020	▲
3	MYS	Malaysia	10.0	10.3	0.3	0.667	0.687	0.020	▲
4	PHL	Philippines	9.6	9.6	0.0	0.640	0.640	0.000	≡
5	BRN	Brunei Darussalam	9.0	9.1	0.1	0.600	0.607	0.007	▲
6	VNM	Vietnam	7.9	8.0	0.1	0.527	0.533	0.007	▲
7	IDN	Indonesia	7.6	7.8	0.2	0.507	0.520	0.013	▲
8	THA	Thailand	7.5	7.7	0.2	0.500	0.513	0.013	▲
9	MDV	Maldives	6.7	7.0	0.3	0.447	0.467	0.020	▲
10	BGD	Bangladesh	5.2	5.7	0.5	0.347	0.380	0.033	▲
11	IND	India	4.8	5.4	0.6	0.320	0.360	0.040	▲
12	MMR	Myanmar	5.0	5.0	0.0	0.333	0.333	0.000	≡
13	LAO	Lao, PDR	4.6	4.9	0.3	0.307	0.327	0.020	▲
14	NPL	Nepal	3.6	4.3	0.7	0.240	0.287	0.047	▲
15	KHM	Cambodia	4.1	4.2	0.1	0.273	0.280	0.007	▲
16	PAK	Pakistan	3.8	3.8	0.0	0.253	0.253	0.000	≡
17	TLS	Timor-Leste	3.6	3.8	0.2	0.240	0.253	0.013	▲
18	BTN	Bhutan	3.3	3.3	0.0	0.220	0.220	0.000	≡
19	AFG	Afghanistan	1.9	1.9	0.0	0.127	0.127	0.000	≡

Average number of years of education received by people ages 25 and older, converted from education attainment levels using official durations of each level. This indicator is also used as an education and knowledge domain indicator in the HDI, the GDI and indicates the overall schooling years for a girl over her lifetime, by country



## EC ECONOMIC OPPORTUNITIES

Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	
1	SGP	Singapore	0.681	0.694	0.013	▲
2	THA	Thailand	0.597	0.604	0.006	▲
3	MYS	Malaysia	0.581	0.588	0.007	▲
4	KHM	Cambodia	0.553	0.533	-0.020	▼
5	PHL	Philippines	0.520	0.523	0.003	▲
6	MDV	Maldives	0.518	0.515	-0.003	▼
7	BRN	Brunei Darussalam	0.569	0.513	-0.056	▼
8	IDN	Indonesia	0.495	0.512	0.017	▲
9	LKA	Sri Lanka	0.500	0.494	-0.006	▼
10	VNM	Vietnam	0.519	0.484	-0.035	▼
11	LAO	Lao, PDR	0.482	0.482	0.000	≡
12	MMR	Myanmar	0.484	0.482	-0.002	▼
13	IND	India	0.403	0.398	-0.005	▼
14	TLS	Timor-Leste	0.387	0.387	0.000	≡
15	BTN	Bhutan	0.382	0.359	-0.024	▼
16	NPL	Nepal	0.332	0.332	0.000	≡
17	BGD	Bangladesh	0.330	0.330	0.000	≡
18	PAK	Pakistan	0.192	0.192	0.000	≡
19	AFG	Afghanistan	0.166	0.166	0.000	≡

EC1 Youth NEET Rate, Female (%)								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	SGP	Singapore	5.5	5.2	-0.3	0.945	0.948	0.003
2	KHM	Cambodia	15.2	9.3	-5.9	0.848	0.907	0.059
3	MYS	Malaysia	15.3	16.1	0.8	0.847	0.839	-0.008
4	VNM	Vietnam	12.0	17.1	5.1	0.880	0.829	-0.051
5	THA	Thailand	19.7	18.6	-1.1	0.803	0.814	0.011
6	MMR	Myanmar	23.6	20.4	-3.2	0.764	0.796	0.032
7	BRN	Brunei Darussalam	20.0	22.0	2.0	0.800	0.780	-0.020
8	PHL	Philippines	28.5	24.1	-4.4	0.715	0.759	0.044
9	MDV	Maldives	25.3	25.3	0.0	0.747	0.747	0.000
10	TLS	Timor-Leste	25.7	25.7	0.0	0.743	0.743	0.000
11	IDN	Indonesia	28.0	26.2	-1.8	0.720	0.738	0.018
12	LKA	Sri Lanka	33.2	31.1	-2.1	0.668	0.689	0.021
13	BTN	Bhutan	30.5	39.9	9.5	0.695	0.601	-0.095
14	BGD	Bangladesh	44.6	44.6	0.0	0.554	0.554	0.000
15	LAO	Lao, PDR	44.9	44.9	0.0	0.551	0.551	0.000
16	NPL	Nepal	46.6	46.6	0.0	0.534	0.534	0.000
17	IND	India	48.3	47.0	-1.3	0.517	0.530	0.013
18	PAK	Pakistan	54.9	54.9	0.0	0.451	0.451	0.000
19	AFG	Afghanistan	65.9	65.9	0.0	0.341	0.341	0.000

SDG Indicator 8.6.1. Conveys the number of young persons not in education, employment or training as a percentage of the total youth population, and thus serves as a broader measure of potential youth labour market entrants than youth unemployment, since it also includes young persons outside the labour force not in education or training. This indicator is also a better measure of the current universe of potential youth labour market entrants compared to the youth inactivity rate, as the latter includes those youth who are not in the labour force and are in education, and thus cannot be considered currently available for work.

EC3 Account ownership, Female (%)								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	SGP	Singapore	96.3	96.3	0.0	0.963	0.963	0.000
2	MYS	Malaysia	82.5	82.5	0.0	0.825	0.825	0.000
3	THA	Thailand	79.8	79.8	0.0	0.798	0.798	0.000
4	IND	India	76.6	76.6	0.0	0.766	0.766	0.000
5	LKA	Sri Lanka	73.4	73.4	0.0	0.734	0.734	0.000
6	MDV	Maldives	63.4	63.4	0.0	0.634	0.634	0.000
7	IDN	Indonesia	51.4	51.4	0.0	0.514	0.514	0.000
8	NPL	Nepal	41.6	41.6	0.0	0.416	0.416	0.000
9	PHL	Philippines	38.9	38.9	0.0	0.389	0.389	0.000
10	BGD	Bangladesh	35.8	35.8	0.0	0.358	0.358	0.000
11	LAO	Lao, PDR	31.9	31.9	0.0	0.319	0.319	0.000
12	VNM	Vietnam	30.4	30.4	0.0	0.304	0.304	0.000
13	BTN	Bhutan	27.7	27.7	0.0	0.277	0.277	0.000
14	MMR	Myanmar	26.0	26.0	0.0	0.260	0.260	0.000
15	KHM	Cambodia	21.5	21.5	0.0	0.215	0.215	0.000
16	TLS	Timor-Leste	11.1	11.1	0.0	0.111	0.111	0.000
17	AFG	Afghanistan	7.2	7.2	0.0	0.072	0.072	0.000
18	PAK	Pakistan	7.0	7.0	0.0	0.070	0.070	0.000
-	BRN	Brunei Darussalam	-	-	-	-	-	-

SDG Indicator 8.10.2. This indicator is a proxy for access to finance. In developing economies, the share rose from 54 percent to 63 percent. Yet, women in developing economies remain 9 percentage points less likely than men to have a bank account. The data points to the advances in digital technology that are key to achieving the World Bank goal of Universal Financial Access by 2020. The indicator is defined as the percentage of respondents who report having an account (by themselves or together with someone else) at a bank or another type of financial institution or report personally using a mobile money service in the past 12 months (female, % age 15+). Each economy is classified based on the classification of World Bank Group's fiscal year 2018 (July 1, 2017-June 30, 2018). Demirci-Kunt et al., 2018, Global Financial Inclusion Database, World Bank.



### INDICATORS:

Share of youth not in employment, education or training (youth NEET rate), Female (%)

Youth Labour Participation Rate, Female (%)

Account ownership at a financial institution or with a mobile-service provider, Female (%)

Female share of employment in managerial positions (%)

EC2 Youth Labour Participation Rate, Female (%)								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	KHM	Cambodia	69.5	68.8	-0.7	0.695	0.688	-0.007
2	VNM	Vietnam	52.9	45.4	-7.5	0.529	0.454	-0.075
3	MDV	Maldives	42.9	41.6	-1.3	0.429	0.416	-0.013
4	IDN	Indonesia	38.1	39.9	1.8	0.381	0.399	0.018
5	MMR	Myanmar	43.9	39.7	-4.2	0.439	0.397	-0.042
6	SGP	Singapore	35.7	37.9	2.2	0.357	0.379	0.022
7	MYS	Malaysia	35.7	37.7	2.0	0.357	0.377	0.020
8	TLS	Timor-Leste	36.6	36.6	0.0	0.366	0.366	0.000
9	THA	Thailand	34.0	33.4	-0.6	0.340	0.334	-0.006
10	BRN	Brunei Darussalam	35.5	31.9	-3.6	0.355	0.319	-0.036
11	BTN	Bhutan	31.0	31.0	0.0	0.310	0.310	0.000
12	LAO	Lao, PDR	27.3	27.3	0.0	0.273	0.273	0.000
13	PHL	Philippines	27.2	27.0	-0.2	0.272	0.270	-0.002
14	BGD	Bangladesh	26.4	26.4	0.0	0.264	0.264	0.000
15	LKA	Sri Lanka	23.1	20.6	-2.6	0.231	0.206	-0.026
16	NPL	Nepal	20.3	20.3	0.0	0.203	0.203	0.000
17	AFG	Afghanistan	19.9	19.9	0.0	0.199	0.199	0.000
18	PAK	Pakistan	18.3	18.3	0.0	0.183	0.183	0.000
19	IND	India	14.7	10.1	-4.6	0.147	0.101	-0.046

ILO Indicator. The labour force participation rate expresses the labour force as a percent of the working-age population. Data only refers to the population of female youth, which should be females between the ages of 15 and 24 years. In practice however, some countries apply different definitions of youth.

EC4 Female share of employment in managerial positions (%)								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	LAO	Lao, PDR	59.0	59.0	0.0	0.787	0.787	0.000
2	PHL	Philippines	52.7	50.5	-2.2	0.703	0.673	-0.029
3	SGP	Singapore	34.5	36.4	1.9	0.460	0.485	0.025
4	MMR	Myanmar	35.6	35.7	0.1	0.475	0.476	0.001
5	THA	Thailand	33.6	35.1	1.5	0.448	0.468	0.020
6	BRN	Brunei Darussalam	41.3	33.0	-8.3	0.551	0.440	-0.111
7	IDN	Indonesia	27.5	29.8	2.3	0.367	0.397	0.031
8	VNM	Vietnam	27.2	26.3	-0.9	0.363	0.351	-0.012
9	LKA	Sri Lanka	27.6	26.0	-1.6	0.368	0.347	-0.021
10	TLS	Timor-Leste	24.5	24.5	0.0	0.327	0.327	0.000
11	KHM	Cambodia	34.1	24.1	-10.0	0.455	0.321	-0.133
12	MYS	Malaysia	22.1	23.3	1.2	0.295	0.311	0.016
13	MDV	Maldives	19.6	19.6	0.0	0.261	0.261	0.000
14	BTN	Bhutan	18.5	18.5	0.0	0.247	0.247	0.000
15	IND	India	13.7	14.6	0.9	0.183	0.195	0.012
16	NPL	Nepal	13.2	13.2	0.0	0.176	0.176	0.000
17	BGD	Bangladesh	10.7	10.7	0.0	0.143	0.143	0.000
18	PAK	Pakistan	4.9	4.9	0.0	0.065	0.065	0.000
19	AFG	Afghanistan	4.0	4.0	0.0	0.053	0.053	0.000

SDG Indicator 5.5.2. The female share of employment in managerial positions conveys the number of women in management as a percentage of employment in management. Employment in management is defined based on the International Standard Classification of Occupations. Two different measures are presented: one referring to total management (category 1 of ISCO-08 or ISCO-88), and another one referring to senior and middle management only, thus excluding junior management (category 1 in both ISCO-08 and ISCO-88 minus category 14 in ISCO-08 and minus category 13 in ISCO-88). This indicator is calculated based on data on employment by sex and occupation.



## PROT PROTECTION

Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	
1	SGP	Singapore	0.969	0.970	0.001	▲
2	MDV	Maldives	0.889	0.909	0.021	▲
3	PHL	Philippines	0.843	0.852	0.009	▲
4	LKA	Sri Lanka	0.842	0.845	0.003	▲
5	IDN	Indonesia	0.852	0.834	-0.019	▼
6	BTN	Bhutan	0.829	0.829	0.000	≡
7	MMR	Myanmar	0.818	0.818	0.000	≡
8	KHM	Cambodia	0.761	0.761	0.000	≡
9	IND	India	0.760	0.759	0.000	≡
10	PAK	Pakistan	0.776	0.749	-0.028	▼
11	VNM	Vietnam	0.733	0.733	0.000	≡
12	THA	Thailand	0.689	0.691	0.002	▲
13	TLS	Timor-Leste	0.671	0.671	0.000	≡
14	LAO	Lao, PDR	0.728	0.639	-0.089	▼
15	NPL	Nepal	0.619	0.619	0.000	≡
16	AFG	Afghanistan	0.575	0.601	0.026	▲
17	BGD	Bangladesh	0.525	0.521	-0.004	▼
-	BRN	Brunei Darussalam	-	-	-	
-	MYS	Malaysia	-	-	-	



### INDICATORS:

Percentage of girls aged 5-17 years engaged in child labour  
 Percentage of women aged 20-24 who were married before age 18  
 Percentage of the female population ages 15 and older that has ever experienced physical and/or sexual violence from an intimate partner

PROT1 Percentage of girls aged 5-17 years engaged in child labour								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	SGP	Singapore	0.5	0.4	-0.1 ▼	0.990	0.992	0.002 ▲
2	BTN	Bhutan	1.7	1.7	0.0 ≡	0.966	0.966	0.000 ≡
3	MDV	Maldives	2.3	2.3	0.0 ≡	0.954	0.954	0.000 ≡
4	IND	India	3.1	3.1	0.0 ≡	0.938	0.938	0.000 ≡
5	PHL	Philippines	3.5	3.5	0.0 ≡	0.930	0.930	0.000 ≡
6	TLS	Timor-Leste	4.2	4.2	0.0 ≡	0.916	0.916	0.000 ≡
7	IDN	Indonesia	4.6	4.6	0.0 ≡	0.908	0.908	0.000 ≡
8	BGD	Bangladesh	5.2	5.2	0.0 ≡	0.896	0.896	0.000 ≡
9	LKA	Sri Lanka	7.5	7.1	-0.4 ▼	0.850	0.858	0.008 ▲
10	MMR	Myanmar	7.6	7.6	0.0 ≡	0.848	0.848	0.000 ≡
11	THA	Thailand	8.2	7.9	-0.3 ▼	0.836	0.842	0.006 ▲
12	KHM	Cambodia	12.2	12.2	0.0 ≡	0.756	0.756	0.000 ≡
13	PAK	Pakistan	7.1	12.4	5.3 ▲	0.858	0.752	-0.106 ▼
14	VNM	Vietnam	12.5	12.5	0.0 ≡	0.750	0.750	0.000 ≡
15	AFG	Afghanistan	12.6	12.6	0.0 ≡	0.748	0.748	0.000 ≡
16	NPL	Nepal	19.3	19.3	0.0 ≡	0.614	0.614	0.000 ≡
17	LAO	Lao, PDR	12.9	26.2	13.3 ▲	0.742	0.476	-0.266 ▼
-	BRN	Brunei Darussalam	-	-	-			
-	MYS	Malaysia	-	-	-			

SDG Indicator 8.7.1. According to the latest ILO global estimates, about 168 million children worldwide are child labourers, accounting for almost 11 percent of the child population. The term child labour refers to the subset of children's activities that is injurious, negative or undesirable to children and that should be targeted for elimination. Child labour is a legal concept rather than a statistical one, and the international legal standards that define it are therefore the necessary frame of reference for child labour statistics. See: <https://unstats.un.org/sdgs/metadata/files/Metadata-08-07-01.pdf>. Statistical information on child labour, and more broadly on all working children, also provide a basis for increasing public awareness of the situation of working children and for the development of appropriate regulatory frameworks and policies. The indicator is defined as the number of children engaged in child labour corresponds to the number of children reported to be in child labour during the reference period (usually the week prior to the survey). The proportion of children in child labour is calculated as the number of children in child labour divided by the total number of children in the population. For the purposes of this indicator, children include all persons aged 5 to 17 (some countries use the range of 5 to 14).

PROT2 Percentage of women aged 20-24 who were married before age 18								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	SGP	Singapore	0.5	0.4	-0.1 ▼	0.994	0.996	0.001 ▲
2	MDV	Maldives	4.0	2.0	-2.0 ▼	0.956	0.978	0.022 ▲
3	LKA	Sri Lanka	10.0	10.0	0.0 ≡	0.889	0.889	0.000 ≡
4	VNM	Vietnam	11.0	11.0	0.0 ≡	0.878	0.878	0.000 ≡
5	TLS	Timor-Leste	15.0	15.0	0.0 ≡	0.833	0.833	0.000 ≡
6	IDN	Indonesia	11.0	16.0	5.0 ▲	0.878	0.822	-0.056 ▼
7	MMR	Myanmar	16.0	16.0	0.0 ≡	0.822	0.822	0.000 ≡
8	PHL	Philippines	17.0	17.0	0.0 ≡	0.811	0.811	0.000 ≡
9	PAK	Pakistan	21.0	18.0	-3.0 ▼	0.767	0.800	0.033 ▲
10	KHM	Cambodia	19.0	19.0	0.0 ≡	0.789	0.789	0.000 ≡
11	THA	Thailand	23.0	23.0	0.0 ≡	0.744	0.744	0.000 ≡
12	BTN	Bhutan	26.0	26.0	0.0 ≡	0.711	0.711	0.000 ≡
13	IND	India	27.0	27.0	0.0 ≡	0.700	0.700	0.000 ≡
14	AFG	Afghanistan	35.0	28.0	-7.0 ▼	0.611	0.689	0.078 ▲
15	LAO	Lao, PDR	33.0	33.0	0.0 ≡	0.633	0.633	0.000 ≡
16	NPL	Nepal	40.0	40.0	0.0 ≡	0.556	0.556	0.000 ≡
17	BGD	Bangladesh	59.0	59.0	0.0 ≡	0.344	0.344	0.000 ≡
	BRN	Brunei Darussalam	-	-	-	-	-	-
	MYS	Malaysia	-	-	-	-	-	-

SDG Indicator 5.3.1. Marriage before the age of 18 is a fundamental violation of human rights. Many factors interact to place a girl at risk of marriage, including poverty, the perception that marriage will provide "protection", family honour, social norms, customary or religious laws that condone the practice, an inadequate legislative framework and the state of a country's civil registration system. Child marriage often compromises a girl's development by resulting in early pregnancy and social isolation, interrupting her schooling, limiting her opportunities for career and vocational advancement and placing her at increased risk of domestic violence. Child marriage also affects boys, but to a lesser degree than girls. Child marriage is defined as, "Any marriage carried out below the age of 18 years, before the girl is physically, physiologically, and psychologically ready to shoulder the responsibilities of marriage" (Inter-African Committee - IAC 1993) whereas the United Nations Children's Fund (UNICEF) defines it as "a formal marriage or informal union before 18" (UNICEF 2011). Girls Not Brides2 defines child marriage as "any formal marriage or informal union where one or both of the parties are under 18 years of age." The coalition estimates that there is an average of 15 million girls being married before the age of 18 (Girls Not Brides n.d.).

PROT3 Experienced physical and/or sexual violence									
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-	
1	SGP	Singapore	6.1	6.1	0.0	≡	0.924	0.924	0.000
2	PHL	Philippines	16.9	14.8	-2.1	▼	0.789	0.815	0.026
3	BTN	Bhutan	15.1	15.1	0.0	≡	0.811	0.811	0.000
4	LAO	Lao, PDR	15.3	15.3	0.0	≡	0.809	0.809	0.000
5	MDV	Maldives	19.5	16.3	-3.2	▼	0.756	0.796	0.040
6	LKA	Sri Lanka	17.0	17.0	0.0	≡	0.788	0.788	0.000
7	MMR	Myanmar	17.3	17.3	0.0	≡	0.784	0.784	0.000
8	IDN	Indonesia	18.3	18.3	0.0	≡	0.771	0.771	0.000
9	KHM	Cambodia	20.9	20.9	0.0	≡	0.739	0.739	0.000
10	PAK	Pakistan	23.7	24.5	0.8	▲	0.704	0.694	-0.010
11	NPL	Nepal	25.0	25.0	0.0	≡	0.688	0.688	0.000
12	IND	India	28.7	28.8	0.1	▲	0.641	0.640	-0.001
13	VNM	Vietnam	34.4	34.4	0.0	≡	0.570	0.570	0.000
14	THA	Thailand	41.0	41.0	0.0	≡	0.488	0.488	0.000
15	AFG	Afghanistan	50.8	50.8	0.0	≡	0.365	0.365	0.000
16	BGD	Bangladesh	53.3	54.2	0.9	▲	0.334	0.323	-0.011
17	TLS	Timor-Leste	58.8	58.8	0.0	≡	0.265	0.265	0.000
-	BRN	Brunei Darussalam	-	-	-				
-	MYS	Malaysia	-	-	-				

SDG Indicator 5.2.1. Number of ever married females 15-49 (depending on country) that has ever experienced physical and/or social violence from an intimate partner. Physical violence refers to pushing, shaking, slapping, twisted arm, kicking, dragging, choking, burning, threatened with weapons, whereas sexual violence refers to physically forced her to have sexual intercourse, physically forced her to perform any other sexual acts she did not want to, and forced her with threats or in any other way to perform sexual acts she did not want to.



## VOICE POLITICAL VOICE & REPRESENTATION

Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	
1	SGP	Singapore	0.769	0.798	0.029	▲
2	VNM	Vietnam	0.773	0.773	0.000	≡
3	PHL	Philippines	0.768	0.762	-0.007	▼
4	THA	Thailand	0.737	0.735	-0.002	▼
5	BTN	Bhutan	0.732	0.732	0.000	≡
6	TLS	Timor-Leste	0.708	0.708	0.000	≡
7	LAO	Lao, PDR	0.699	0.699	0.000	≡
8	MDV	Maldives	0.684	0.684	0.000	≡
9	LKA	Sri Lanka	0.6802	0.6807	0.0004	▲
10	KHM	Cambodia	0.665	0.665	0.000	≡
11	IND	India	0.664	0.664	0.000	≡
12	IDN	Indonesia	0.652	0.6632	0.011	▲
13	NPL	Nepal	0.663	0.6627	0.000	▲
14	MMR	Myanmar	0.652	0.651	-0.001	▼
15	BGD	Bangladesh	0.612	0.614	0.002	▲
16	MYS	Malaysia	0.596	0.599	0.003	▲
17	AFG	Afghanistan	0.597	0.593	-0.004	▼
18	PAK	Pakistan	0.229	0.229	0.000	≡
19	BRN	Brunei Darussalam	0.061	0.061	0.000	≡



### INDICATORS:

Proportion of seats held by women in national parliaments

Woman's testimony carries the same evidentiary weight in court as a man's

Proportion of girls under 5 years of age whose births have been registered with a civil authority

VOICE1 Proportion of seats held by women in national parliaments								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	TLS	Timor-Leste	38.5	38.5	0.0	0.513	0.513	0.000
2	NPL	Nepal	32.7	32.7	0.0	0.436	0.436	0.000
3	SGP	Singapore	23.0	29.5	6.5	0.307	0.393	0.087
4	PHL	Philippines	29.5	28.0	-1.5	0.393	0.373	-0.020
5	LAO	Lao, PDR	27.5	27.5	0.0	0.367	0.367	0.000
6	AFG	Afghanistan	27.9	27.0	-0.9	0.372	0.360	-0.012
7	VNM	Vietnam	26.7	26.7	0.0	0.356	0.356	0.000
8	BGD	Bangladesh	20.6	20.9	0.3	0.275	0.279	0.004
9	IDN	Indonesia	17.4	20.3	2.9	0.232	0.271	0.039
10	PAK	Pakistan	20.2	20.2	0.0	0.269	0.269	0.000
11	KHM	Cambodia	20.0	20.0	0.0	0.267	0.267	0.000
12	THA	Thailand	16.2	15.7	-0.5	0.216	0.209	-0.007
13	BTN	Bhutan	14.9	14.9	0.0	0.199	0.199	0.000
13	MYS	Malaysia	14.4	14.9	0.5	0.192	0.199	0.007
15	IND	India	14.4	14.4	0.0	0.192	0.192	0.000
16	MMR	Myanmar	11.3	11.1	-0.2	0.151	0.148	-0.003
17	BRN	Brunei Darussalam	9.1	9.1	0.0	0.121	0.121	0.000
18	LKA	Sri Lanka	5.3	5.4	0.1	0.071	0.072	0.001
19	MDV	Maldives	4.6	4.6	0.0	0.061	0.061	0.000

SDG Indicator 5.5.1. The proportion of seats held by women in national parliaments is the number of seats held by women members in single or lower chambers of national parliaments, expressed as a percentage of all occupied seats. It is derived by dividing the total number of seats occupied by women by the total number of seats in parliament. National parliaments can be bicameral or unicameral. This indicator covers the single chamber in unicameral parliaments and the lower chamber in bicameral parliaments. It does not cover the upper chamber of bicameral parliaments. Seats are usually won by members in general parliamentary elections. Seats may also be filled by nomination, appointment, indirect election, rotation of members and by-election. Seats refer to the number of parliamentary mandates, or the number of members of parliament. General cut off date is end-December. Relevance to gender indicator: Women are vastly underrepresented in decision making positions in government, although there is some evidence of recent improvement. Gender parity in parliamentary representation is still far from being realized. Without representation at this level, it is difficult for women to influence policy.

VOICE2 Woman's testimony carries the same evidentiary weight in court as a man's								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	AFG	Afghanistan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	BGD	Bangladesh	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	BTN	Bhutan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	KHM	Cambodia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	IND	India	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	IDN	Indonesia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	LAO	Lao, PDR	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	MYS	Malaysia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	MDV	Maldives	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	MMR	Myanmar	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	NPL	Nepal	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	PHL	Philippines	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	SGP	Singapore	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	LKA	Sri Lanka	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	THA	Thailand	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	TLS	Timor-Leste	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
1	VNM	Vietnam	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000	0.000
18	BRN	Brunei Darussalam	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000
18	PAK	Pakistan	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000

SDG Indicator 5.1.1. Woman's testimony carries the same evidentiary weight in court as a man's is whether the law differentiates between the evidentiary value of a woman's testimony in a court and that of a man. It covers all types of court cases. Inclusion of this indicator is reflective of the environment whereby women and men's voice is equally considered within the justice system.

VOICE3 Proportion of girls under 5 years of age whose births have been registered								
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021	+/-
1	SGP	Singapore	100.0	100.0	0.0	1.000	1.000	0.000
2	BTN	Bhutan	99.8	99.8	0.0	0.998	0.998	0.000
3	THA	Thailand	99.5	99.5	0.0	0.995	0.995	0.000
4	MDV	Maldives	99.1	99.1	0.0	0.991	0.991	0.000
5	LKA	Sri Lanka	97.0	97.0	0.0	0.970	0.970	0.000
6	VNM	Vietnam	96.3	96.3	0.0	0.963	0.963	0.000
7	PHL	Philippines	91.2	91.2	0.0	0.912	0.912	0.000
8	MMR	Myanmar	80.6	80.6	0.0	0.806	0.806	0.000
9	IND	India	80.1	80.1	0.0	0.801	0.801	0.000
10	LAO	Lao, PDR	73.1	73.1	0.0	0.731	0.731	0.000
11	KHM	Cambodia	72.9	72.9	0.0	0.729	0.729	0.000
12	IDN	Indonesia	72.5	71.9	-0.6	0.725	0.719	-0.006
13	TLS	Timor-Leste	61.0	61.0	0.0	0.610	0.610	0.000
14	BGD	Bangladesh	56.1	56.3	0.2	0.561	0.563	0.002
15	NPL	Nepal	55.2	55.2	0.0	0.552	0.552	0.000
16	AFG	Afghanistan	41.9	41.9	0.0	0.419	0.419	0.000
16	PAK	Pakistan	41.9	41.9	0.0	0.419	0.419	0.000
-	BRN	Brunei Darussalam						
-	MYS	Malaysia						

SDG Indicator 16.9.1. Registering children at birth is the first step in securing their recognition before the law, safeguarding their rights, and ensuring that any violation of these rights does not go unnoticed. Children without official identification documents may be denied health care or education. Later in life, the lack of such documentation can mean that a child may enter into marriage or the labour market, or be conscripted into the armed forces, before the legal age. In adulthood, birth certificates may be required to obtain social assistance or a job in the formal sector, to buy or prove the right to inherit property, to vote and to obtain a passport. Children's right to a name and nationality is enshrined in the Convention on the Rights of the Child (CRC) under Article 7. The numerator of this indicator includes children reported to have a birth certificate, regardless of whether or not it was seen by the interviewer, and those without a birth certificate whose mother or caregiver says the birth has been registered. The most recent data source from either UNICEF or DHS/NCHS has been used. It should be noted that birth registration prevalence rates are highly sensitive to the way in which questions are formulated. This is especially true of questions regarding the civil authorities in charge of recording births. Similarly, questions regarding the possession of a birth certificate may also be the source of erroneous data, since respondents may confuse a birth certificate with a health card or other document.

## LAW LAWS AND POLICIES

Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	
1	PHL	Philippines	1.000	1.000	0.000	==
1	THA	Thailand	0.800	1.000	0.200	▲
1	VNM	Vietnam	1.000	1.000	0.000	==
4	BTN	Bhutan	0.800	0.800	0.000	==
4	KHM	Cambodia	0.800	0.800	0.000	==
4	IND	India	0.800	0.800	0.000	==
4	LAO	Lao, PDR	0.800	0.800	0.000	==
4	LKA	Sri Lanka	0.800	0.800	0.000	==
4	TLS	Timor-Leste	0.800	0.800	0.000	==
10	MYS	Malaysia	0.600	0.600	0.000	==
10	MDV	Maldives	0.600	0.600	0.000	==
10	NPL	Nepal	0.400	0.600	0.200	▲
10	SGP	Singapore	0.600	0.600	0.000	==
14	AFG	Afghanistan	0.400	0.400	0.000	==
14	BGD	Bangladesh	0.400	0.400	0.000	==
14	IDN	Indonesia	0.400	0.400	0.000	==
14	PAK	Pakistan	0.400	0.400	0.000	==
18	BRN	Brunei Darussalam	0.200	0.200	0.000	==
18	MMR	Myanmar	0.200	0.200	0.000	==



### INDICATORS:

Equal rights between sons and daughters to inherit assets from parents  
 Equal remuneration for work of equal value  
 Legislation on sexual harassment in employment  
 Laws prohibiting or invalidating child marriage  
 Legislation specifically addressing domestic violence

▲ No updated values for LAWS since previous index in 2019

LAW1 Equal rights between sons and daughters to inherit assets from parents							
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021
1	BTN	Bhutan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	KHM	Cambodia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	IND	India	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	LAO	Lao, PDR	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	MMR	Myanmar	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	PHL	Philippines	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	SGP	Singapore	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	LKA	Sri Lanka	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	THA	Thailand	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	TLS	Timor-Leste	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	VNM	Vietnam	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
12	AFG	Afghanistan	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
12	BGD	Bangladesh	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
12	BRN	Brunei Darussalam	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
12	IDN	Indonesia	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
12	MYS	Malaysia	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
12	MDV	Maldives	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
12	NPL	Nepal	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
12	PAK	Pakistan	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000

This indicator is related to the domain of managing assets. It explores whether there are gender-based differences in the rules of intestate succession for transfer of property from parents to children. The answer is "Yes" when the law recognizes children as heirs to property without any restrictions based on gender. The answer is also "Yes" when assets related to inheritance fall under a mix of custom, law and judicial precedent and all sources, including CEDAW reports which do not reveal the existence of inequality. Other information is available at: <https://law.bepress.com/worldbank/handle/10986/31327/WBL2019.pdf?sequence=4&isAllowed=y>. The indicator only refers to whether the country has legislation, not the effectiveness of its implementation.

LAW3 Legislation on sexual harassment in employment							
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021
1	AFG	Afghanistan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	BGD	Bangladesh	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	BTN	Bhutan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	KHM	Cambodia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	IND	India	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	LAO	Lao, PDR	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	MYS	Malaysia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	MDV	Maldives	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	NPL	Nepal	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	PAK	Pakistan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	PHL	Philippines	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	SGP	Singapore	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	LKA	Sri Lanka	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	THA	Thailand	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	TLS	Timor-Leste	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	VNM	Vietnam	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
17	BRN	Brunei Darussalam	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
17	IDN	Indonesia	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
17	MMR	Myanmar	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000

Building on the World Bank's Women, Business and the Law 2018 report, on June 21, 2019, the ILO adopted a ground-breaking global treaty that will improve protections for workers facing violence and harassment. The ILO Convention on Violence and Harassment sets standards for ending violence and harassment in the world of work so that ratifying governments will be required to develop national laws prohibiting workplace violence and take preventive measures, such as information campaigns and require companies to have workplace policies on violence. Further government will be required to monitor the issue and provide access to remedies through complaint mechanisms, witness protection measures, survivor services and provide measures to protect survivors and whistleblowers from retaliation. The existence of legislation on sexual harassment in employment reflects a government's commitment to creation of an environment that supports' women's employment and economic opportunity.

LAW5 Legislation specifically addressing domestic violence							
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021
1	BGD	Bangladesh	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	BTN	Bhutan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	KHM	Cambodia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	IND	India	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	IDN	Indonesia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	LAO	Lao, PDR	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	MYS	Malaysia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	MDV	Maldives	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	NPL	Nepal	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	PAK	Pakistan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	PHL	Philippines	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	LKA	Sri Lanka	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	THA	Thailand	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	TLS	Timor-Leste	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	VNM	Vietnam	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
16	AFG	Afghanistan	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
16	BRN	Brunei Darussalam	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
16	MMR	Myanmar	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
16	SGP	Singapore	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000

Scoring is Yes=1 and No=0. If yes, there is legislation addressing domestic violence that includes criminal sanctions or provides for protection orders for domestic violence. Legislation also addresses "harassment" that includes physical or mental harm arising from domestic relationships. If No, there is no legislation addressing domestic violence, if the domestic violence legislation does not provide for sanctions or protection orders or if only a specific category of women or family member is protected; or there is only a provision that increases penalties for general crimes covered in the criminal code if committed between spouses or within the family. Domestic violence refers to gender-specific violence commonly directed against women, occurring in the private sphere, within the family or members of the same household, and within interpersonal relationships, including intimate partner violence (IPV). Domestic violence may take on different forms, including physical, sexual, psychological, and economic violence.

LAW2 Equal remuneration for work of equal value							
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021
1	BTN	Bhutan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	NPL	Nepal	0.0	1.0	1.0	0.000	1.000
1	PHL	Philippines	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	THA	Thailand	0.0	1.0	1.0	0.000	1.000
1	VNM	Vietnam	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
6	AFG	Afghanistan	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	BGD	Bangladesh	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	BRN	Brunei Darussalam	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	KHM	Cambodia	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	IND	India	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	IDN	Indonesia	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	LAO	Lao, PDR	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	MYS	Malaysia	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	MDV	Maldives	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	MMR	Myanmar	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	PAK	Pakistan	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	SGP	Singapore	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	LKA	Sri Lanka	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
6	TLS	Timor-Leste	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000

"Remuneration" refers to the ordinary, basic or minimum wage or salary and any additional emoluments payable directly or indirectly, whether in cash or in kind, by the employer to the worker and arising from the worker's employment. "Work of equal value" refers not only to the same or similar jobs, but also to different jobs of the same value. Equal remuneration for work of equal value reflects social, cultural, civil and legal environments that recognise and support women's opportunity for economic gain and participation in the labour force.

LAW4 Laws prohibiting or invalidating child marriage							
Rank	Code	Country	Index Value 2019	Index Value 2021	+/-	Normalized Value 2019	Normalized Value 2021
1	AFG	Afghanistan	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	BRN	Brunei Darussalam	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	KHM	Cambodia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	IND	India	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	IDN	Indonesia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	LAO	Lao, PDR	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	MYS	Malaysia	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	MDV	Maldives	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	PHL	Philippines	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	SGP	Singapore	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	LKA	Sri Lanka	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	THA	Thailand	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	TLS	Timor-Leste	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
1	VNM	Vietnam	1.0	1.0	0.0	1.000	1.000
15	BGD	Bangladesh	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
15	BTN	Bhutan	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
15	MMR	Myanmar	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
15	NPL	Nepal	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000
15	PAK	Pakistan	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000

Law prohibits or invalidates child or early marriage is whether there are provisions that prevent the marriage of girls, boys, or both before they reach the legal age of marriage or the age of marriage with consent, including, for example, a prohibition on registering the marriage or provisions stating that such a marriage is null and void. Child marriage endangers the life trajectories of girls in multiple ways. Child brides are at greater risk of experiencing a range of poor health outcomes, having children at younger ages when they are not yet ready to do so, dropping out of school, earning less over their lifetimes and living in poverty compared to their peers who marry at later ages. Child brides may also be more likely to experience intimate partner violence, have restricted physical mobility, and limited decisionmaking ability. Most fundamentally, child brides may be disempowered in ways that deprive them of their basic rights to health, education and safety. These dynamics affect not only the girls themselves, but also their children and households, as well as communities and entire societies (<http://pubdocs.worldbank.org/en/134161519943385981/WBL2017-Child-Marriage-Laws.pdf>)

# THE PACIFIC GIRLS' LEADERSHIP INDEX

Below are the domain and individual indicator rankings for each country in the Pacific region.

EDU	EDUCATION			
Rank	Code	Country	Index Value	
1	NZL	New Zealand	0.9313	
2	AUS	Australia	0.9142	
3	WSM	Samoa	0.8963	
4	PLW	Palau	0.8556	
5	TON	Tonga	0.8284	
6	FJI	Fiji	0.8278	
7	KIR	Kiribati	0.8037	
8	FSM	Micronesia, Federated States	0.7833	
9	NRU	Nauru	0.7355	
10	VUT	Vanuatu	0.7037	
11	SLB	Solomon Islands	0.6876	
12	TUV	Tuvalu	0.6775	
13	PNG	Papua New Guinea	0.6578	
14	MHL	Marshall Islands	0.5008	



## INDICATORS:

Gross enrolment ratio, primary, female (%)

Gross enrolment ratio, lower secondary, female (%)

Out-of-school rate for youth of upper secondary school age, female (%)

Expected years of schooling, female

EDU1	Gross enrolment ratio, primary, female (%)			
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value
1	AUS	Australia	100.1	1.000
1	FJI	Fiji	114.2	1.000
1	KIR	Kiribati	104.9	1.000
1	NRU	Nauru	121.0	1.000
1	NZL	New Zealand	101.4	1.000
1	PLW	Palau	105.2	1.000
1	PNG	Papua New Guinea	103.6	1.000
1	WSM	Samoa	115.7	1.000
1	SLB	Solomon Islands	106.0	1.000
1	TON	Tonga	116.0	1.000
1	TUV	Tuvalu	104.1	1.000
1	VUT	Vanuatu	107.8	1.000
13	FSM	Micronesia, Federated States	94.7	0.894
14	MHL	Marshall Islands	78.1	0.562

SDG 4.1.3. Total number of new entrants into the last grade of primary education, regardless of age, expressed as a percentage of the population at the intended entrance age to the last grade of primary education or lower secondary general education. This indicator is a proxy measure of primary completion and reflects how policies on access to and progression through the early grades of primary or lower secondary education impact the final grade of the given level. It also indicates the capacity of the education system to cater for the completion of the population of the intended entrance age to the last grade of the given level of education. It assumes that pupils entering the last grade for the first time will eventually complete the grade and hence the given level of education. A GER rate above 100% indicates that pupils who entered school either early or late and/or who have repeated earlier grades.

EDU3	Out-of-school rate for youth of upper secondary school age, female			
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value
1	NZL	New Zealand	0.8	0.992
2	WSM	Samoa	4.8	0.952
3	AUS	Australia	6.0	0.940
4	FJI	Fiji	22.2	0.778
5	TON	Tonga	25.3	0.747
6	KIR	Kiribati	30.2	0.698
7	TUV	Tuvalu	38.5	0.615
8	MHL	Marshall Islands	40.9	0.591
9	PNG	Papua New Guinea	42.7	0.573
10	NRU	Nauru	60.1	0.399
-	FSM	Micronesia, Federated States	-	-
-	PLW	Palau	-	-
-	SLB	Solomon Islands	-	-
-	VUT	Vanuatu	-	-

SDG 4.1.4. Proportion of children and young people in the official age range for the given level of education who are not enrolled in upper secondary levels of education. The higher the rate and number of out-of-school children and adolescents, the greater the need to focus on improving access to education. Some children have never been in school or may not eventually enroll as late entrants. Other children may have initially enrolled but dropped out before reaching the intended age of completion of the given level. When disaggregated by sex, location and other characteristics, this indicator can identify excluded population groups.

EDU2	Gross enrolment ratio, lower secondary, female (%)			
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value
1	AUS	Australia	105.8	1.000
1	FJI	Fiji	110.0	1.000
1	NZL	New Zealand	102.5	1.000
1	PLW	Palau	109.3	1.000
1	WSM	Samoa	107.6	1.000
1	TON	Tonga	111.6	1.000
7	NRU	Nauru	99.3	0.993
8	KIR	Kiribati	95.0	0.950
9	FSM	Micronesia, Federated States	88.1	0.881
10	SLB	Solomon Islands	77.1	0.771
11	VUT	Vanuatu	68.6	0.686
12	PNG	Papua New Guinea	65.8	0.658
13	TUV	Tuvalu	59.5	0.595
14	MHL	Marshall Islands	45.0	0.450

SDG 4.1.3. Total number of new entrants into the last grade of secondary education, regardless of age, expressed as a percentage of the population at the intended entrance age to the last grade of secondary education or lower secondary general education. This indicator is a proxy measure of secondary school completion and reflects how policies on access to and progression through the early grades of primary or lower secondary education impact the final grade of the given level. It also indicates the capacity of the education system to cater for the completion of the population of the intended entrance age to the last grade of the given level of education. It assumes that pupils entering the last grade for the first time will eventually complete the grade and hence the given level of education. A GER rate above 100% indicates that pupils who entered school either early or late and/or who have repeated earlier grades.

EDU4	Expected years of schooling, female			
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value
1	NZL	New Zealand	13.8	0.733
2	AUS	Australia	13.6	0.717
3	WSM	Samoa	12.6	0.633
4	FSM	Micronesia, Federated States	11.9	0.575
5	KIR	Kiribati	11.8	0.567
6	PLW	Palau	11.8	0.567
7	TON	Tonga	11.8	0.567
8	NRU	Nauru	11.6	0.550
9	FJI	Fiji	11.4	0.533
10	TUV	Tuvalu	11.0	0.500
11	VUT	Vanuatu	10.1	0.425
12	MHL	Marshall Islands	9.8	0.400
13	PNG	Papua New Guinea	9.8	0.400
14	SLB	Solomon Islands	8.5	0.292

SDG 4.3. Refers to the number of years of schooling that a child of school entrance age can expect to receive if prevailing patterns of age-specific enrolment rates persist throughout the child's life. The indicator shows the overall level of development of an educational system in terms of the average number of years of schooling that the education system offers to the eligible population, including those who never enter school. A relatively high value indicates greater probability for children to spend more years in education and higher overall retention within the education system. Caution is required when making cross-country comparisons; neither the length of the school year nor the quality of education is necessarily the same in each country. It should also be noted that, depending on countries, the enrolment data do not account for many types of continuing



## EC ECONOMIC OPPORTUNITIES

Rank	Code	Country	Index Value	
1	AUS	Australia	0.844	
2	KIR	Kiribati	0.765	
3	NZL	New Zealand	0.587	
4	TUV	Tuvalu	0.581	
5	SLB	Solomon Islands	0.565	
6	NRU	Nauru	0.559	
7	TON	Tonga	0.549	
8	FJI	Fiji	0.523	
9	VUT	Vanuatu	0.507	
10	PLW	Palau	0.470	
11	WSM	Samoa	0.460	
12	MHL	Marhsall Islands	0.442	
13	FSM	Micronesia, Federated States	0.413	
14	PNG	Papua New Guinea	0.323	



### INDICATORS:

Share of youth (15-24) not in employment, education or training, Female (%)

Female share of employment in senior and middle management (%)

Law mandates equal remuneration for work of equal value

Female youth unemployment (15-24 years)

EC1 Share of youth (15-24) not in employment, education or training, Female (%)					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	SLB	Solomon Islands	8.9	0.911	
2	AUS	Australia	9.0	0.910	
3	NZL	New Zealand	12.5	0.875	
4	PLW	Palau	14.4	0.856	
5	PNG	Papua New Guinea	29.0	0.710	
6	FSM	Micronesia, Federated States	29.1	0.709	
7	FJI	Fiji	29.6	0.704	
8	TON	Tonga	31.5	0.685	
9	VUT	Vanuatu	35.3	0.647	
10	TUV	Tuvalu	37.4	0.626	
11	WSM	Samoa	41.5	0.585	
12	MHL	Marhsall Islands	45.2	0.548	
13	KIR	Kiribati	47.6	0.524	
14	NRU	Nauru	51.3	0.487	

SDG 8.6.1. The share of youth not in education, employment or training (also known as "the NEET rate") conveys the number of young persons not in education, employment or training as a percentage of the total youth population. It provides a measure of youth who are outside the educational system, not in training and not in employment, and thus serves as a broader measure of potential youth labour market entrants than youth unemployment, since it also includes young persons outside the labour force not in education or training. For more information, refer to: <https://ilostat ilo.org/resources/concepts-and-definitions/description-youth-neet/>

EC3 Law mandates equal remuneration for work of equal value					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	Yes	1.000	
1	KIR	Kiribati	Yes	1.000	
3	FJI	Fiji	No	0.000	
3	MHL	Marhsall Islands	No	0.000	
3	FSM	Micronesia, Federated States	No	0.000	
3	NZL	New Zealand	No	0.000	
3	PLW	Palau	No	0.000	
3	PNG	Papua New Guinea	No	0.000	
3	WSM	Samoa	No	0.000	
3	SLB	Solomon Islands	No	0.000	
3	TON	Tonga	No	0.000	
3	VUT	Vanuatu	No	0.000	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 5.1.1. This indicator is related to the domain of 'pay' within the Women, Business and Law database. It captures whether employers are legally obliged to pay equal remuneration to male and female employees who perform work of equal value. Work of equal value refers not only to the same or similar jobs, but also to different jobs of the same value. If the answer is yes, employers are legally obliged to pay equal remuneration to male and female employees who perform work of equal value in accordance with the definitions above. If no, the law limits the principle of equal remuneration to equal work, the same work or work of a similar nature; or the law limits the broad concept of "remuneration" to only basic wages or salary; or the law limits the principle of equal remuneration for work of equal value to the same place of business or same employer.

EC2 Female share of employment in senior and middle management (%)					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	WSM	Samoa	43.0	0.691	
2	TON	Tonga	40.3	0.642	
3	FJI	Fiji	38.6	0.611	
4	KIR	Kiribati	38.5	0.609	
5	AUS	Australia	37.8	0.596	
6	TUV	Tuvalu	36.7	0.576	
7	NRU	Nauru	36.1	0.565	
8	PLW	Palau	35.5	0.555	
9	VUT	Vanuatu	28.5	0.427	
10	SLB	Solomon Islands	25.1	0.365	
11	MHL	Marhsall Islands	25.0	0.364	
12	PNG	Papua New Guinea	19.3	0.260	
13	FSM	Micronesia, Federated States	18.2	0.240	
-	NZL	New Zealand	-	-	

SDG 5.5.2. The female share of employment in managerial positions conveys the number of women in management as a percentage of employment in management. Employment in management is defined based on the International Standard Classification of Occupations. Two different measures are presented: one referring to total management, and another one referring to senior and middle management only, thus excluding junior management. This indicator is calculated based on data on employment by sex and occupation.

EC4 Female youth unemployment (15-24 years)					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	SLB	Solomon Islands	1.6	0.984	
2	VUT	Vanuatu	4.8	0.952	
3	KIR	Kiribati	7.5	0.925	
4	NZL	New Zealand	11.5	0.885	
5	TON	Tonga	13.1	0.869	
6	AUS	Australia	13.2	0.868	
7	MHL	Marhsall Islands	14.2	0.858	
8	FJI	Fiji	22.4	0.776	
9	FSM	Micronesia, Federated States	29.9	0.701	
10	NRU	Nauru	37.5	0.625	
11	WSM	Samoa	43.4	0.566	
12	TUV	Tuvalu	45.9	0.541	
-	PLW	Palau	-	-	
-	PNG	Papua New Guinea	-	-	

The unemployment rate conveys the number of persons who are unemployed as a percent of the labour force (i.e., the employed plus the unemployed). The unemployed comprise all persons of working age who were: a) without work during the reference period, i.e. were not in paid employment or self-employment; b) currently available for work, i.e. were available for paid employment or self-employment during the reference period; and c) seeking work, i.e. had taken specific steps in a specified recent period to seek paid employment or self-employment.

## HLTH HEALTH

Rank	Code	Country	Index Value	
1	AUS	Australia	0.8939	
2	PLW	Palau	0.7901	
3	NZL	New Zealand	0.7900	
4	FJI	Fiji	0.7167	
5	TON	Tonga	0.6614	
6	FSM	Micronesia, Federated States	0.5980	
7	WSM	Samoa	0.5823	
8	VUT	Vanuatu	0.5352	
9	TUV	Tuvalu	0.4972	
10	KIR	Kiribati	0.4791	
11	PNG	Papua New Guinea	0.4385	
12	SLB	Solomon Islands	0.4239	
13	MHL	Marshall Islands	0.3559	
14	NRU	Nauru	0.3530	

### HLTH1 Adolescent birth rate (births per 1,000 women ages 15-19)

Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	11.7	0.906	
2	FSM	Micronesia, Federated States	13.9	0.889	
3	TON	Tonga	14.7	0.882	
4	KIR	Kiribati	16.2	0.870	
5	NZL	New Zealand	19.3	0.846	
6	WSM	Samoa	23.9	0.809	
7	TUV	Tuvalu	26.6	0.787	
8	PLW	Palau	33.8	0.730	
9	FJI	Fiji	49.4	0.605	
10	VUT	Vanuatu	49.4	0.605	
11	PNG	Papua New Guinea	52.7	0.578	
12	SLB	Solomon Islands	78.0	0.376	
13	NRU	Nauru	94.0	0.248	
-	MHL	Marshall Islands	-	-	

SDG 3.7.2: The adolescent birth rate measures the annual number of births to women 15 to 19 years of age per 1,000 women in that age group. It is also referred to as the age-specific fertility rate for women aged 15-19. Reproductive health is a state of physical and mental well-being in relation to the reproductive system and its functions and processes. Means of achieving reproductive health include education and services during pregnancy and childbirth, safe and effective contraception, and prevention and treatment of sexually transmitted diseases. Complications of pregnancy and childbirth are the leading cause of death and disability among women of reproductive age in developing countries. Adolescent fertility rates are based on data on registered live births from vital registration systems or, in the absence of such systems, from censuses or sample surveys.

### HLTH3 Maternal mortality ratio (per 100,000 live births)

Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	6.0	0.960	
2	NZL	New Zealand	9.0	0.940	
3	PLW	Palau	22.4	0.851	
4	FJI	Fiji	34.0	0.773	
5	NRU	Nauru	35.5	0.764	
6	WSM	Samoa	43.0	0.713	
7	TON	Tonga	52.0	0.653	
8	VUT	Vanuatu	72.0	0.520	
9	TUV	Tuvalu	81.8	0.454	
10	MHL	Marshall Islands	87.7	0.416	
11	FSM	Micronesia, Federated States	88.0	0.413	
12	KIR	Kiribati	92.0	0.387	
13	SLB	Solomon Islands	104.0	0.307	
14	PNG	Papua New Guinea	145.0	0.033	

SDG 3.1: Defined as the death of a woman from pregnancy-related causes during pregnancy or within 42 days of pregnancy, expressed as a ratio to 100,000 live births in the population being studied. The high number of maternal deaths in some areas of the world reflects inequalities in access to quality health services and highlights the gap between rich and poor. The risk of maternal mortality is highest for adolescent girls under 15 years old and complications in pregnancy and childbirth are higher among adolescent girls age 10-19 (compared to women aged 20-24)



### INDICATORS:

- Adolescent birth rate (births per 1,000 women ages 15-19)
- Suicide Mortality Rate, female (per 100,000 female population)
- Maternal mortality ratio (per 100,000 live births)
- Modern contraception prevalence rate (15-19 years)

### HLTH2 Suicide Mortality Rate, female (per 100,000 female population)

Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	PNG	Papua New Guinea	1.6	0.936	
2	SLB	Solomon Islands	1.9	0.924	
3	TON	Tonga	2.6	0.896	
4	FJI	Fiji	5.7	0.772	
5	NZL	New Zealand	5.8	0.768	
6	AUS	Australia	6.4	0.744	
7	WSM	Samoa	6.7	0.732	
8	VUT	Vanuatu	7.6	0.696	
9	KIR	Kiribati	8.7	0.652	
10	FSM	Micronesia, Federated States	12.7	0.492	
-	MHL	Marshall Islands	-	-	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	PLW	Palau	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 3.4.2: Mental disorders occur in all regions and cultures of the world. The most prevalent of these disorders are depression and anxiety, which are estimated to affect nearly 1 in 10 people. Suicide was the second leading cause of deaths among young adults aged 15-29 years, after road traffic injuries. Around 70 countries currently provide WHO with regular high-quality data on mortality by age, sex and causes of death, and another 40 countries submit data of lower quality. This indicator is also an indication for how diseases and injuries are affecting people – for assessing the effectiveness of a country's health system. The indicator is not available by age disaggregation, only by gender. Further methodological details are available at: [https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/crude-suicide-rates-\(per-100-000-population\)](https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/crude-suicide-rates-(per-100-000-population))

### HLTH4 Modern contraception prevalence rate (15-19 years)

Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	77.2	0.965	
2	NZL	New Zealand	48.5	0.606	
3	VUT	Vanuatu	25.6	0.320	
4	MHL	Marshall Islands	23.7	0.296	
5	TUV	Tuvalu	20.0	0.250	
6	TON	Tonga	17.1	0.214	
7	PNG	Papua New Guinea	16.5	0.206	
8	SLB	Solomon Islands	7.1	0.089	
9	WSM	Samoa	6.0	0.075	
10	NRU	Nauru	3.8	0.048	
11	KIR	Kiribati	0.6	0.008	
-	FJI	Fiji	-	-	
-	FSM	Micronesia, Federated States	-	-	
-	PLW	Palau	-	-	

SDG 3.7: Refers to the percentage of women aged 15-49 years, married or in-union, who are currently using, or whose sexual partner is using, at least one modern method of contraception. Modern methods of contraception include: oral contraceptive pills, implants, injectables, contraceptive patch and vaginal ring, intrauterine device (IUD), female and male condoms, female and male sterilization, vaginal barrier methods (including the diaphragm, cervical cap and spermicidal agents), lactational amenorrhea method (LAM), emergency contraception pills, standard days method (SDM), basal body temperature (BBT) method, TwoDay method and sympto-thermal method.

## PROT PROTECTION

Rank	Code	Country	Index Value	
1	AUS	Australia	0.884	
2	NZL	New Zealand	0.875	
3	PLW	Palau	0.799	
4	FSM	Micronesia, Federated State:	0.796	
5	TON	Tonga	0.780	
6	WSM	Samoa	0.762	
7	TUV	Tuvalu	0.716	
8	FJI	Fiji	0.698	
9	MHL	Marhsall Islands	0.614	
10	KIR	Kiribati	0.609	
11	SLB	Solomon Islands	0.588	
12	VUT	Vanuatu	0.550	
13	NRU	Nauru	0.502	
14	PNG	Papua New Guinea	0.472	

PROT1 Percentage of the female population ages 15 and older that has ever experienced physical and/or sexual violence from an intimate partner					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	22.8	0.772	
2	NZL	New Zealand	23.0	0.770	
3	PLW	Palau	25.2	0.748	
4	FSM	Micronesia, Federated State:	32.8	0.672	
5	TUV	Tuvalu	36.8	0.632	
6	TON	Tonga	39.6	0.604	
7	WSM	Samoa	46.1	0.539	
8	NRU	Nauru	48.1	0.519	
9	MHL	Marhsall Islands	50.9	0.491	
10	PNG	Papua New Guinea	51.0	0.490	
11	VUT	Vanuatu	60.0	0.400	
12	SLB	Solomon Islands	63.5	0.365	
13	FJI	Fiji	64.1	0.359	
14	KIR	Kiribati	67.6	0.324	

SDG 5.2.2: Number of ever married females 15-49 (depending on country) that has ever experienced physical and/or social violence from an intimate partner. Physical violence refers to pushing, shaking, slapping, twisted arm, kicking, dragging, choking, burning, threatened with weapons, whereas sexual violence refers to physically forced her to have sexual intercourse, physically forced her to perform any other sexual acts she did not want to, and forced her with threats or in any other way to perform sexual acts she did not want to.

PROT3 Proportion of women aged 20-24 years who were married or in a union before age 18 (%)					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	1.0	0.9800	
1	NZL	New Zealand	1.0	0.9800	
3	WSM	Samoa	7.4	0.8520	
4	FJI	Fiji	9.0	0.8200	
5	TUV	Tuvalu	10.0	0.8000	
6	TON	Tonga	10.1	0.7980	
7	KIR	Kiribati	20.0	0.6000	
8	SLB	Solomon Islands	21.0	0.5800	
8	VUT	Vanuatu	21.0	0.5800	
9	MHL	Marhsall Islands	26.0	0.4800	
10	NRU	Nauru	27.0	0.4600	
11	PNG	Papua New Guinea	27.3	0.4540	
-	FSM	Micronesia, Federated State:	-	-	
-	PLW	Palau	-	-	

SDG 5.3.1: Marriage before the age of 18 is a fundamental violation of human rights. Many factors interact to place a girl at risk of marriage, including poverty, the perception that marriage will provide 'protection', family honour, social norms, customary or religious laws that condone the practice, an inadequate legislative framework and the state of a country's civil registration system. Child marriage often compromises a girl's development by resulting in early pregnancy and social isolation, interrupting her schooling, limiting her opportunities for career and vocational advancement and placing her at increased risk of domestic violence. Child marriage also affects boys, but to a lesser degree than girls. Child marriage is defined as, "Any marriage carried out below the age of 18 years, before the girl is physically, physiologically, and psychologically ready to shoulder the responsibilities of marriage" (Inter-African Committee - IAC 1993) whereas the United Nations Children's Fund (UNICEF) defines it as "a formal marriage or informal union before 18" (UNICEF 2011). Girls Not Brides2 defines child marriage as "any formal marriage or informal union where one or both of the parties are under 18 years of age."



### INDICATORS:

Percentage of the female population ages 15 and older that has ever experienced physical and/or sexual violence from an intimate partner

Percentage of the female population ages 15 and older that has ever experienced sexual violence from a non-intimate partner

Proportion of women aged 20-24 years who were married or in a union before age 18 (%)

PROT2 Percentage of the female population ages 15 and older that has ever experienced sexual violence from a non-intimate partner					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	TON	Tonga	6.3	0.937	
2	FSM	Micronesia, Federated States	8.0	0.920	
3	FJI	Fiji	8.5	0.915	
4	KIR	Kiribati	9.8	0.902	
5	AUS	Australia	10.0	0.900	
6	WSM	Samoa	10.6	0.894	
7	MHL	Marhsall Islands	13.0	0.870	
8	PLW	Palau	15.1	0.849	
9	SLB	Solomon Islands	18.0	0.820	
10	VUT	Vanuatu	33.0	0.670	
11	NRU	Nauru	47.3	0.527	
-	NZL	New Zealand	-	-	
-	PNG	Papua New Guinea	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 5.2.2: Number of ever married females 15-49 (depending on country) that has ever experienced physical and/or social violence from a person other than their partner/spouse. Physical violence refers to pushing, shaking, slapping, twisted arm, kicking, dragging, choking, burning, threatened with weapons, whereas sexual violence refers to physically forced her to have sexual intercourse, physically forced her to perform any other sexual acts she did not want to, and forced her with threats or in any other way to perform sexual acts she did not want to.



## VOICE POLITICAL VOICE & REPRESENTATION

Rank	Code	Country	Index Value	
1	NZL	New Zealand	0.803	
2	AUS	Australia	0.768	
3	KIR	Kiribati	0.671	
4	TON	Tonga	0.668	
5	MHL	Marshall Islands	0.628	
6	PLW	Palau	0.563	
7	NRU	Nauru	0.533	
8	FSM	Micronesia, Federated States	0.500	
9	VUT	Vanuatu	0.476	
10	SLB	Solomon Islands	0.318	
11	TUV	Tuvalu	0.285	
12	WSM	Samoa	0.227	
13	FJI	Fiji	0.098	
14	PNG	Papua New Guinea	0.045	



### INDICATORS:

Proportion of seats held by women in national parliaments

Proportion of girls under 5 years of age whose births have been registered with a civil authority

A woman can apply for a passport in the same way as a man

### VOICE1 Proportion of seats held by women in national parliaments

Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	NZL	New Zealand	40.8	0.408	
2	AUS	Australia	30.5	0.305	
3	FJI	Fiji	19.6	0.196	
4	PLW	Palau	12.5	0.125	
5	NRU	Nauru	10.5	0.105	
6	WSM	Samoa	10.0	0.100	
7	KIR	Kiribati	8.9	0.089	
8	TON	Tonga	7.4	0.074	
9	SLB	Solomon Islands	6.4	0.064	
10	TUV	Tuvalu	6.3	0.063	
11	MHL	Marshall Islands	6.1	0.061	
12	FSM	Micronesia, Federated States	0.0	0.000	
12	PNG	Papua New Guinea	0.0	0.000	
12	VUT	Vanuatu	0.0	0.000	

SDG Indicator 5.1.1: Women are vastly underrepresented in decision making positions in government, although there is some evidence of recent improvement. Gender parity in parliamentary representation is still far from being realized. Without representation at this level, it is difficult for women to influence policy. The proportion of seats held by women in national parliaments is the number of seats held by women members in single or lower chambers of national parliaments, expressed as a percentage of all occupied seats; it is derived by dividing the total number of seats occupied by women by the total number of seats in parliament. It does not cover the upper chamber of bicameral parliaments. Seats are usually won by members in general parliamentary elections. Seats may also be filled by nomination, appointment, indirect election, rotation of members and by-election. Seats refer to the number of parliamentary mandates, or the number of members of parliament.

### VOICE3 A woman can apply for a passport in the same way as a man

Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	Yes	1.000	
1	KIR	Kiribati	Yes	1.000	
1	MHL	Marshall Islands	Yes	1.000	
1	FSM	Micronesia, Federated States	Yes	1.000	
1	NZL	New Zealand	Yes	1.000	
1	PLW	Palau	Yes	1.000	
1	TON	Tonga	Yes	1.000	
1	VUT	Vanuatu	Yes	1.000	
9	FJI	Fiji	No	0.000	
9	PNG	Papua New Guinea	No	0.000	
9	WSM	Samoa	No	0.000	
9	SLB	Solomon Islands	No	0.000	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 5.1.1: This indicator, drawn from the Women, Business and Law Database for the domain of 'mobility' looks at whether there are differences in passport application procedures. The answer is "Yes" if there are no gender differences in passport application procedures, while if "No", it indicates that an adult woman needs the permission or signature of her husband, father or other relative or guardian to apply for a passport, or passport application procedures or forms require a woman to provide details about her husband, father, or other relative or guardian; or passport application procedures or forms require a woman to provide additional documents, such as a marriage certificate, whereas the same is not required for a man.

### VOICE2 Proportion of girls under 5 years of age whose births have been registered with a civil authority

Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	100.0	1.000	
1	NZL	New Zealand	100.0	1.000	
3	NRU	Nauru	96.0	0.960	
4	TON	Tonga	93.1	0.931	
5	KIR	Kiribati	92.5	0.925	
6	SLB	Solomon Islands	89.0	0.890	
7	MHL	Marshall Islands	82.3	0.823	
8	WSM	Samoa	58.0	0.580	
9	TUV	Tuvalu	50.6	0.506	
10	VUT	Vanuatu	42.9	0.429	
11	PNG	Papua New Guinea	13.6	0.136	
-	FJI	Fiji	-	-	
-	FSM	Micronesia, Federated States	-	-	
-	PLW	Palau	-	-	

SDG 16.9.1: Registering children at birth is the first step in securing their recognition before the law, safeguarding their rights, and ensuring that any violation of these rights does not go unnoticed. Children without official identification documents may be denied health care or education. Later in life, the lack of such documentation can mean that a child may enter into marriage or the labour market, or be conscripted into the armed forces, before the legal age. In adulthood, birth certificates may be required to obtain social assistance or a job in the formal sector, to buy or prove the right to inherit property, to vote and to obtain a passport. Children's right to a name and nationality is enshrined in the Convention on the Rights of the Child (CRC) under Article 7. The most recent data source from either UNICEF or DHS/MICS has been used. It should be noted that birth registration prevalence rates are highly sensitive to the way in which questions are formulated. This is especially true of questions regarding the civil authorities in charge of recording births. Similarly, questions regarding the possession of a birth certificate may also be the source of erroneous data, since respondents may confuse a birth certificate with a health card or other document.

## LAW LAWS AND POLICIES

Rank	Code	Country	Index Value	
1	AUS	Australia	1.000	
1	NZL	New Zealand	1.000	
3	FJI	Fiji	0.800	
3	KIR	Kiribati	0.800	
3	WSM	Samoa	0.800	
3	VUT	Vanuatu	0.800	
7	PNG	Papua New Guinea	0.600	
7	SLB	Solomon Islands	0.600	
9	MHL	Marshall Islands	0.200	
9	FSM	Micronesia, Federated States	0.200	
9	PLW	Palau	0.200	
9	TON	Tonga	0.200	
-	NRU	Nauru	-	
-	TUV	Tuvalu	-	

LAW1 Equal rights between sons and daughters to inherit assets from parents					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	Yes	1.000	
1	FJI	Fiji	Yes	1.000	
1	KIR	Kiribati	Yes	1.000	
1	FSM	Micronesia, Federated States	Yes	1.000	
1	NZL	New Zealand	Yes	1.000	
1	PNG	Papua New Guinea	Yes	1.000	
1	WSM	Samoa	Yes	1.000	
1	SLB	Solomon Islands	Yes	1.000	
1	VUT	Vanuatu	Yes	1.000	
10	MHL	Marshall Islands	No	0.000	
10	PLW	Palau	No	0.000	
10	TON	Tonga	No	0.000	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 5.1.1: This indicator is related to the domain of managing assets within the Women, Business and Law database. It explores whether there are gender-based differences in the rules of intestate succession for transfer of property from parents to children. The answer is "Yes" when the law recognizes children as heirs to property without any restrictions based on gender. The answer is also "Yes" when aspects related to inheritance fall under a mix of custom, law and judicial precedent and all sources, including CEDAW reports which do not reveal the existence of inequality. The indicator only refers to whether the country has legislation, not the effectiveness of its implementation.

LAW3 Legislation on sexual harassment in employment					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	Yes	1.000	
1	FJI	Fiji	Yes	1.000	
1	KIR	Kiribati	Yes	1.000	
1	NZL	New Zealand	Yes	1.000	
1	WSM	Samoa	Yes	1.000	
6	MHL	Marshall Islands	No	0.000	
6	FSM	Micronesia, Federated States	No	0.000	
6	PLW	Palau	No	0.000	
6	PNG	Papua New Guinea	No	0.000	
6	SLB	Solomon Islands	No	0.000	
6	TON	Tonga	No	0.000	
6	VUT	Vanuatu	No	0.000	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 5.1.1: This indicator is related to legislation in employment and covers provisions on sexual harassment in the workplace or in employment, regardless of whether sanctions apply. The answer is "Yes" if legal provisions specifically protect against sexual harassment in employment, including unwelcome verbal or physical conduct of a sexual nature. The answer is "No" if there is no legislation specifically addressing sexual harassment in employment; or the law addresses harassment in general but makes no reference to acts of a sexual nature or contact; or states only that the employer has a duty to prevent sexual harassment but no provisions prohibit it or provide sanctions or other forms of redress.



### INDICATORS:

Equal rights between sons and daughters to inherit assets from parents

Legislation specifically addressing domestic violence

Legislation on sexual harassment in employment

Laws prohibiting or invalidating child marriage

Laws prohibiting discrimination in access to credit based on gender

LAW2 Legislation specifically addressing domestic violence					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	1.0	1.000	
1	FJI	Fiji	1.0	1.000	
1	KIR	Kiribati	1.0	1.000	
1	MHL	Marshall Islands	1.0	1.000	
1	NZL	New Zealand	1.0	1.000	
1	PLW	Palau	1.0	1.000	
1	PNG	Papua New Guinea	1.0	1.000	
1	WSM	Samoa	1.0	1.000	
1	SLB	Solomon Islands	1.0	1.000	
1	TON	Tonga	1.0	1.000	
1	VUT	Vanuatu	1.0	1.000	
12	FSM	Micronesia, Federated States	0.0	0.000	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 5.1.1: This indicator is related to the domain of marriage within the Women, Business and Law database. The answer is "Yes" if there is legislation addressing domestic violence that includes criminal sanctions or provides for protection orders for domestic violence. Legislation addresses "harassment" that includes physical or mental harm arising from domestic relationships. The answer is "No" if there is no legislation addressing domestic violence, if the domestic violence legislation does not provide for sanctions or protection orders or if only a specific category of women or family member is protected; or there is only a provision that increases penalties for general crimes covered in the criminal code if committed between spouses or within the family.

LAW4 Laws prohibiting or invalidating child marriage					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	Yes	1.000	
1	FJI	Fiji	Yes	1.000	
1	KIR	Kiribati	Yes	1.000	
1	NZL	New Zealand	Yes	1.000	
1	PNG	Papua New Guinea	Yes	1.000	
1	WSM	Samoa	Yes	1.000	
1	SLB	Solomon Islands	Yes	1.000	
1	VUT	Vanuatu	Yes	1.000	
9	MHL	Marshall Islands	No	0.000	
9	FSM	Micronesia, Federated States	No	0.000	
9	PLW	Palau	No	0.000	
9	TON	Tonga	No	0.000	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

Law prohibits or invalidates child or early marriage is whether there are provisions that prevent the marriage of girls, boys, or both before they reach the legal age of marriage or the age of marriage with consent, including, for example, a prohibition on registering the marriage or provisions stating that such a marriage is null and void. Child marriage endangers the life trajectories of girls in multiple ways. Child brides are at greater risk of experiencing a range of poor health outcomes, having children at younger ages when they are not yet ready to do so, dropping out of school, earning less over their lifetimes and living in poverty compared to their peers who marry at later ages. Child brides may also be more likely to experience intimate partner violence, have restricted physical mobility, and limited decisionmaking ability. Most fundamentally, child brides may be disempowered in ways that deprive them of their basic rights to health, education and safety. These dynamics affect not only the girls themselves, but also their children and households, as well as communities and entire societies.

## CC CLIMATE

Rank	Code	Country	Index Value	
1	NRU	Nauru	0.872	
2	NZL	New Zealand	0.756	
3	PLW	Palau	0.754	
4	AUS	Australia	0.677	
5	FSM	Micronesia, Federated State:	0.645	
6	MHL	Marhsall Islands	0.637	
7	WSM	Samoa	0.525	
8	SLB	Solomon Islands	0.518	
9	VUT	Vanuatu	0.515	
10	PNG	Papua New Guinea	0.514	
11	TON	Tonga	0.508	
12	FJI	Fiji	0.505	
13	TUV	Tuvalu	0.466	
14	KIR	Kiribati	0.374	



### INDICATORS:

Number of deaths and missing persons attributed to disasters (per 100,000 population)  
 Number of directly affected persons attributed to disasters per 100,000 population  
 Proportion of population with primary reliance on clean fuels and technology (%)  
 Terrestrial and marine protected areas (% of total territorial area)  
 Carbon dioxide emissions, production emissions per capita (tonnes)

CC1 Number of deaths and missing persons attributed to disasters (per 100,000 population)					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	NZL	New Zealand	0.02	1.0000	
2	AUS	Australia	0.18	0.9996	
3	PNG	Papua New Guinea	0.37	0.9993	
4	TON	Tonga	0.97	0.9981	
5	FJI	Fiji	1.90	0.9962	
6	SLB	Solomon Islands	3.75	0.9925	
7	VUT	Vanuatu	4.06	0.9919	
8	FSM	Micronesia, Federated State:	9.18	0.9816	
9	WSM	Samoa	105.10	0.7898	
-	KIR	Kiribati	-	-	
-	MHL	Marhsall Islands	-	-	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	PLW	Palau	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 13.1.1: This indicator refers to the number of people who died during the disaster, or directly after, as a direct result of the hazardous event, or the number of people whose whereabouts is unknown since the hazardous event. It includes people who are presumed dead, for whom there is no physical evidence such as a body, and for which an official/legal report has been filed with competent authorities. Disaster loss data is greatly influenced by large-scale catastrophic events, which represent important outliers and the indicator is an average of data from the past 10 years.

CC2 Number of directly affected persons attributed to disasters per 100,000 population					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	PNG	Papua New Guinea	3.8	0.9998	
2	AUS	Australia	36.6	0.9985	
3	VUT	Vanuatu	57.0	0.9977	
4	SLB	Solomon Islands	295.2	0.9882	
5	MHL	Marhsall Islands	489.7	0.9804	
6	NZL	New Zealand	668.0	0.9733	
7	PLW	Palau	8664.6	0.6534	
8	FJI	Fiji	9493.2	0.6203	
9	TON	Tonga	21986.1	0.1206	
-	KIR	Kiribati	-	-	
-	FSM	Micronesia, Federated States	-	-	
-	NRU	Nauru	-	-	
-	WSM	Samoa	-	-	
-	TUV	Tuvalu	-	-	

SDG 13.1.1: This indicator includes three elements of i) people who died during the disaster, or directly after, as a direct result of the hazardous event; ii) The number of people whose whereabouts is unknown since the hazardous event. It includes people who are presumed dead, for whom there is no physical evidence such as a body, and for which an official/legal report has been filed with competent authorities; and iii) The number of people who have suffered injury, illness or other health effects; who were evacuated, displaced, relocated or have suffered direct damage to their livelihoods, economic, physical, social, cultural and environmental assets. Indirectly affected are people who have suffered consequences, other than or in addition to direct effects, over time, due to disruption or changes in economy, critical infrastructure, basic services, commerce or work, or social, health and psychological consequences. Disaster loss data is greatly influenced by large-scale catastrophic events, which represent important outliers and the indicator is an average of data from the past 10 years.

CC3 Proportion of population with primary reliance on clean fuels and technology (%)					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	AUS	Australia	97.5	0.9750	
1	NZL	New Zealand	97.5	0.9750	
1	PLW	Palau	97.5	0.9750	
4	NRU	Nauru	90.0	0.9000	
5	MHL	Marhsall Islands	65.0	0.6500	
6	FSM	Micronesia, Federated State:	64.0	0.6400	
7	TON	Tonga	50.0	0.5000	
8	TUV	Tuvalu	43.0	0.4300	
9	WSM	Samoa	35.0	0.3500	
10	FJI	Fiji	28.0	0.2800	
11	SLB	Solomon Islands	9.0	0.0900	
12	PNG	Papua New Guinea	8.0	0.0800	
12	VUT	Vanuatu	8.0	0.0800	
14	KIR	Kiribati	2.5	0.0250	

SDG 7.1.2: Proportion of population with primary reliance on clean fuels and technology is calculated as the number of people using clean fuels and technologies for cooking, heating and lighting divided by total population reporting that any cooking, heating or lighting, expressed as percentage. "Clean" is defined by the emission rate targets and specific fuel recommendations (i.e. against unprocessed coal and kerosene) included in the normative guidance WHO guidelines for indoor air quality: household fuel combustion. Cooking, lighting and heating represent a large share of household energy use across the low- and middle-income countries. For cooking and heating, households typically rely on solid fuels (such as wood, charcoal, biomass) or kerosene paired with inefficient technologies (e.g. open fires, stoves, space heaters or lamps). It is well known that reliance on such inefficient energy for cooking, heating and lighting is associated with high levels of household (indoor) air pollution. See: <https://sdg-tracking-progress.org/indicator/7-1-2-population-with-primary-reliance-on-clean-fuels-and-technology/>

CC4 Terrestrial and marine protected areas (% of total territorial area)					
Rank	Code	Country	Indicator	Normalized Value	
1	PLW	Palau	82.9	0.8290	
2	NZL	New Zealand	30.5	0.3050	
3	AUS	Australia	29.7	0.2970	
4	KIR	Kiribati	11.8	0.1180	
5	TON	Tonga	1.5	0.0150	
6	FJI	Fiji	1.0	0.0100	
7	PNG	Papua New Guinea	0.7	0.0070	
8	MHL	Marhsall Islands	0.3	0.0030	
9	WSM	Samoa	0.2	0.0020	
9	SLB	Solomon Islands	0.2	0.0020	
11	VUT	Vanuatu	0.1	0.0010	
12	FSM	Micronesia, Federated States	0.0	0.0000	
12	TUV	Tuvalu	0.0	0.0000	
-	NRU	Nauru	-	-	

SDG 14.5: This indicator measures the proportion of terrestrial and marine protected areas as a share of the total territorial area, including territorial waters, in a country. Terrestrial protected areas are totally or partially protected areas of at least 1,000 hectares that are designated by national authorities as scientific reserves with limited public access, national parks, natural monuments, nature reserves or wildlife sanctuaries, protected landscapes, and areas managed mainly for sustainable use. Marine protected areas are areas of intertidal or subtidal terrain—and overlying water and associated flora and fauna and historical and cultural features—that have been reserved by law or other effective means to protect part or all of the enclosed environment. Sites protected under local or provincial law are excluded. Protected areas remain the fundamental building blocks of virtually all national and international conservation strategies, supported by governments and international institutions. They provide the core of efforts to protect the world's threatened species and are increasingly recognized as essential providers of ecosystem services and biological resources. See more at: <http://databank.worldbank.org/data/reports.aspx?source=2&type=metadataseries=ER.PTD.TOTL.ZS>



# ANNEX B: SUCCESS STORIES

## PROMOTING THE PREVENTION OF CHILD, EARLY AND FORCED MARRIAGE IN INDONESIA THROUGH DIGITAL ACTIVISM

### Ferny, Youth Coalition for Girls, Indonesia

Ferny, 21 years of age, is playing her part to prevent child, early and forced marriage and unions (CEFMU) through Youth Coalition for Girls (YCG), an organisation that works for the fulfilment of child rights and equality for Indonesian girls. Ending CEFMU in Indonesia is a priority issue in the National Mid-Term Development Plan 2020–2024. The national social and economic survey (Susenas) 2018 showed that one in every nine girls (under the age of 18) was married, and the number of women aged 20–24 who were married before the age of 18 was estimated to be 1,220,900. The prevalence of CEFMU is spread unevenly between provinces of Indonesia, and in 11 out of 34 provinces the rate of CEFMU increased between 2018 and 2019. Although the national rate of CEFMU has been steadily decreasing every year, change is still very slow,<sup>xlii</sup> and Indonesia still ranks eighth in the world for absolute number of CEFMUs.<sup>46</sup>

Ferny has been focused on the campaign to prevent CEFMU and violence against women for the last four years. She has coordinated and joined several initiatives, and this has kept her engaged in efforts to stop CEFMU. Among them are public discussions and knowledge sharing on gender equality; a fundraising campaign selling T-shirts with the hashtag *#IndonesiaTanpaPerkawinanAnak*; online discussions on CEFMU issues; and an online survey of the CEFMU situation in the time of the COVID-19 pandemic.

### Mobilisation as a child and youth advocate

Ferny's serious concern with the CEFMU issue began when she joined a child forum. She first learned about children's issues such as child abuse, CEFMU and human trafficking in the child forum from the facilitator, who happened to be a member of the Plan International's youth advisory panel. When she became a young woman, she felt more concerned about these issues and wanted to contribute more. She looked for a youth organisation that shared her focus and values of gender equality and found YCG. That's where her activism on CEFMU issues started, according to Ferny:

*"I felt my concern raised there, I felt I was part of it, and I did not want any children to experience child abuse or CEFMU. I have not experienced CEFMU myself, but I see around me that the consequences are terrifying. I think the poverty chain will not break while CEFMU still exists and the rate of maternal mortality and [school] drop out will increase."<sup>xliii</sup>*

### Awareness-raising approach to youth advocacy

Ferny believes in the importance of awareness-raising among youth to stop CEFMU. She acknowledged that persuading youth to be aware of CEFMU issues is not easy, especially because CEFMU issues might not seem as relevant as mental health issues to many young people. Most youths are aware of or exposed to mental health issues, but not all of them experience CEFMU, and some may not even be aware that CEFMU is a problem. In response to that situation, Ferny and her friends in YCG initiated an intense online campaign called '16 days of activism for HAKTP (The International Day for the Elimination of Violence against Women)' in November 2020 to build awareness of the CEFMU issue.

<sup>xlii</sup> The rate of child marriage was 11.2% in 2018, 10.8% in 2019 and 10.2% in 2020.

<sup>xliii</sup> Interview with Ferny.

## Online campaign on the prevention of CEFMU for 16HAKTP 2020

YCG conducted this campaign for 16 days, from 18 November to 13 December 2020, on Instagram National YCG (@ycg.id) and the subnational YCG groups (@ycgkotakupang, @ycg.riau), supported by the feminist coalition *Jaringan AKSI* and nongovernmental organisation (NGO) Plan International Indonesia on ‘Hari Anti Kekerasan terhadap Perempuan/ HAKTP’ (The International Day for the Elimination of Violence against Women). The CEFMU issue was selected for this online campaign because, in 2020, a YCG online survey found that the rate of CEFMU had been increasing during the pandemic. The campaign was launched by inviting youth to download pictures and fact sheets about CEFMU from YCG and share in their own Instagram accounts with the hashtag *#IndonesiaTanpaPerkawinanAnak* (Indonesia without Child Marriage).

More than 300 youth joined the WhatsApp group and uploaded information about the prevention and consequences of CEFMU online via Instagram for 16 days consecutively. In total, almost 2,000 Instagram posts were published with the hashtag *#IndonesiaTanpaPerkawinanAnak*, and all content was related to YCG’s Campaign on 16HAKTP.<sup>47</sup> The YCG also invited youth to join the live discussion on YCG’s Instagram in collaboration with subnational YCG groups, such as YCG Kupang and YCG Riau organisations.

### Social media successfully used to reach and mobilise youth

Ferny has intertwined her interest in social media with the gender equality issues she is concerned about. She uses Instagram as her main social media platform for digital activism. For her, Instagram has many useful features for sharing information, such as feed posts, interactive story features, polling, asking opinions and live discussion. She creates content related to gender equality and child protection issues, including CEFMU and mental health; recently, she also advocated as part of the campaign to influence the Government to pass the sexual violence eradication bill (RUU PKS). Although at first, she could not see the impact of her digital activities, after five years of work, Ferny found that social media activism had been appreciated by other youth who noted her posts are informative and insightful.

In the online campaign on the prevention of CEFMU for 16HAKTP 2020, Ferny was very proud to see how YCG could make many people aware of the issue. As of April 2021, there were 13,209 posts with the #16HAKTP hashtag on Instagram, linking to various campaigns from different organisations and individuals.<sup>48</sup> Volunteers were mobilised to publicise the issue on social media, which was zero-cost, as all participants were voluntarily involved. For her, advocating on CEFMU issues is not easy, and having many people give their time to share and post about CEFMU on their social media accounts will open doors to reach more people. The experience of being heard and influencing people is essential for her because it has made her more enthusiastic about continuing to advocate to prevent CEFMU.

*“I was very happy because [...] persuading many people to be aware of the child marriage issue is not an easy thing. I was very happy that many people were willing to make time to share posts on their Instagram! [...] Although it was exhausting, and we were nervous and worried if we made a mistake, the result made me very happy. I was also happy because we did it together. We received a good response as well, and that makes us happier. It motivates us to continue our campaign for preventing child marriage,” says Ferny.<sup>xliv</sup>*

The use of digital technologies and social media for advocacy and to build support for youth activism is even more relevant because of the COVID-19 pandemic. However, despite social media making activism activities easier, Ferny has realised that online interactions are different to offline activities. They require digital literacy and good internet connection. Therefore, the online campaign will be limited in scope as it is only targeted to youth who have mobile phones and good internet connectivity in their areas.

Ferny also acknowledges that there are risks that may arise from creating online content for campaigns to end CEFMU. One of the risks is hoax content on social media platforms, which creates the potential for YCG’s sensitive content to be mislabelled to represent the wrong message. The other risk is people’s reactions, such as questions and protests, especially from specific communities that believe CEFMU is acceptable.

<sup>xliv</sup> Interview with Ferny.

## Personal motivations and attributes of youth advocates

Ferny felt that she could be involved as a youth advocate because she has both strong willpower and privileges. Growing up in a village, Ferny was exposed to situations where there was low awareness of gender equality issues. However, she had better opportunities than other girls to receive a good education and engage in youth activism. Meanwhile, many girls face obstacles to accessing information, and some of them cannot afford the transportation costs associated with joining in such activities. Ferny explains:

*“Youth like me have opportunities because I have willpower and privilege as well as connections. [...] I see that young people around me are not aware of such issues, but I’m different because I’m educated, and my school has enough connection and also opportunity. In the Child Forum, they reimbursed my travel cost so I could go to their headquarters. Some girls do not have access to information. Maybe some other girls do, but they do not have money to travel. It’s difficult for them.”<sup>xlv</sup>*

Ferny also recognises that there are educational and class gaps among youth themselves. When she moved to Jakarta to pursue her degree, she found out that most youth came from prestigious backgrounds and had excellent English skills, which was not the case with her. She thinks that she would not be a youth advocate if she did not have a strong will to learn.

Ferny emphasises that people need to know that youth activism exists and can help prevent CEFMU. While many young people have made efforts to promote gender equality, many youths in rural areas do not have the opportunity to be aware of gender issues because there are no spaces where they can discuss them. By promoting CEFMU prevention on social media, she hopes that more youth can be exposed and interested to join YCG or even follow their activities. She believes that the CEFMU issue needs young people to engage and take action to prevent it.

## Youth networks and collaboration as important factors to enable civic engagement and activism

YCG has extensive networks at the national and subnational levels, and Ferny believes that good collaboration between youth through national and subnational networks was a key strategy in the 16 days of action for the campaign. She also took advantage of her network in various forums and communities, such as *Jaringan AKSI*, a participatory, collaborative network containing many activists, civil society organisations and NGOs that work on intersectional feminist issues, including Plan International Indonesia and the United Nations Children’s Fund. The networks are not only for mobilising youth activism, but also for sharing information about opportunities for youth to join activities on various related topics and issues. Ferny describes the importance of working in youth activist networks:

*“Actually, our friends have helped to popularise [the CEFMU issue] since the beginning. And what makes us succeed is how we utilise our network. We involve youth from other areas as much as we can. [...] Some activists are also involved with other organisations besides YCG. [...] In my opinion, this campaign is booming because we have all collaborated very well, national YCG, YCG Riau and YCG Kupang – and the youth indeed, since we share a common concern, we really have done this together. How we work together, that’s what makes this campaign successful.”<sup>xlvi</sup>*

Collaboration with other stakeholders, such as NGOs and the government, is no less important for advocacy on gender equality. Plan International Indonesia has been involved in capacity building for YCG’s members and contributed funds for an online survey on CEFMU. Ferny said that the Government is rarely directly involved in the YCG campaign activities, but they appreciated it when young people carried out advocacy activities. The YCG members were also invited to join various government activities on gender equality through their civil society and NGO networks. For example, in 2018, Ferny was invited to join the regional-level Asian Youth Forum in South Korea where she talked publicly about the inclusivity of women in the workforce.

<sup>xlv</sup> Interview with Ferny.

<sup>xlvi</sup> Interview with Ferny.



Ferny realises that more and more youth communities are being established with an awareness of gender equality. She hopes that, in the next five years, all of these communities will continue working together and collaborating in a large network. She feels they cannot work alone and need to continue working together to improve gender equality in Indonesia. In her vision, she wants the Government to support youth and involve more of them in the decision-making process so that their interests will be heard. She hopes that the Government can be more responsive in handling cases and strengthening its role in implementing the amendment of the marriage law for a minimum age of marriage.

*“Hopefully, in 10 years, things will get better. [...] As youth, we can work with the Government and are allowed to be involved before the Government makes a decision regarding policy; [...] our thoughts are listened to and taken into consideration. I hope that in the future youth will be invited to be involved more in advocacy,” concludes Ferny.<sup>xlvii</sup>*

## COUNTERING GENDER-BASED VIOLENCE THROUGH EDUCATION AND DIGITAL CAMPAIGNS

### *Khadiza, WeMen View, Bangladesh*

Twenty-four-year-old Khadiza immerses herself in promoting gender equality in Bangladesh by leading WeMen View, a registered voluntary social welfare organisation that aims to counter sexual harassment. The organisation focuses on children and young people and seeks to change pre-existing gender perceptions and develop a vivid understanding of consent. By promoting the importance of understanding gender-based violence, she engages youth in looking at these issues in their own environments and nurtures ideas on how to reduce the incidence of this form of abuse in Bangladesh.

Sexual harassment, intimate partner violence and dowry-related violence are grave concerns in Bangladesh. A 2015 survey found that over 70% of married women and girls in Bangladesh had faced some form of intimate partner abuse. Over 70% of these survivors had never told anyone about what they had been subjected to, and only 3% took legal action.<sup>49</sup> According to the legal aid and human rights organisation *Ain o Salish Kendra*, 201 women reported being harassed, 1,627 women were raped, and 53 were murdered after being raped in 2020.<sup>50</sup> The number of actual cases of abuse is much higher than the number reported. A 2020 Human Rights Watch report found that government response to gender-based violence is inadequate, there is a shortage of shelters and other support services for survivors, and there are barriers to reporting assault or seeking legal recourse.<sup>51</sup> As in many other parts of the world, violence against girls and women in Bangladesh increased during the COVID-19 pandemic.<sup>52</sup>

Khadiza started WeMen View in 2018 with eight youth volunteers who shared the goal of reducing gender-based violence. She started working with the team and then recruited more people in 2019. The primary work of WeMen View is teaching young people about gender roles, personal space, consent, good touch and bad touch, and intervention techniques when witnessing someone getting harassed. In the education of boys and girls, they hope to combat the sexism, rape culture and toxic masculinity that contribute to gender-based violence. WeMen View provides teaching to underprivileged children who mainly study in public primary schools. In 2020, WeMen View had reached more than 1,000 students and teachers all over the greater Dhaka area and had collaborated with more than 10 NGOs.<sup>53</sup>

*“There is a lot of rape and sexual harassment in Bangladesh that girls face every day. You could go ask around anyone, and at least 70–80% would say that yes, they have been at least harassed once in their life. So, what came into my mind was that I want to work with the cause, I want to work with children [...] so that we can protect the future generation,” says Khadiza.<sup>xlviii</sup>*

<sup>xlvii</sup> Interview with Ferny.

<sup>xlviii</sup> Interview with Khadiza.

## Addressing taboo issues in a conservative society

Working on gender-based violence issues in Bangladesh is not an easy road for Khadiza and her team in WeMen View. They put forward some ideas on gender issues that are controversial in conservative parts of society. At first, it was difficult for the organisation to get access to schools because gender-based violence is classified as sensitive. When she told schools that WeMen View wanted to teach the students about good touch and bad touch, consent and personal space, some teachers were scared to raise these topics because they knew parents might have issues with it.

*“There are religious issues and conservativeness in our society. When some people get to know that we are working with issues around body autonomy, [...] they might even take their children out of school. So, it’s very risky. It was very hard for us to get access with proper consent and permission,” says Khadiza.<sup>xlix</sup>*

Khadiza understands that there are risks associated with activism on gender issues. Potential risks include threats, both to female activists and their family members, and this might make people too scared to join the movement.

*“Whenever we start working in the field of gender, we know that we could get killed, but it’s fine. What we actually fear is the danger to our family members and friends. [...] With some volunteers that I work with, I try not to engage them in too controversial projects because a lot of them are under 18, and I cannot really put them at risk,” says Khadiza.<sup>i</sup>*

## Stories on education activities

In WeMen View teaching activities, Khadiza acknowledges the importance of building rapport with the students and the roles of school teachers in supporting gender-focused education. She believes that the key to successfully teaching gender-related material is to make the students comfortable through different activities before the workshops. In her experience, teachers also contribute a lot because students feel safer around them.

Khadiza is motivated when she sees the impact of her work on children’s lives. In her journey, she has been influenced by stories from girls and boys who have benefitted from the WeMen View’s teaching projects.

*“There were moments where [WeMen View] taught good and bad touch, and a girl stood up and said, ‘Does that mean that what was happening to me all these days was actually wrong, but I did not know anything?’ The child was being harassed almost every day, and she did not understand that. So, she cried and thanked us and said that ‘Now I know what I had been going through, and I did not realise that before’.”<sup>li</sup>*

Speaking of another case, Khadiza recalled:

*“A boy started asking very specific questions, like, ‘What if someone tries to pin me down inside my room, what do I do then?’ So, after that we answered his questions, he told us that he had been facing a lot of issues, but he did not know that these were wrong, and now he knows who to talk to and how to talk and who to go to when he faces this kind of abuse.”<sup>lii</sup>*

<sup>xlix</sup> Interview with Khadiza.

<sup>i</sup> Interview with Khadiza

<sup>li</sup> Interview with Khadiza

<sup>lii</sup> Interview with Khadiza

Based on experiences like these, Khadiza has become convinced that they are on the right track in the education project. Many children and youth need their support and working in the issue of gender-based violence is extremely necessary.

*“So, this is when I particularly felt very satisfied that yes, what we are doing is correct. And these were moments where. [...] I felt really satisfied that [...] what we are doing is very much needed because these children do not even know that they’re being harassed; they need to know this, and they need to be aware of what they can do about it.”<sup>liii</sup>*

## Digital campaign as an approach in mobilising youth to join the movement

Social media is being used by many youth movements, and Khadiza explained that WeMen View also uses digital campaigns to attract people by sharing information on social media about their organisation’s activities and actions. For her, social media plays a huge role in connecting people who think the same way as WeMen View, and in creating platforms for girls, women and activists who believe they can contribute to the movement for gender equality.

As the use of social media has increased in Bangladesh, Khadiza has begun to see her personal activities on social media as being about more than her personal interests. Social media is also a valuable tool to influence people and attract volunteers to join the movement against gender-based violence. Khadiza uses Facebook to share her work because she knows that many people will be inspired or interested in eliminating gender-based violence. With around 1,500 followers on Facebook, she frequently posts articles about gender equality, prevention of sexual violence and digital security, shares referral services contacts details and promotes opportunities for youth to join activism. She believes that social media will play a crucial role in bringing everyone together in this journey.

*“Because it’s a voluntary organisation, it’s really hard to get volunteers who will dedicatedly work for the cause without any remuneration. So it was really crucial for me to prove to them that this could be a good thing and the causes that we work on could actually impact a lot of people. So that’s one of the biggest ways I use social media. I usually showcase a lot of my work to encourage others to also do this work.”<sup>liv</sup>*

WeMen View recently conducted an awareness-raising event called ‘Digital Utopia: An Ideal Online World for Girls’ co-hosted by Plan International Bangladesh. This project shared stories about gender-based violence through a mobile short movie competition to put forward a female-centric vision of an ideal, safe and secure online world for women. According to a recent report in the *Daily Star*, 80% of the victims of cyberbullying in Bangladesh are adolescent girls and women in their early twenties.<sup>54</sup>

## Shifting the focus from children to youth due to COVID-19 pandemic impact

In the time of the COVID-19 pandemic, WeMen View had to change its entire advocacy plan. Before the pandemic, the primary focus of WeMen View was on face-to-face educational activities with children. As the pandemic hit Bangladesh, Khadiza and her team moved to online platforms, worked more closely with youth and added relief projects to support children and communities in dealing with the pandemic.

To date, WeMen View has educated around 50 youth volunteers on gender issues, including different tiers of gender-based violence, how these take place and how they can be changed. In conjunction with their advocacy using social media, they have partnered with many organisations during the COVID-19 pandemic for different projects, including providing humanitarian assistance and other advocacy activities. As individuals, families and communities were suffering after the lockdown, WeMen View contributed by providing food, including for transgender communities and vulnerable girls and their families.

<sup>liii</sup> Interview with Khadiza

<sup>liv</sup> Interview with Khadiza.



## Digital Utopia: An Ideal Online World for Girls

- Taking a cue from Plan International Bangladesh's theme of 'Online Freedom – Digital Safety and Security for Girls' for the 2020 Equality Awards, WeMen View arranged the 'Digital Utopia' event.
- It was an all-girl project – the judges were girls; the event was organised by girls, and it was for girls.
- On the interactive platform of 'Digital Utopia', short films on themes about women's freedom, safety and security in the digital realm were showcased and discussed.
- The focus was on what an ideal, safe and secure online world would look like for Bangladeshi girls and women.
- The event raised awareness about digital security for girls and young women.
- Through this competition, the organisers promoted the work that women filmmakers and cinematographers are doing in Bangladesh so that more girls are encouraged to become cinematographers and filmmakers.
- Anonymous real stories of girls and women facing sexual harassment in public places were also shared on the platform.

## Creating a safer environment and support services for future activism

For future activism, Khadiza emphasised the importance of a safe environment and support services for youth activists. She felt that girls and young people are highly motivated to create gender equality, and they need protection.

To support the youth gender activists, the Government needs to provide a safer environment to enable them to voice their opinions and address the threats they receive from their opponents. In Bangladesh, women and girls frequently do not trust the police to respond appropriately to their complaints and provide protection, and they fear that contacting the police will place them at further risk of abuse.<sup>55</sup> The Government needs to give practical support to youth activists through law enforcement agencies, and these agencies need to let the public know that they are aware of gender issues and are working on creating change.

There is also a controversial digital security act in Bangladesh that some activists believe restricts their freedom and their ability to express their opinions. The Government should consider changes to the digital security act to ensure the safety of youth activists working on gender issues.

*"If these are not taken care of, if these policies are not changed, and if they cannot provide a safer environment for us, eventually, many great movements will die down because of the safety issues," says Khadiza.<sup>iv</sup>*

The provision of mental health support services for youth activists is no less crucial. Many youth activists experience mental health issues, especially those working to support victims of gender-based violence. They could be referred to legal aid organisations and other relevant organisations or counsellors – even government services. However, WeMen View does not have dedicated funding for mental health support services. Gender activists need professional mental health support to stay healthy and keep working.

## Expand the network to engage stakeholders

A key enabler for future activism is continuous support from key stakeholders. So far, dialogue sessions between gender activists and the Government have rarely happened. Khadiza thinks that having more dialogue sessions where they can work together is very important because they would enable the Government to gain more understanding of what is needed to support gender equality and reduce gender-based violence. Currently, she is also working on expanding the network with the Government and other stakeholders in the hope they can work together with WeMen View in the future.

<sup>iv</sup> Interview with Khadiza.

*“I expect the adults, or the older generation, to not stop us in voicing our opinion, not bully us and not harass us. Instead, in the future, they will come with us to support these [gender equality] causes.”<sup>lv</sup>*

Five to 10 years from now, Khadiza expects youth and the next generation of children to be sensitised about gender issues. She wants to see youth activists bring about change, and she wants them to keep talking about consent, harassment and policies that should be changed. She also hopes to see comprehensive sexual education and more measures to ensure gender equality.

## EMPOWERING GIRLS AND YOUNG WOMEN IN TONGA TO STAND UP AND TAKE ACTION FOR CHANGE

### *Anamalia, Talitha Project, Tonga*

For 18-year-old Anamalia, the absence of girls and women in decision-making processes at home, in the community and in her country motivates her to support and empower girls and young women in Tonga.

Anamalia is a youth mentor with the Talitha Project, an NGO committed to empowering girls and young women aged 10–24 years to make informed decisions through informal education, life skills and development programmes. In 2017, Anamalia started as a participant in Talitha programmes, and now she is helping to inform and shape the programme for girls, particularly in the areas of empowerment and leadership – issues she is very passionate about.

In the Pacific, traditional leadership and education systems tend to prescribe more traditional roles to women as homemakers and/or participants in more feminised sectors such as teaching and nursing. Generally, limited attention is given to educating young women regarding their potential as leaders and the opportunities for them to participate in decision-making. High rates of gender-based violence in the Pacific region, although they do not impact all women equally, affect young women’s potential to engage in leadership and decision-making.<sup>56</sup>

### **The Talitha Project provides a platform to build girls’ activism and agency**

Through her affiliation with the Talitha Project, Anamalia has been able to participate in forums and workshops in Tonga and other Pacific Island countries, establishing herself in the Pacific feminist movement as a genuine and passionate advocate.

*“[Anamalia] is a great advocate, very articulate but very genuine. She is not a performer. It’s just what she has to say,” shared a sector specialist.<sup>lvii</sup>*

Anamalia has also been invited to youth engagement activities by international NGOs such as Habitat for Humanity New Zealand and CARE Australia. She has also had the opportunity to engage with regional programmes such as the Pacific Girl programme (an initiative under the Australian Aid Program’s Pacific Women Shaping Pacific Development programme), in which she was able to work alongside girls from Papua New Guinea Equal Playing Field, the Fiji Women’s Rights Movement, CARE Vanuatu and other organisations.

Being invited to participate in national and regional forums and workshops has enabled Anamalia to use these platforms to advocate girl’s empowerment and leadership.

<sup>lv</sup> Interview with Khadiza.

<sup>lvii</sup> Interview with a sector-based expert.

*"In these places, I am able to speak and channel discussions about how important it is for women to be in leadership, and how important it is to create a society that young girls and women feel safe to live in,"<sup>lviii</sup> says Anamalia.*

The Talitha Project provides a platform for girls and young women in Tonga to discuss and advocate about issues affecting girls and women nationally and internationally such as domestic violence, cyberbullying and sexual and reproductive health. In 2018, the Talitha Project started an initiative in partnership with telecommunications company Digicel Tonga to address cyberbullying. They held a competition for high schools to compile one-minute videos shared on Talitha's Facebook page as a means to raise awareness about cyberbullying. Anamalia featured in Tonga High School's submission to the competition as the lead singer for the advocacy song called 'Think Again', which she composed with friends.

Talitha Project also focuses on the empowerment of girls and young women to take up leadership opportunities by building their knowledge, confidence and skills. In an interview featured in a news article on the Tonga Broadcasting Commission website, Anamalia talks about her experience at a Regional Housing Forum she attended in 2019:

*"I did not have formal information or statistics, but I spoke from the heart by emphasising that we youth should be included in all decision-making regarding housing because it is our future that we are talking about, and we do not want to be left out because our voices and our opinions do matter in this situation. [...] I also want to emphasise to youth that if they want to see a change in their country, if they want to see a change in their communities, they have to shape that change – they cannot just sit around and always expect and rely on the older generations to do the work to make the change that they want to see. [...] You have to start now because this is the time to make the change, and you have to be the change because you are the solution to all the issues in our community and in our society."<sup>lv</sup>*

Engaging with men and boys is an important component of programming which aims to end violence against women. Through the Talitha Project's *Front Row Against Violence* programme, rugby tournaments are held for girls and boys. Participation of both girls and boys is controversial since rugby and touch rugby are often considered men's sports. Anamalia is supporting the implementation of activities in this programme to encourage a positive shift in attitudes and behaviours.

In 2019, with the support of Habitat for Humanity New Zealand, Anamalia travelled to Thailand to be on a panel in a Housing Forum. Anamalia has used platforms such as this to represent, advocate and raise awareness on the problems girls and young women face. Anamalia considers these experiences a high point in her activism:

*"Although being so nervous, I spoke on the topic, how I think governments, stakeholders and everyone should come together and work together. After my speech, I got a standing ovation. I think that point was probably the highest point for me because it really showed me that I am doing something, [...] that I'm being acknowledged, and the message that I'm trying to get across is being acknowledged by all these people in government and people who are way older than me, who have all these leadership positions. But also – every time I'm at forums, I am able to represent all the young people like me in addressing issues such as climate change or domestic violence. And I think every time that I'm up on that stage, I always take it to heart, [...] the thousand other people that I'm representing. And that, for me, is always the highest point."<sup>lvi</sup>*

In 2020, Anamalia attended the global gathering of the National Child Rights Committee on the Rights of the Child held in Samoa, representing the Pacific Girl programme. It was a historic occasion, given it was the first time any of the United Nations treaty body had held a regional session outside of Geneva or New York.

<sup>lviii</sup> Interview with Anamalia.

<sup>lv</sup> Interview with Anamalia.



Anamalia shared her perspective on the lived realities of children in the Pacific region and the issue of violence against children. She called for actions to prevent bullying, domestic violence, economic violence and sexual violence towards children. Anamalia concluded her speech by encouraging Pacific children to take action:

*“We cannot always rely on our leaders, elders and parents to do everything for us; we Pasifika children can be leaders in our own homes, schools and society. Our leaders and elders have done so much for us; now it’s time for us to do ours.”<sup>58</sup>*

## Supporting and mentoring young activists

Leaders in NGOs can provide mentoring for youth activists to hone their decision-making and leadership skills. This foundation in leadership skills is further enhanced by the opportunities young leaders have to participate in various networks. When girls and young women engage in activities that they define and control, this helps them take on responsibilities, gain vital skills and acquire the confidence necessary to become empowered and successful activists. Anamalia draws inspiration and empowerment from her family and from the Director of the Talitha Project, Vanessa Heleta.

*“She really encourages me when I’m given opportunities such as [representing youth at an international forum], to really use the opportunity to do the best I can in expressing my opinions as well as representing the voices of others behind me,”<sup>59</sup> says Anamalia.*

CARE Australia supported Anamalia’s growth as an activist and creates opportunities to ensure the voices of young Pacific women are heard. In 2020, Anamalia was given the opportunity by CARE Australia to use its social media accounts to advocate on the issue of the climate crisis and its impact on young people in Tonga. To support Anamalia with this online activism, CARE Australia provided her with internet connectivity. Internet access problems are a barrier to online activism that Anamalia highlighted, as connectivity is not reliable in Tonga. She was also provided access to CARE Australia’s social media accounts to post stories. She was offered technical support to identify the type of language that should be used online and understand how to use social media effectively in her advocacy work. Anamalia believes this type of support was crucial for her as social media is an important platform in advocacy because most people communicate and engage on social media networking sites. Especially for young people, social media enables wider reach.

## Continuing activism for gender equality despite the COVID-19 pandemic

The COVID-19 pandemic has compounded the challenges faced by adolescent girls in Tonga and other Pacific Island countries. Key issues identified in the ‘Pacific Girl Speak Out: COVID-19 Survey’ included disrupted education, increased anxiety and loneliness, feeling isolated and unsafe at home and online, increased care burdens at home and disrupted access to menstrual hygiene and sexual health services.<sup>59</sup>

For Anamalia, COVID-19 brought a lot of challenges to the Talitha Project and the activities she is involved in. Due to the government-sanctioned lockdown at 8 pm each night to prevent the spread of COVID-19, she was not able to conduct many activities after school. She was also restricted from travelling, and due to challenges in accessing the internet, she could not always attend workshops and forums that shifted from being face-to-face to online. These challenges with internet connectivity are commonly experienced in Tonga, especially in rural areas, and may be a barrier to activist networking.

Despite these challenges, Anamalia and other youth activists have continued their work during 2020 and 2021, and their voices promoting gender equality and girls’ rights have not been stifled.

## Working together for gender equality

There has been positive progress in recent decades in advancing gender equality, but there are still barriers faced by girls, women and gender and sexual minorities. For Anamalia, culture is still a barrier to advancing gender equality in Tonga, and her vision for the future is that everyone will work together to advance gender equality:

<sup>59</sup> Interview with Anamalia.

*"I feel like there's very small opportunities out there for girls to really speak. I hope that our culture, in the next five to 10 years' time, would not be one of the biggest barriers, as it is now, because one of the biggest barriers to advocating in gender equality is culture. We have a rich culture here in Tonga that identifies males as decision-makers in everything. So, that is a dream for the future, that Government and everyone, our communities, would work together to help break that barrier down. But just to get everyone to work together – that is my dream for the future."<sup>ixi</sup>*

## TAKING IT TO THE STREETS: FIGHTING STREET AND SEXUAL HARASSMENT THROUGH A GROUND-BREAKING, INTERACTIVE CITY SAFETY MAP

### **Alice, Plan International Australia's Youth Activist Series alumni, Australia**

As a child, 24-year-old Alice says she was always inspired and empowered by the women in her life and the trailblazers throughout history who had bravely and publicly shared their stories in the fight for gender equality. But from a young age, she had also been acutely aware of the barriers she faced because she was a girl. While fighting for social change and justice had always been important to her, it was while studying at university in 2018 – when she joined Plan International Australia's Youth Activist Series (YAS) – that she says her activism was truly ignited.

*"I had read about the YAS in a newsletter and immediately felt this was an amazing opportunity. I did not expect to get into the programme, but I did. At our introduction and training session, we were told the first advocacy campaign we would work on would be around street harassment. This was incredibly exciting for me and something I felt very strongly about... street harassment is a particular issue in regard to gender inequality that is really visceral. I had never actually felt safe walking home, ever – both as a child and now as an adult. It was always something in the back of my mind. So, the campaign was something I really jumped on, and I felt really passionate about pushing for real, tangible change," she says.*

Involving activists aged between 16 and 24, Plan International Australia's YAS is a 12-month leadership development programme committed to creating long-lasting social change and fighting for equality, human rights and the environment. Throughout the year, the youth activists learn essential activism and leadership skills and get involved in advocacy and campaigning, media and public speaking, and collective action. The YAS are fearless, powerful and feminist, with up to 10 activists taking part each year since the programme began more than five years ago. Since 2020, the programme has been funded by The Body Shop, an organisation with deep activist roots and strong values around empowering young women.

Over the years, the YAS have achieved incredible things. In 2020, alongside Plan International's youth leaders in Viet Nam, the youth activists led research into the challenges faced by girls, young women and non-binary people because of COVID-19. Not only did they delve into the issues that COVID-19 exposed in our systems, but they also highlighted young people's dreams and solutions for a 'better normal' – a just, equitable and sustainable future for all. They then presented their report 'A Better Normal: Girls Call for a Revolutionary Reset' and their recommendations to the United Nations General Assembly – calling on global leaders to centre youth in the recovery process.

Every International Day of The Girl, YAS also partake in 'share the mic' opportunities, where young people consult with leaders and decision-makers and stage 'takeovers' of major Australian media outlets to bring youth experiences and voices to the forefront. In 2020, the youth activists spoke to Instagram, Facebook,

<sup>ixi</sup> Interview with Anamalia.

TikTok and Twitter to demand commitments from social media platforms to create safe and empowering spaces for girls and young women online.

When Alice took part in the programme in 2018, she and her fellow YAS were instrumental in co-designing Plan International Australia's ground-breaking Free to Be crowd-mapping tool, rallying participation in the research and adding girls' voices to the national conversation about their right to live safely in their cities. Advocating girls and young women's safety, the YAS engaged with numerous power holders and stakeholders to push for change and implement the recommendations they wanted to see from the accompanying Unsafe in the City report.

Free to Be formed part of Plan International Australia's global Safer Cities programme, which is supported by the Australian Government through the Australian NGO Cooperation Program. For the first time in history, there are more people living in cities than in rural areas. Every month, five million people move to cities – and by 2030, around 700 million girls will be living in these urban environments. Yet, the world's cities are not safe for girls. All over the globe, women and girls face street harassment every day and are made to feel uncomfortable in public spaces. Ongoing Plan International Australia research since 2016 has revealed that 96% of adolescent girls do not feel safe in Delhi; 45% of girls have reported sexual harassment when using public transport in Kampala; and just 2.2% of girls say they feel safe in public spaces in Lima. In Sydney, 90% of young women felt unsafe at night time.

Safer Cities helps to ensure that girls can access and feel safe in public spaces, that they can move around their cities independently and participate meaningfully in the decisions being made about their cities. To make this happen, Plan International works with young people around the world to (1) help them influence governments and policymakers to make city services safer and laws more inclusive, (2) work with their families and communities to create an environment that promotes girls' safety and inclusion, (3) support them in creating the change they want to see in their cities and (4) give them the opportunity to participate in meaningful decision-making. From girl-led safety walks, to assessing city services and creating tools such as Free to Be, Safer Cities activities and resources have been created to be easily adapted to suit cities and countries around the world.

Free to Be is an interactive digital online map that allows girls to share areas where they do and do not feel safe in their cities. The project was implemented in five cities around the world – Sydney, Lima, Kampala, Delhi and Madrid – and captured clear and powerful data on the safety and inclusion of girls and young women for the first time ever, providing valuable evidence of the harassment in public spaces. Using this data, the YAS were able to lobby and influence community leaders, governments and transport bodies, campaign for policy and practice change and, more widely, challenge attitudes and behaviours towards women and girls, to make cities safer for everyone.

### **Alice's YAS journey: "Talk to every decision-maker, regardless of who they are, as a human"**

Girls and young women have been speaking out about street harassment for years, but the evidence base needed to help decision-makers understand and respond to the issue has been lacking. Following a pilot of Free to Be in Melbourne in 2016, in 2018, Plan International Australia and the YAS rolled out an improved version of the crowd-mapping tool in five cities across five continents.

As one of their major campaigns for the year, the 2018 YAS helped co-design the map with Monash University's XYX lab and were critical to its user experience. They were also heavily involved in advocacy for the Free to Be campaign, inviting young women and girls in all their diversities to tag where they felt happy, sad, safe and unsafe in the cities. By the time the tool officially launched, over 21,000 girls had already reported the areas in their cities where they felt safe and unsafe. In total, 2,083 pins were dropped on spots of the Sydney map, of which 25% denoted good experiences (516) and 75% bad (1,567).

*"We went to around 20 stakeholder sessions, where we shared our experiences as girls and young women in Sydney, communicating the need for a tool like Free to Be to make lasting change. Once the Free to Be map was closed for submissions, we made speeches to decision-makers outlining the results. One of the most poignant tools we used were 'girls' walks', in which decision-makers were able to walk in our shoes around Sydney, so we could show them how and why so many girls feel unsafe on a daily basis."*



Following the release of the research findings on International Day of the Girl (11 October) in 2018, Alice and her YAS peers advocated with the Greater Sydney Commission, NSW transport authorities and other key organisations to implement the recommendations. They met with senior decision-makers such as Lucy Turnbull, the Chief Commissioner for the Greater Sydney Commission. In response to this, on International Women's Day 2020, the Greater Sydney Commission, in collaboration with Transport for NSW and the Committee for Sydney, launched the Greater Sydney Women's Safety Charter, built on Free to Be's ground-breaking research on girls' experiences as they move around cities. Alice was the keynote speaker at the launch of the Charter.

*"One key thing I learned was to talk to every decision-maker, regardless of who they are, as a human. They are people, and if you connect with them on a human level and appeal to their inherent desire to make the world a better place, I found it to be very effective. I also think there is a lot of power in being young and, in a way, naïve: I did not always know who a lot of the decision-makers were at the time! That helped me speak to them as normal people and in quite a casual way, but now that I am working in Government and understand their gravity and power much more deeply, I find it much more intimidating."*

Alice also believes the impact Free to Be had on the wider Australian public was significant. When launched, Free to Be and the Unsafe in the City report received 125 reports across print and broadcast, reaching an audience of over three million, covered across high-profile media outlets such as the ABC, Al Jazeera, Buzzfeed, Guardian, Mamamia, Marie Claire, News.com, SMH, SBS and The Project Fairfax newspapers.

*"To the public, I think that Free to Be showed the problem [of street harassment] at the scale that it needed to be discussed at. We often think of street harassment as a one-off thing, especially for people who do not experience it the same way that women and particularly young women do. So, they might not have realised the scale of the issue before we brought it to light. Critically, the map simply showed that young women just do not feel safe. And it does not matter where it is, it's just the experience of being a young woman, and it is pervasive."*

Alice says that Free to Be made a powerful statement to decision-makers because it conveyed the issue collectively, and in a very strong, visual and unique way. For young women, she thinks it was invaluable because it validated their experiences.

*"Importantly, I think boys and men and people who do not experience street harassment were finally able to realise the scale and the issue by seeing the map. A lot of these people in my life were really blown away by the findings and the data, and especially the findings that young women would stop doing very simple things because they were scared of being harassed. The fact the girls, women and gender-diverse people do not have the same opportunity to move around space and the city the way boys and men do was finally brought to light in a way that one conversation cannot really achieve. While I still think we have a lot of work to do, to talk about the issue of women's safety, Free to Be was definitely a step in the right direction."*

## Highs and lows: navigating the public side of youth activism

When the Free to Be map and Unsafe in the City report was released, the YAS had the opportunity to communicate the issue and their stories of harassment to encourage other girls and women to use the map. Alice says this was a 'double-edged sword': while it was empowering to tell her story to the media and the world, she felt her story was sometimes taken away from her. Alice appeared in numerous primetime television and broadcast interviews and penned several opinion pieces for mainstream newspapers and magazines.

*"We were one of the first movements in recent years to talk about street harassment. And it was quite divisive in the media: we were getting a lot of negative attention, particularly from a lot of undesirable parts of the internet, and trolling. I always felt happy to tell my story, but it was very challenging to know that the public then had their own opinions on whether your story was legitimate. My name went from being associate with 'a young women who is helping create change' to 'Alice Rummery: she says she has been assaulted, do you believe her?' I wrote opinion pieces and had far-right commentators saying awful things about me. But this became a big learning moment for me too."*

Alice says that one of the hardest parts of being an activist is the abuse you can encounter when advocating on a public level. She is still emotionally exhausted from her experience and says it can be hard to continuously talk about women's safety because it can take her back to a time she felt vulnerable. At the same time, she says that knowing her advocacy made such an impact and that decision-makers did and continue to do something about the issue makes it all worth it.

*"I hope that, in any little way, us YAS talking about street harassment have made it easier for other girls and women to talk about their experiences and made the world more aware that it is legitimate. I see wonderful people like Chanel Contos, Brittany Higgins and everyone who has come out around the allegations of harassment and assaults in Parliament, and I look up to them and think they are so brave; I am really glad we can all do that."*

Alice's advice to fellow youth activists is to "not let the media paint you as a victim." She says it is important to stand your ground and ensure you are framed as "a girl making a difference" rather than someone who had certain experiences. She advises to steer clear of any journalists who are making you a subject of their story.

The opportunity Alice had to present with her YAS peers to decision-makers and be positioned as an expert was particularly empowering, she says:

*"Young women are the experts at being young women, and if you want the advice or perspective of a young women, you need to put them in the seat as that expert. Being asked questions by senior power holders and people I had looked up to for a long time in Government or politics was such an emboldening situation. Then to have them actually do something about it... that was really wonderful. When the Women's Safety Charter was launched, the YAS and Plan International Australia were so often mentioned, and that was incredible."*

## Coming full circle

Three years after her involvement in the YAS, Free to Be still plays an important part in Alice's life. As an alumni of the University of Technology Sydney (UTS) – a signatory of the Women's Safety Charter – she was involved in implementing the charter at the education institution. Upon graduating, Alice now works at the NSW Department of Planning Industry and Environment, where on top of her day-to-day climate change and sustainability work, she also plays a key role in implementing the Women's Safety Charter with the Secretary of the Department. Her activism and career have now come 'full circle'.

*"I think a lot of times, young people do not realise the impact they can have on decision-makers. If you think about it, we are literally the juxtaposition – especially young women from diverse backgrounds – of the traditional power holders. So, when you hear a young woman speak up to an audience and explain something confidently, it really stands out to everyone in the room. I have seen the impact that young women and girls from the YAS have had on decision-making, and I think we are making incredible waves."*

*“The YAS has led me to where I am today. These were experiences and opportunities I never would have had otherwise; the fact that I can say hands-down that myself and the other YAS have helped make a change in society is probably one of the things I am most proud of in my whole life, and it definitely has instilled a sense of purpose in me. I have also created a name for myself in this space and people seem to listen to the things I have to say now which is incredible. My youth activism certainly helped me to get to where I am now*

## Free to Be

- Free to Be is a crowd-mapping tool that was developed in collaboration with CrowdSpot, Monash University’s XYXY Lab and, crucially, young women.
- Free To Be is a platform where the real stories of women can be unearthed and taken to people in positions of power to advocate change. The interactive map invited girls and women to drop pins – happy or sad – on places they love, avoid, feel safe in and those that can be improved.
- Launched on IDG in 2018, Free to Be enabled young women in Sydney, Delhi, Kampala, Lima and Madrid to identify and share public spaces that make them feel uneasy and scared, or happy and safe. It has empowered young women in these cities to call out unsafe experiences and geographically identify spaces where change needs to occur.
- As a result of advocacy by Plan International’s youth activists, the Greater Sydney Commission, Transport for NSW and the Committee for Sydney announced the development of the Women’s Safety Charter, to be built on Free to Be’s ground-breaking research on girls’ experiences as they move around cities.
- To address the research recommendations, Sydney’s charter goes beyond international initiatives like London’s Night Safety Charter by acknowledging that harassment and abuse do not just happen at night, focusing on improved reporting processes and establishing mechanisms for ongoing data collection to build understanding of the issue.
- Directly after the Charter launch, Transport for NSW threw its weight behind it by announcing the ‘Safety After Dark’ Innovation Challenge to find new and effective ways to combat the problem of harassment on public transport.



# ANNEX C: RESEARCH METHODOLOGY

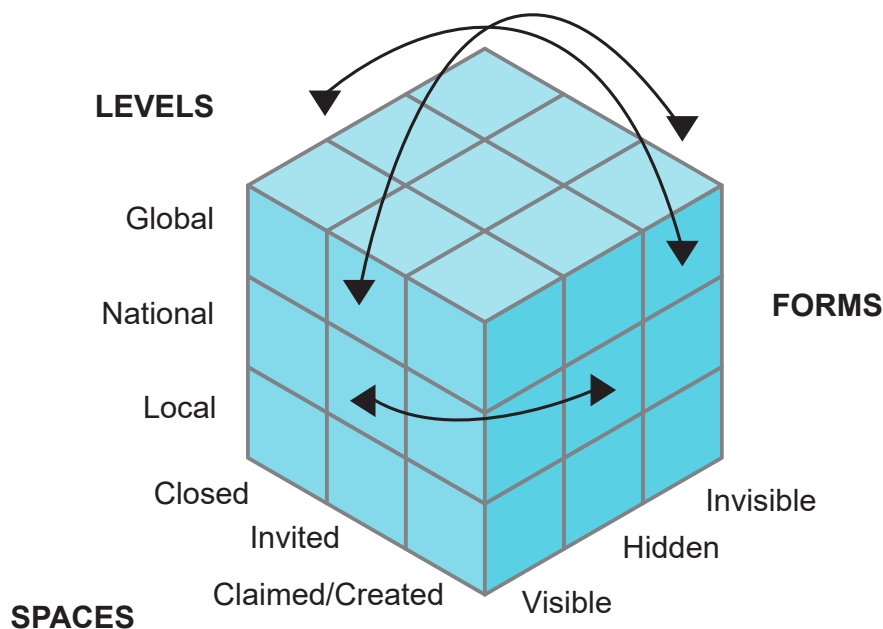
## RESEARCH QUESTIONS

The following key questions helped to guide the research:

1. What are the enabling and constraining factors that affect how adolescent girls and young women across Asia and the Pacific develop and demonstrate leadership capabilities?
2. What are the emerging trends and issues for advocacy on gender transformation and social inclusion by girls and young women in the Asia-Pacific region?
3. What forms of support can better enable future civic engagement and activism by girls and young women in Asia and the Pacific?
4. How have girls and young women in the region used digital technologies and social media in civic engagement and activism and how might they use these tools in the future?
5. How have national governments responded to the rise in youth activism for gender equality and inclusive societies in the Asia-Pacific region and how might positive government responses be enabled in the future?

## CONCEPTUAL FRAMEWORKS

### *Research on girls' civic engagement and activism for gender equality*



**FIGURE 1:** The 'power cube': the levels, spaces and forms of power (Gaventa, 2006).

The research on girls' civic engagement and activism for gender equality in the Asia-Pacific region was qualitative and drew on both primary and secondary data. It employed four different methods: a desk review of publications from sector-based and academic literature; interviews with selected female youth activists and sector-based experts; and four stories of success (see Annex B) and social media listening, with a focus on female youth advocates.

The following key conceptual frameworks guided the research.

**Appreciative inquiry**<sup>60</sup> provided an overarching framework to guide research, data collection and analysis tools. Appreciative inquiry aimed to reveal what is working well and identify enablers of these 'highpoints' as a means of creating constructive change.

**Power cubes** provided an analytical framework to analyse the research participants' responses and guide the document review. Plan International used the power cube framework<sup>61</sup> to assess the different types of activism girls and young women are employing. The framework also determined how such activism represents different forms of civic engagement and connects with decision-making processes.

The cube employs multiple dimensions and acts as a framework for analysing the spaces, places and forms of power, as well as their interrelationships, as illustrated in Figure 1. Findings related to the power cube are provided in Section 3.

## DEVELOPMENTS OF THE ASIA AND PACIFIC GIRLS' LEADERSHIP INDEXES

In addition to desk reviews and interviews, the research included the update of the Asia Girls Leadership Index (GLI) and the development of the Pacific GLI. Below is a summary of the methodological approach used to develop both Indexes. For further details on the methodological notes of both Indexes, please visit the [Asia Girls' Leadership Index Technical Notes](#) and the [Pacific Girls' Leadership Index Technical Notes](#).

- 1. Selection of indicators and data population:** Indicator selection was based on the Plan International Girls' Leadership Research Framework, which outlined domains and potential indicators. The framework informed a scan of global databases to compile complete data sets on each proposed indicator. Indicators were drawn from internationally recognised online databases, with a focus on the Sustainable Development Goal (SDG) indicators, in order to support regular updates of the Indexes.
- 2. Normalisation:** The research team conducted a normalisation process to account for the different measurement units of each indicator. This process resulted in unitless indicators with values between 0 and 1. The team undertook a second process to transform all indicators into 'positive' values.
- 3. Generation of the domain indexes:** The team obtained the domain indexes by averaging the normalised positive indicators in each domain. Equal weights were assigned for each indicator within all domains.
- 4. Aggregation of the domain indexes to produce the overall index:** The team obtained the overall index by averaging the seven individual domain indexes in the Pacific GLI and six individual domain indexes in the Asia GLI.
- 5. Computation of regional indexes (only for the Asia GLI):** The research team computed the regional indexes (ASEAN and SAARC) by obtaining the weighted mean of the normalised indexes and aggregating the indexes by the unweighted mean. The populations of girls aged 10–19 in each country were used as weights.

## ADJUSTMENTS OF THE ASIA GIRLS' LEADERSHIP INDEX FROM 2019 TO 2021

In 2019, the first Asia Index was constructed using the available data at the time. In 2021, after the development of the follow-up Pacific Index, it was discovered that several of the original indicator values had been adjusted or re-estimated by the source (e.g., the United Nations Development Programme's Human Development reports, the World Health Organization etc.). To complete the 2021 Index, each indicator was either re-mined to confirm its validity or adjusted to reflect the update made in the same year. Moving forward, the 2019 values will remain static, even if future re-estimations are conducted, and represent the baseline and starting point for any future updates and comparable trends.

## RESEARCH LIMITATIONS

It is important to note that there were some limitations in the information gathered through this research.

- Due to time and budget constraints, the research team used a limited sample of data sources across the Asia-Pacific countries included in the research. Key informant interviews were conducted in only nine countries. While the interviews provided a rich learning experience, Plan International does not claim that these findings are applicable to the entire geographic region.
- Due to the youth activists' connections to Plan International programmes and networks, particularly in Asia, these participants may not be representative of a broader demographic of youth advocates in the region.
- The research team was unable to interview girl activists aged 15–17 due to time constraints. Girls' perspectives were therefore included in the document review only, not in the primary data collection.
- The research did not collect as much information about governments' responses to civic engagement and activism as originally intended. The document review revealed this lack of information as a gap, and government perspectives were shared primarily in media articles rather than in academic or grey literature.
- The main limitation encountered when developing and updating the Asia and Pacific GLIs was the availability and consistency of data. Globally, the collection, disaggregation and reporting of data on adolescent girls and young women are not consistent. There is limited available literature specifically on these age groups, and both the terms and age ranges used vary among indicators and the organisations collecting the data. Many indicators straddle multiple stages of adolescence and youth, making it difficult to generalise between indicators.

### Ethical practice

The research gained ethics approval through the UTS-ISF review committee. The research team employed the ISF Code of Ethical Research Conduct and followed all Australian Council for International Development Principles for Ethical Research and Evaluation: respect for human beings, beneficence, research merit and integrity, and justice. The research team complied with Plan International's Child Protection Policy and advice on child safeguarding related to the project.



# REFERENCES

- <sup>1</sup> Asia-Pacific SDG Partnership (2021). *Responding to the COVID-19 Pandemic: Leaving No Country Behind*. Available from: <https://dx.doi.org/10.22617/SPR210111-2>
- <sup>2</sup> Nuruzzaman, S., & Tateno, Y. (2021). *COVID-19 pandemic and the Asia-Pacific LDCs: Impacts, challenges, gaps and way forward*. ESCAP Working Paper Series, No. ESCAP/ WP/12. Bangkok: United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. Available from: [www.unescap.org/knowledge-products-series/countries-special-situations-working-papers](http://www.unescap.org/knowledge-products-series/countries-special-situations-working-papers)
- <sup>3</sup> Asia-Pacific SDG Partnership (2021). *Responding to the COVID-19 Pandemic: Leaving No Country Behind*. Available from: <https://dx.doi.org/10.22617/SPR210111-2>
- <sup>4</sup> Nuruzzaman, S., & Tateno, Y. (2021). *COVID-19 pandemic and the Asia-Pacific LDCs: Impacts, challenges, gaps and way forward*. ESCAP Working Paper Series, No. ESCAP/ WP/12. Bangkok: United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. Available from: [www.unescap.org/knowledge-products-series/countries-special-situations-working-papers](http://www.unescap.org/knowledge-products-series/countries-special-situations-working-papers)
- <sup>5</sup> Asia-Pacific SDG Partnership (2021). *Responding to the COVID-19 Pandemic: Leaving No Country Behind*. Available from: <https://www.adb.org/publications/responding-covid-19-pandemic>
- <sup>6</sup> Nuruzzaman, S., & Tateno, Y. (2021). *COVID-19 pandemic and the Asia-Pacific LDCs: Impacts, challenges, gaps and way forward*. ESCAP Working Paper Series, No. ESCAP/ WP/12. Bangkok: United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. Available from: <https://www.unescap.org/kp/2021/covid-19-pandemic-and-asia-pacific-lDCs-impacts-challenges-gaps-and-way-forward>
- <sup>7</sup> McMillan, K., Linhart, C., Gorman, H., Kim, M., O'Connor, C., O'Connor, M., & Rokoduru, A. (2020). *Adolescent unplanned pregnancy in the Pacific: Chuuk*. Sydney: School of Public Health and Community Medicine, UNSW.
- <sup>8</sup> Plan International (2020). *Engaging girls, boys and youth as active citizens*. Available from: <https://plan-international.org/publications/engaging-girls-boys-and-youth-active-citizens>
- <sup>9</sup> Plan International (2017). *Girls' rights are human rights: Executive summary*. Available from: <https://www.girlsrightsplatform.org/page/fzrmmac6i9#>
- <sup>10</sup> Plan International (2020). *Engaging girls, boys and youth as active citizens*. Available from: <https://plan-international.org/publications/engaging-girls-boys-and-youth-active-citizens>
- <sup>11</sup> Mama Cash and FRIDA (2018). *Girls to the Front*. Available from: [https://youngfeministfund.org/wp-content/uploads/2018/10/GirlsToTheFront\\_Report\\_web.pdf](https://youngfeministfund.org/wp-content/uploads/2018/10/GirlsToTheFront_Report_web.pdf)
- <sup>12</sup> Equal Playing Field (2021). *Equal Playing Field: About Us*. Available from: <https://equalplayingfield.global/about>
- <sup>13</sup> Mama Cash and FRIDA (2018).
- <sup>14</sup> Wan Smolbag Theatre (2016). *Annual Report*. Available from: <https://www.dfat.gov.au/sites/default/files/vanuatuan-wan-smolbag-theatre-annual-report-2016.pdf>
- <sup>15</sup> CIVICUS (2021). *State of Civil Society Report Overview*. Available from: <https://civicus.org/documents/SOCS2021Overview.pdf>
- <sup>16</sup> Institute for Development Studies (2011). *Powerpack: Understanding power for social change*. University of Sussex. Available from: <https://www.powercube.net/>
- <sup>17</sup> Institute of Development Studies (2011). *Powerpack: Understanding power for social change*. University of Sussex. Available from: <https://www.powercube.net/>
- <sup>18</sup> Devpolicy Blog (2017). *#Feminism: digital technologies and feminist activism in Fiji*. Available from: <https://devpolicy.org/feminism-digital-technologies-and-feminist-activism-in-fiji-20170314/>
- <sup>19</sup> UNICEF (2021). *Hundreds of Fijian youth add their voice in national summit on the nation's climate agenda*. Available from: <https://www.unicef.org/pacificislands/press-releases/hundreds-fijian-youth-add-their-voice-national-summit-nations-climate-agenda>
- <sup>20</sup> Human Rights Watch (2020). *I Sleep in My Own Deathbed: Violence against Women and Girls in Bangladesh: Barriers to Legal Recourse and Support*. Available from: <https://www.hrw.org/report/2020/10/29/i-sleep-my-own-deathbed/violence-against-women-and-girls-bangladesh-barriers>
- <sup>21</sup> Mama Cash and FRIDA (2018).
- <sup>22</sup> Asia-Pacific SDG Partnership (2021). *Responding to the COVID-19 Pandemic: Leaving No Country Behind*. Available from: <https://dx.doi.org/10.22617/SPR210111-2>
- <sup>23</sup> Nuruzzaman, S., & Tateno, Y. (2021). *COVID-19 pandemic and the Asia-Pacific LDCs: Impacts, challenges, gaps and way forward*. ESCAP Working Paper Series, No. ESCAP/ WP/12. Bangkok: United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. Available from: <https://www.unescap.org/kp/2021/covid-19-pandemic-and-asia-pacific-lDCs-impacts-challenges-gaps-and-way-forward>
- <sup>24</sup> Online Campaign on the Prevention of Sexual Violence Instagram account. Accessed 12 April 2021.
- <sup>25</sup> Dhaka Tribune (2021). *Women are so often treated as a collective; one woman does something wrong, and the entire population carries the blame for it*. Available from: <https://www.dhakatribune.com/feature/2021/03/24/women-are-so-often-treated-as-a-collective-one-woman-does-something-wrong-and-the-entire-population-carries-the-blame-for-it>
- <sup>26</sup> Devpolicy Blog (2017). *#Feminism: digital technologies and feminist activism in Fiji*. Available from: <https://devpolicy.org/feminism-digital-technologies-and-feminist-activism-in-fiji-20170314/>
- <sup>27</sup> Brimacombe et al (2018). *A new frontier in digital activism: An exploration of digital feminism in Fiji*. Asia and the Pacific Policy Studies. Vol. 5. Issue 3, September 2018. <https://doi.org.ezproxy.lib.uts.edu.au/10.1002/app5.253>
- <sup>28</sup> Brimacombe et al (2018). *A new frontier in digital activism: An exploration of digital feminism in Fiji*. Asia and the Pacific Policy Studies. Vol. 5. Issue 3, September 2018. <https://doi.org.ezproxy.lib.uts.edu.au/10.1002/app5.253>
- <sup>29</sup> Lucero, L. (2017). *Safe spaces in online places: social media and LGBTQ youth*. Multicultural Education Review. 9(2): 117-128. Available from: DOI: 10.1080/2005615X.2017.131348
- <sup>30</sup> Brimacombe et al (2018). *A new frontier in digital activism: An exploration of digital feminism in Fiji*. Asia and the Pacific

- Policy Studies. Vol. 5. Issue 3, September 2018. <https://doi.org.ezproxy.lib.uts.edu.au/10.1002/app5.253>
- <sup>31</sup> Turley, E., & Fisher, J. (2018). *Tweeting back while shouting back: Social media and feminist activism*. *Feminism & Psychology*. 28(1): 128-132. Available from: <https://doi.org/10.1177/0959353517715875>
- <sup>32</sup> Parahita (2019). The Rise of Indonesian Feminist Activism on Social Media, *Jurnal Komunikasi*, <https://doi.org/10.25008/jkiski.v4i2.331>
- <sup>33</sup> Plan International (2020). *Engaging girls, boys and youth as active citizens*. Available from: <https://plan-international.org/publications/engaging-girls-boys-and-youth-active-citizens>
- <sup>34</sup> Alver, J. (2019). *How Pacific Feminists are Challenging United Nations Leadership Roles*. Available from: <https://impakter.com/pacific-feminists-challenging-united-nations-roles/>
- <sup>35</sup> Plan International (2020). *Engaging girls, boys and youth as active citizens*. Available from: <https://plan-international.org/publications/engaging-girls-boys-and-youth-active-citizens>
- <sup>36</sup> Mama Cash and FRIDA (2018). *Girls to the Front*. Available from: [https://youngfeministfund.org/wp-content/uploads/2018/10/GirlsToTheFront\\_Report\\_web.pdf](https://youngfeministfund.org/wp-content/uploads/2018/10/GirlsToTheFront_Report_web.pdf)
- <sup>37</sup> Plan International (2020). *Engaging girls, boys and youth as active citizens*. Available from: <https://plan-international.org/publications/engaging-girls-boys-and-youth-active-citizens>
- <sup>38</sup> CIVICUS (2021). State of Civil Society Report Overview, <https://civicus.org/documents/SOCS2021Overview.pdf>
- <sup>39</sup> NPR (2020). *Why Rights Groups Worry About The Philippines' New Anti-Terrorism Law*. Available from: <https://www.npr.org/2020/07/21/893019057/why-rights-groups-worry-about-the-philippines-new-anti-terrorism-law>
- <sup>40</sup> CNN (2019). *Indonesia raises minimum age for marriage to curb child brides*. Available from: <https://edition.cnn.com/2019/09/17/asia/indonesia-marriage-age-raise-intl-scli/index.html>
- <sup>41</sup> Kompas (2020). *PMK Ministry: Family and Children Have a Role in Preventing Child Marriage* Available from: <https://nasional.kompas.com/read/2021/02/15/15513921/kemenko-pmk-keluarga-dan-anak-punya-peran-dalam-mencegah-perkawinan-anak>
- <sup>42</sup> UN ESCAP (2018). *Realising Youth Inclusion for a More Sustainable Asia-Pacific*. Available from: <https://www.unescap.org/sites/default/files/SDD%20Realizing%20Youth%20Inclusion%20Report%20draft.pdf>
- <sup>43</sup> Brimacombe et al (2018). A new frontier in digital activism: An exploration of digital feminism in Fiji. *Asia and the Pacific Policy Studies*. Vol. 5. Issue 3, September 2018. <https://doi.org.ezproxy.lib.uts.edu.au/10.1002/app5.253>
- <sup>44</sup> Plan International (2020). *Engaging girls, boys and youth as active citizens*. Available from: <https://plan-international.org/publications/engaging-girls-boys-and-youth-active-citizens>
- <sup>45</sup> Plan International. (2020). *Engaging girls, boys and youth as active citizens*. Available from: <https://plan-international.org/publications/engaging-girls-boys-and-youth-active-citizens>
- <sup>46</sup> Badan Pusat Statistik (2020). *Prevention of Child Marriage: Acceleration that cannot wait*. Jakarta: Kementerian Perencanaan Pembangunan Nasional. Available from: <https://www.unicef.org/indonesia/sites/unicef.org/indonesia/files/2020-06/Prevention-of-Child-Marriage-Report-2020.pdf>
- <sup>47</sup> *Indonesia tanpa perkawinan anak (Indonesia without child marriage)* Instagram account, accessed on 12 April 2021.
- <sup>48</sup> 16HAKTP Instagram account, accessed on 12 April 2021.
- <sup>49</sup> Bangladesh Bureau of Statistics (2016). *Report on Violence Against Women (VAW) Survey 2015*. Available from: [https://asiapacific.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/Bangladesh\\_VAW\\_survey\\_report\\_2015\\_compressed.pdf](https://asiapacific.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/Bangladesh_VAW_survey_report_2015_compressed.pdf)
- <sup>50</sup> Ain o Salish Kendra (2020). *Statistics on Human rights Violations, Victims of Rape, Violence Against Women*. Available from: <https://www.askbd.org/ask/>
- <sup>51</sup> Human Rights Watch (2020). *I Sleep in My Own Deathbed: Violence against Women and Girls in Bangladesh: Barriers to Legal Recourse and Support*. Available from: <https://www.hrw.org/report/2020/10/29/i-sleep-my-own-deathbed/violence-against-women-and-girls-bangladesh-barriers>
- <sup>52</sup> Human Rights Watch (2020). *I Sleep in My Own Deathbed: Violence against Women and Girls in Bangladesh: Barriers to Legal Recourse and Support*. Available from: <https://www.hrw.org/report/2020/10/29/i-sleep-my-own-deathbed/violence-against-women-and-girls-bangladesh-barriers>
- <sup>53</sup> WeMen View (2021). WeMen View website. Available from: [www.wemenview.org](http://www.wemenview.org)
- <sup>54</sup> The Daily Star (2021). *A Cyberspace Unsafe for Women*. Available from: <https://www.thedailystar.net/shout/news/cyberspace-unsafe-women-2073937>
- <sup>55</sup> Human Rights Watch (2020). *I Sleep in My Own Deathbed: Violence against Women and Girls in Bangladesh: Barriers to Legal Recourse and Support*. Available from: <https://www.hrw.org/report/2020/10/29/i-sleep-my-own-deathbed/violence-against-women-and-girls-bangladesh-barriers>
- <sup>56</sup> Pacific Women Shaping Pacific Development (2017). *Women in Leadership Synthesis Report: Informing the Pacific Women Shaping Pacific Development Roadmap 2017–2022*. AustralianAid. Available from: [https://pacificwomen.org/wp-content/uploads/2017/11/Leadership\\_SynthesisReport\\_FINAL\\_April2017.pdf](https://pacificwomen.org/wp-content/uploads/2017/11/Leadership_SynthesisReport_FINAL_April2017.pdf)
- <sup>57</sup> Tonga Broadcasting Commission (2019). *Local schoolgirl emphasises importance of Safe Housing at Regional Forum*. Available from: <http://www.tonga-broadcasting.net/?p=15987>
- <sup>58</sup> Talitha Project Tonga (2020). Talitha Project Facebook page. Available from: <https://www.facebook.com/TalithaProjectTonga/posts/2450940758344328>
- <sup>59</sup> Gibbs, L. (2020). 'Don't be afraid to interrupt!' *Injecting the voices of adolescent girls into the COVID-19 pandemic response*. Available from: <https://pacificwomen.org/news/dont-be-afraid-to-interrupt-injecting-the-voices-of-adolescent-girls-into-the-covid-19-pandemic-response/>
- <sup>60</sup> Cooperrider, D., & Whitney, D. (2005). *Appreciative inquiry: A positive revolution in change*. San Francisco: Berrett-Koehler.
- <sup>61</sup> Gaventa, J. (2006). *Finding the Spaces for Change: A Power Analysis*. IDS Bulletin. 37(6): 23-33. Available from: <https://doi.org/10.1111/j.1759-5436.2006.tb00320.x>

**PLAN INTERNATIONAL** IS AN INDEPENDENT DEVELOPMENT AND HUMANITARIAN ORGANISATION THAT ADVANCES CHILDREN'S RIGHTS AND EQUALITY FOR GIRLS. WE STRIVE FOR A JUST WORLD, WORKING TOGETHER WITH CHILDREN, YOUNG PEOPLE, SUPPORTERS AND PARTNERS. USING OUR REACH, EXPERIENCE AND KNOWLEDGE, WE DRIVE CHANGE IN PRACTICE AND POLICY AT LOCAL, NATIONAL AND GLOBAL LEVELS. WE ARE INDEPENDENT OF GOVERNMENTS, RELIGIONS AND POLITICAL PARTIES. FOR MORE THAN 80 YEARS, WE HAVE BEEN BUILDING POWERFUL PARTNERSHIPS FOR CHILDREN AND ARE ACTIVE IN MORE THAN 75 COUNTRIES.



#### Girls Get Equal

Plan International has been campaigning for girls' rights for more than a decade. Our current Girls Get Equal campaign aims to ensure girls and young women have power over their own lives and can help shape the world around them. Promoting young female leadership is central to the campaign. While this includes access to formal positions of power and authority, such as increasing the numbers of young women and girls in decision-making roles in public life, it also looks beyond these formal positions. Girls Get Equal, with its iconic warpaint-style equal sign, seeks to redefine leadership to better reflect how girls, young women, and young advocates and activists are choosing to lead by working with them to ensure leadership is feminist, gender-transformative and inclusive. It means not reinforcing a narrow male-defined set of leadership skills and behaviours or replicating the male-dominated power and leadership structures that currently exist. Throughout the campaign there will be ongoing research, partnering with girls and young women to fully understand what it means to them to be a leader.



#### Partner with us!

Plan International intends to partner with a range of leading and contributing actors to promote and support investment in adolescent girls in the region. We welcome new partners who are willing to join our effort and combine resources and technical expertise to invest in adolescent girls' development and their successful transition from childhood through adolescence into adulthood.

**Plan International Asia Pacific Hub**  
 14th Floor, 253 Asoke Building  
 Sukhumvit 21, Klongtoey Nua  
 Wattana, Bangkok 10110, Thailand  
 Tel: +66 2 204 2630-4 | Fax: +662 204 2629

